別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
美祢市地域公共交通協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

美祢市の概要

・平成20年3月に1市2町が合併
・人口　23,247人（令和2年度国勢調査）
・面積　472.64㎢

協議会の構成員

美祢市　学識経験者　山口運輸支局　JR西日本
路線バス事業者　タクシー事業者
山口県警察署　公募委員　等

概　要

美祢市は平成20年に美祢市、美東町及び秋芳町との合併により広域な市となった。市を水平、垂直に国県道があり、近隣の市を結ぶように路線バスが横断している。しかしながら、市全域が中山間地域である当市において、路線バスによる生活交通のみでは、自由な移動を確保できない地域が無数に存在しており、効果的、効率的な公共交通サービスの構築が急務となっている。このような状況の中、当市の望ましい公共交通体系の構築に向けた、持続可能な各種事業を実施する。

このうち持続可能な地域内交通を確保・維持する取組として、地域内フィーダー系統確保維持計画を作成している。また、路線バス・JR美祢線の利用促進と市街化区域等をカバーするため、事前予約型・区域運行の乗合タクシー「ジオタク」を地域間幹線系統に接続させるため、平成21年10月から山中・堀越外地域、平成22年10月から美東地域北部、平成23年10月から秋芳地域南部、平成24年10月から豊田前・西厚保地区、平成25年10月から美東地域南部、平成26年10月から秋芳地域北部、平成27年10月から川東・西分地区にて順次運行を開始している。なお、平成30年10月からの再編により、田代・奥分地区の新設や秋芳地域北部、美東地域南部の運行内容の見直しを行うことで、可能な限り地域の実情に応じた運行を行った。さらに、豊田前・西厚保地区、川東・西分地区、秋芳地域南部については、令和2年4月の再編により、運行区域の変更やダイヤ改正を行うなど利便性の向上に繋げている。

協議会の主な取り組み

〇R2.4　美祢地域西部の路線再編
〇秋吉台かるすとタクシー実証運行の支援
〇あんもないと号（コミュニティバス）の導入
〇交通不便地域におけるフィーダー交通の導入
〇公共交通時刻表や公共交通ガイドの見直しによる市民への周知等
〇バス停留所の整備

協議会における検討

〇協議会の開催状況

R3. 6.23　R2年度事業報告や地域内フィーダー系統認定申請内容等承認、地域公共交通計画事業の評価・検証承認

R4.1.11　R3年度地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

美祢市地域公共交通協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

事業目標

路線名	目標値
山中・堀越地区	日当り13人
美東地域北部	日当り8人
秋芳地域南部	日当り4人
豊田前・西分	日当り2人
美東地域南部	日当り4人
秋芳地域北部	日当り11人
西厚保・川東地区	日当り5人
田代・奥分地区	日当り4人

事業効果

〇地域内フィーダー路線を確保することにより、以下のような効果が期待される。
- ▸通勤・通学、通院・買物等の市民にとって日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
- ▸ジオタク（乗合タクシー）の運行により、高齢者等の外出機会が増え、社会参加促進及び地域活性化に繋がる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

〇ジオタクの利用方法や地域のニーズ等について、福祉部門と意見交換会を実施するなど連携強化に努めた。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

〇「今後も関係者での議論を続けていき地域のニーズに即した運行内容、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する」とされた事に対して、福祉部門と意見交換を行うなど関係機関との連携強化に努めた。今後も、福祉部門と連携し、地域ニーズに合った運行内容の見直しを図り、目標達成に繋げる。

実施した利用促進策

〇利用方法等を記載した公共交通時刻表等を市内全戸に配布した。
〇社会福祉協議会等の福祉部門と連携し、高齢者のつどいの場に参加し、利用方法や利用登録会等を実施するなど利用促進を図った。

地域住民の意見の反映

〇高齢者のつどいの場に参加し、ジオタクの利用方法等を説明するなど、地域住民の意見の反映を行った。

美祢市地域公共交通協議会　事業の評価

事業実施の適切性

〇山中・堀越外地区　：　利用者は減少傾向にあるが、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇美東地域北部　：　利用者は減少傾向にあるが、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇秋芳地域南部　：　利用者は減少傾向にあり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇豊田前・西分地区　：　利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇美東地域南部　：　利用者は減少傾向にあるが、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇秋芳地域北部　：　利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇西厚保・川東地区：　利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
〇田代・奥分地区：　利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。

目標・効果達成状況

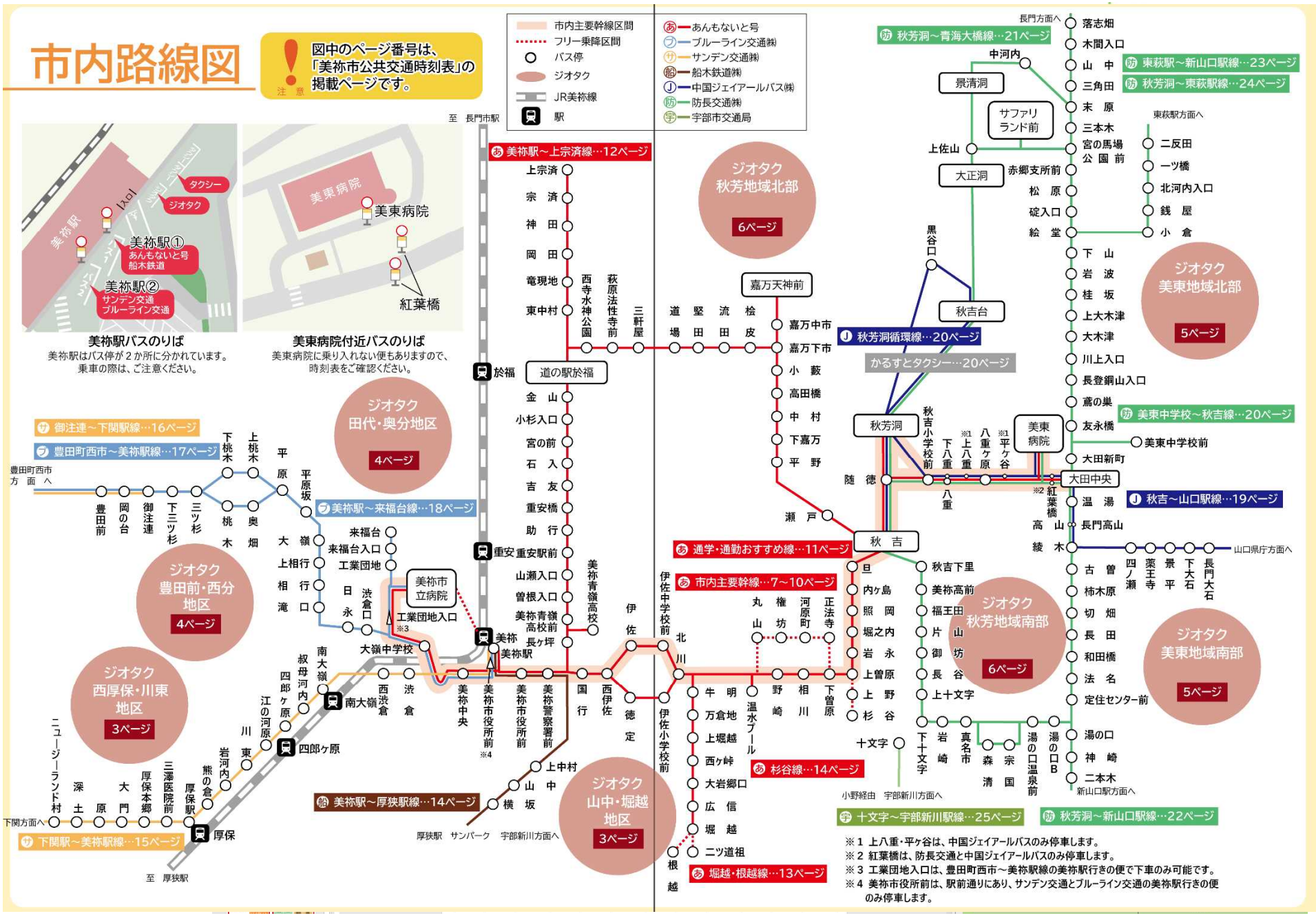
〇8区域のうち4区域について、目標達成には至らなかったが、普段の買物や通院など日常生活に必要不可欠な移動手段が、ジオタクによって確保されており、一定の効果は生じている。

路線名	目標値	令和2年10月～令和3年9月 利用実績
山中・堀越外地区	日当り13人	日当り8人
美東地域北部	日当り8人	日当り6人
秋芳地域南部	日当り4人	日当り3人
豊田前・西分地区	日当り2人	日当り4人
美東地域南部	日当り4人	日当り3人
秋芳地域北部	日当り11人	日当り12人
西厚保・川東地区	日当り5人	日当り6人
田代・奥分地区	日当り4人	日当り5人

事業の今後の改善点

〇ジオタクの利用促進を図るため、運行事業者や社会福祉協議会等の福祉部門との連携強化に努めるとともに、ジオタクの利用方法や登録方法等を市民へ積極的に周知し、理解してもらう必要がある。

交通体系図　別紙


市内路線図
図中のページ番号は、「美祢市公共交通時刻表」の掲載ページです。
注意
市内主要幹線区間
フリー乗降区間
バス停
ジオタク
JR美祢線
駅
あんもないと号
ブルーライン交通㈱
サンデン交通㈱
船木鉄道㈱
中国ジェイアールバス㈱
防長交通㈱
宇部市交通局
美祢駅
タクシー
ジオタク
美祢駅①
あんもないと号
船木鉄道
美祢駅②
サンデン交通
ブルーライン交通
美祢駅バスのりば
美祢駅はバス停が２か所に分かれています。
乗車の際は、ご注意ください。
美東病院
紅葉橋
美東病院付近バスのりば
美東病院に乗り入れない便もありますので、時刻表をご確認ください。
至 長門市駅
あ 美祢駅～上宗済線…12ページ
上宗済
宗 済
神 田
岡 田
竜現地
東中村
西寺水神公園
萩原法性寺前
三軒屋
於福
道の駅於福
金 山
小杉入口
宮の前
石 入
吉 友
重安橋
助 行
重安駅前
山瀬入口
曽根入口
美祢青嶺高校前
美祢青嶺高校
長ヶ坪
美祢
美祢駅
ジオタク
秋芳地域北部
6ページ
嘉万天神前
道 場
堅 田
流 田
検 皮
嘉万中市
嘉万下市
小 藪
高田橋
中 村
下嘉万
平 野
瀬 戸
J 秋芳洞循環線…20ページ
かるすとタクシー…20ページ
秋芳洞
秋吉台
黒谷口
秋吉小学校前
※1 下八重
※1 上八重
八重
※1 八重ヶ原
※1 平ヶ谷
美東病院
随 徳
※2 紅葉橋
大田中央
秋 吉
あ 通学・通勤おすすめ線…11ページ
あ 市内主要幹線…7～10ページ
伊佐中学校前
伊佐小学校前
北 川
丸 山
権 坊
河原町
正法寺
旦
内ヶ島
照 岡
堀之内
岩 永
上曽原
上 野
杉 谷
秋吉下里
美祢高前
福王田
片 山
御 坊
長 谷
上十文字
下十文字
十文字
小野経由
牛 明
万倉地
上堀越
西ヶ峠
大岩郷口
広 信
堀 越
二ツ道祖
根 越
温水プール
野 崎
相 川
下曽原
あ 杉谷線…14ページ
宇部新川方面へ
ジオタク
秋芳地域南部
6ページ
岩 崎
真名市
森
宗 清 国
湯の口温泉前
湯の口B
湯の口
神 崎
二本木
新山口駅方面へ
長門方面へ
落志畑
木間入口
山 中
三角田
末 原
三本木
宮の馬場公園前
赤郷支所前
松 原
碇入口
絵 堂
中河内
景清洞
サファリランド前
上佐山
大正洞
東萩駅方面へ
二反田
一ツ橋
北河内入口
銭 屋
小 倉
ジオタク
美東地域北部
5ページ
下 山
岩 波
桂 坂
上大木津
大木津
川上入口
長登銅山入口
鳶の巣
友永橋
美東中学校
美東中学校前
大田新町
温 湯
長門高山
高 山
綾 木
山口県庁方面へ
古 曽
四ノ瀬
薬王寺
景 平
下大石
長門大石
ジオタク
美東地域南部
5ページ
柿木原
切 畑
長 田
和田橋
法 名
定住センター前
あ 美祢駅～来福台線…18ページ
来福台
来福台入口
工業団地
美祢市立病院
工業団地入口
※3
日 永
渋倉口
大嶺中学校
大 嶺
上相行
相 行
滝 口
平 原
平原坂
豊田町西市方面へ
豊田前
岡の台
御注連
下三ツ杉
三ツ杉
桃 木
下桃木
上桃木
奥 畑
ジオタク
豊田前・西分地区
4ページ
ジオタク
田代・奥分地区
4ページ
さ 御注連～下関駅線…16ページ
フ 豊田町西市～美祢駅線…17ページ
美祢青嶺高校
伊 佐
徳 定
国 行
西伊佐
美祢警察署前
美祢市役所前
美祢市役所前
※4
美祢中央
西渋倉
渋 倉
南大嶺
叔母河内
四郎ヶ原
江の河原
川 東
岩河内
熊の倉
三澤医院前
厚保本郷
厚保駅
厚保
四郎ヶ原
南大嶺
ジオタク
西厚保・川東地区
3ページ
ニュージーランド村
深 土
原
大 門
下関方面へ
さ 下関駅～美祢駅線…15ページ
至 厚狭駅
ジオタク
山中・堀越地区
3ページ
上中村
山 中
横 坂
厚狭駅 サンパーク 宇部新川方面へ
㈱ 美祢駅～厚狭駅線…14ページ
あ 堀越・根越線…13ページ
宇 十文字～宇部新川線…25ページ
防 秋芳洞～新山口駅線…22ページ
防 秋芳洞～青海大橋線…21ページ
防 東萩駅～新山口駅線…23ページ
防 秋芳洞～東萩駅線…24ページ
※1 上八重・平ヶ谷は、中国ジェイアールバスのみ停車します。
※2 紅葉橋は、防長交通と中国ジェイアールバスのみ停車します。
※3 工業団地入口は、豊田町西市～美祢駅線の美祢駅行きの便で下車のみ可能です。
※4 美祢市役所前は、駅前通りにあり、サンデン交通とブルーライン交通の美祢駅行きの便のみ停車します。

別紙　運行体系図

①山中・堀越地区

のりあい ジオタクシー 美祢1号車

山中・堀越地区

横坂上、横坂下、中村、西の浴、天子、上中村、長谷、引冢、根越、山ヶ峠、堂下、広信、下堀越、岩興、上堀越、東中峠、南原、上万倉地、下万倉地、万倉地団地、中万倉地、第二万倉地、第一万倉地

美祢駅周辺の乗降場所

- **交通機関**
  - ・ＪＲ美祢駅
- **公共施設**
  - ・美祢市役所　・伊佐公民館
- **医療機関**
  - ・美祢市立病院　・野間クリニック
  - ・原田外科医院
- **商業施設**
  - ・ザ・ビッグ美祢店　・ウェスタまるき美祢店
  - ・ホームプラザナフコ美祢店
- **金融機関**
  - ・JA 山口美祢 伊佐支所

運行日　月・水・金　祝日は運休

運　賃　一乗車につき 300円

系統		発	着	月水金	火木	土日祝
あんもないと号	根越→美祢市立病院★	7:32	7:56	●	●	
あんもないと号	ニッ道祖→美祢市立病院※	9:47	10:11		●	
ジオタク（要予約）	市立病院→山中→万倉地→市立病院	8:00	(9:00)	●		
ジオタク（要予約）	市立病院→山中→万倉地→市立病院	11:00	(12:00)	●		
ジオタク（要予約）	市立病院→山中→万倉地→市立病院	14:00	(15:00)	●		
船木鉄道	厚狭駅→美祢駅	13:40	14:05	●	●	
あんもないと号	ニッ道祖→美祢市立病院※	7:32	7:56			●
船木鉄道	厚狭駅→美祢駅	9:10	9:35			●
あんもないと号	ニッ道祖→美祢市立病院※	9:52	10:16			●
あんもないと号	ニッ道祖→美祢市立病院※	13:22	13:46			●
あんもないと号	ニッ道祖→美祢市立病院※	15:47	16:11			●

系統		発	着	月水金	火木	土日祝
ジオタク（要予約）	市立病院→万倉地→山中→市立病院	9:30	(10:30)	●		
ジオタク（要予約）	市立病院→万倉地→山中→市立病院	12:30	(13:30)	●		
あんもないと号	美祢市立病院→ニッ道祖※	15:19	15:43	●	●	●
あんもないと号	美祢駅→根越★	16:23	16:43	●	●	
ジオタク（要予約）	市立病院→万倉地→山中→市立病院	17:00	(18:00)	●		
あんもないと号	美祢駅→堀越★※	17:50	18:07	●	●	
船木鉄道	美祢駅→厚狭駅	14:20	14:45	●	●	
あんもないと号	美祢市立病院→ニッ道祖※	9:20	9:44			●
船木鉄道	美祢駅→厚狭駅	9:50	10:15			●
あんもないと号	美祢市立病院→ニッ道祖※	12:20	12:44			●

※根越は通りません。　★ニツ道祖は通りません。

ジオタクは乗りたい便の30分前までに 8:00発の便は前日までに

予約 52-0776　予約センター：美祢構内タクシー㈱

担当課／美祢市総合政策部地域振興課

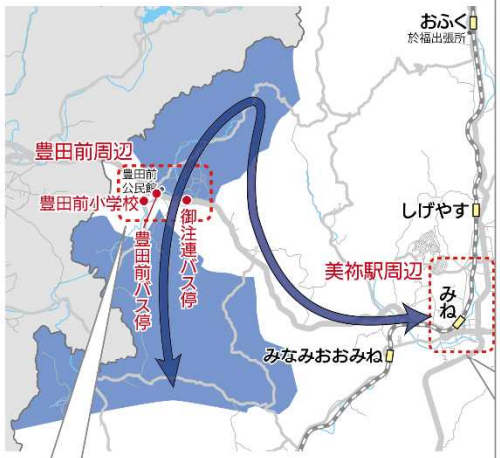
②豊田前・西分地区

令和2年4月1日　改正

のりあい ジオタクシー 美祢3号車

豊田前・西分地区

豊田前	西分
1区、2区、3区、6区、7区、8区、9区、10区、12区、13区	草井川、中村、杉原、嘉木



豊田前周辺の主な乗降場所

- **交通機関**
  - ・御注連バス停　・豊田前バス停
- **公共施設・学校**
  - ・豊田前公民館
  - ・豊田前保育園（美祢社会復帰促進センター）
  - ・豊田前小学校

美祢駅周辺の主な乗降場所

- **交通機関**
  - ・ＪＲ美祢駅
- **公共施設**
  - ・美祢市役所
  - ・美祢市民会館
  - ・美祢市武道館
  - ・美祢市立図書館
  - ・サンワーク美祢
  - ・勤労青少年ホーム
- **医療機関**
  - ・美祢市立病院
  - ・植田救急クリニック
  - ・野間クリニック
  - ・山本医院
  - ・原田外科医院
  - ・札場クリニック
  - ・藤村内科クリニック
- **商業施設**
  - ・サンマート美祢店
  - ・ウェスタまるき美祢店
  - ・ザ・ビッグ美祢店
  - ・ダイレックス美祢店
  - ・ディスカウントドラッグコスモス美祢店
  - ・クスリ岩崎チェーン美祢店
  - ・藤井薬局美祢店
  - ・ドラッグストアモリ美祢店
  - ・ホームプラザナフコ美祢店
- **金融機関**
  - ・山口銀行美祢支店
  - ・西京銀行美祢支店
  - ・美祢郵便局
  - ・JA 山口県 美祢支所

運行日　月・水・金　祝日は運休

運　賃　一乗車につき 300円

各地区(発)→JR美祢駅方面	JR美祢駅方面(発)→各地区
7：30	11：30
9：00	14：00
12：30	16：00

乗りたい便の30分前までに 7:30発の便は前日までに

予約 52-0776　予約センター：美祢構内タクシー㈱

担当課／美祢市総合政策部地域振興課

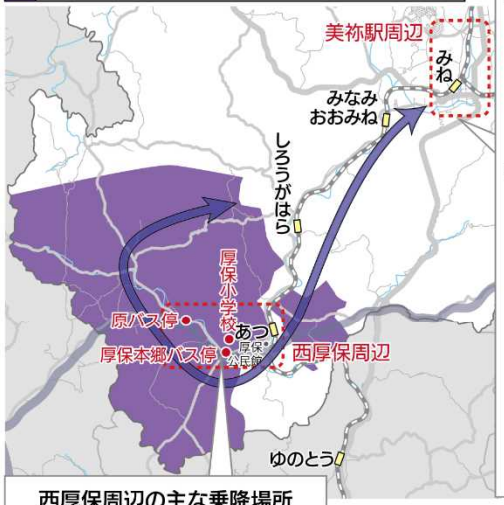
③西厚保・川東地区

のりあい ジオタクシー 美祢2号車

令和2年4月1日　改正

西厚保・川東地区

西厚保	長尾、平沼田、駒ヶ坪、大日、梅香、本久、沓野1区、沓野2区、坂本1区、坂本2区、千歳、大村、本郷東、本郷西、中原、原、深土
川東	小杉、植松1区、植松2区、柳井川、熊の倉1区、熊の倉2区、僧都、金山、奥畑、岩ヶ河内、江の河原、熊の倉、杵ヶ瀬



美祢駅周辺の主な乗降場所

- **交通機関**
  - ＪＲ美祢駅
- **公共施設**
  - 美祢市役所
  - 美祢市民会館
  - 美祢市武道館
  - 美祢市立図書館
  - サンワーク美祢
  - 勤労青少年ホーム
- **医療機関**
  - 美祢市立病院
  - 植田救急クリニック
  - 野間クリニック
  - 山本医院
  - 原田外科医院
  - 札場クリニック
  - 藤村内科クリニック
- **商業施設**
  - サンマート美祢店
  - ウェスタまるき美祢店
  - ザ・ビッグ美祢店
  - ダイレックス美祢店
  - ディスカウントドラッグコスモス美祢店
  - クスリ岩崎チェーン美祢店
  - 藤井薬局美祢店
  - ドラッグストアモリ美祢店
  - ホームプラザナフコ美祢店
- **金融機関**
  - 山口銀行美祢支店
  - 西京銀行美祢支店
  - 美祢郵便局
  - JA 山口県 美祢支所

西厚保周辺の主な乗降場所

- **交通機関**
  - ＪＲ厚保駅
  - 原バス停
  - 厚保本郷バス停
- **公共施設・学校**
  - 厚保公民館
  - 厚保小学校
- **医療機関**
  - 三澤医院
- **金融機関**
  - JA 山口県 西厚保支所

運行日　月・水・金　祝日は運休

運　賃　一乗車につき 300円

各地区(発)→JR美祢駅方面	JR美祢駅方面(発)→各地区
7：50	10：20
9：20	13：30
11：40	15：30

乗りたい便の30分前までに 7:50発の便は前日までに

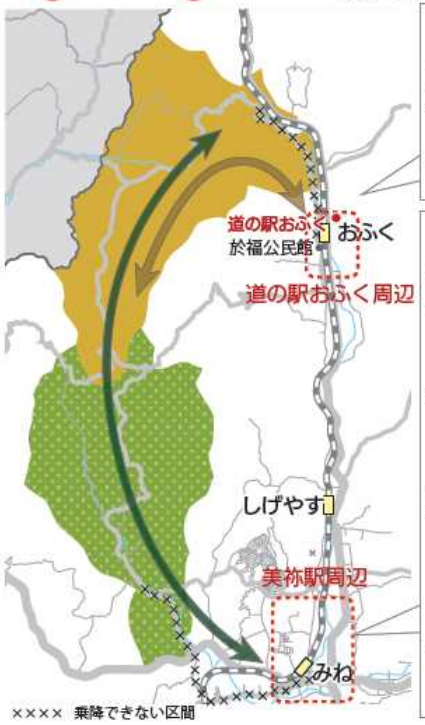
予約 52-0776　予約センター：美祢構内タクシー㈱ 担当課／美祢市総合政策部地域振興課

④田代・奥分地区

のりあい ジオタクシー 美祢4号車

田代・奥分地区

<田代>平野・栗ケ原・岡田・西寺・上田代・下田代・横道・大明・神田
<奥分>藤ケ河内・荒川1区・荒川2区・白岩・麦川上・麦川下・上麦川・桑原・相行



道の駅おふく周辺の乗降場所

- **交通機関**
  - ＪＲ於福駅
- **公共施設**
  - 道の駅おふく
  - 於福公民館
- **医療機関**
  - 白井クリニック
- **商業施設**
  - あぐりプラザおふく
- **金融機関**
  - 於福郵便局
  - JA 山口美祢 於福支所

美祢駅周辺の乗降場所

- **交通機関**
  - ＪＲ美祢駅
- **公共施設**
  - 美祢市役所
  - 美祢市民会館
  - 美祢市武道館
  - 美祢市立図書館
  - サンワーク美祢
  - 勤労青少年ホーム
- **医療機関**
  - 美祢市立病院
  - 植田救急クリニック
  - 野間クリニック
  - 山本医院
  - 原田外科医院
  - 札場クリニック
  - 藤村内科クリニック
- **商業施設**
  - サンマート美祢店
  - ウェスタまるき美祢店
  - ザ・ビッグ美祢店
  - ダイレックス美祢店
  - ディスカウントドラッグコスモス美祢店
  - クスリ岩崎チェーン美祢店
  - 藤井薬局美祢店
  - ドラッグストアモリ美祢店
  - ホームプラザナフコ美祢店
- **金融機関**
  - 山口銀行美祢支店
  - 西京銀行美祢支店
  - 美祢郵便局
  - JA 山口美祢 美祢支所

運行日　月・水・金　祝日は運休

運　賃　一乗車につき 300円

田代・奥分(発)→美祢駅周辺	美祢駅周辺(発)→田代・奥分
8：00(発)	10：30(発)
11：30(発)	12：50(発)
14：00(発)	15：45(発)

田代(発)→道の駅おふく周辺	道の駅おふく周辺(発)→田代
8：30(発)	13：00(発)

奥分地区は運行しません。

乗りたい便の30分前までに 8:00発(美祢駅方面) 8:30発(道の駅おふく方面)は前日までに

予約 52-0776　予約センター：美祢構内タクシー㈱ 担当課／美祢市総合政策部地域振興課

⑤美東地域北部

のりあい ジオタクシー 美東1号車

美東地域北部

台山・長登・岩波・桂坂

大田中央周辺の主な乗降場所

- **交通機関**
  - 大田中央バス停
- **医療機関**
  - 美祢市立美東病院
  - 吉崎内科医院
- **商業施設**
  - サイサイみとう大田店
  - ホームプラザナフコ美東店
- **金融機関**
  - JA 山口県 美東支所
- **公共施設**
  - 美東総合支所

長登(発)→絵堂バス停→美東病院	美東病院(発)→絵堂バス停→長登
7：30(発)	10：00(発)
9：00(発)	12：30(発)
11：00(発)	15：30(発)
14：00(発)	

乗りたい便の30分前までに 7:30発の便は前日までに

運行日 月・火・木 祝日は運休

運　賃 一乗車につき 300円

※他の地区を回るため掲載時刻よりも遅くなることがあります。

予約 08396-2-0072

予約センター：美祢第一交通㈲
担当課／美祢市総合政策部地域振興課

⑥美東地域南部

のりあい ジオタクシー 美東2号車

美東地域南部

薬王寺、大石、町絵、沖田、武士ヶ河内、宮の河内、宗国、森清、徳坂、山田、瀬々川、九瀬原、御山、目畑、聞波、郷、立石、法名、神崎、東二区、東一区、真名市、岩崎、西区

まずはご相談ください！
居住地の立地条件や環境によりのりあいジオタクシーをご利用いただけるかどうかを市が判断します。

対象地区が変わります

大田中央周辺の乗降場所

- **交通機関**
  - 大田中央バス停
- **公共施設**
  - 美東総合支所
- **医療機関**
  - 美祢市立美東病院
  - 吉崎内科医院
- **商業施設**
  - サイサイみとう大田店
  - ホームプラザナフコ美東店
- **金融機関**
  - JA 山口美祢 美東大田店

運行日 月・水・金 祝日は運休

運　賃 一乗車につき 300円

時刻が変わります

薬王寺・大石(発)→美東総合支所	美東総合支所(発)→薬王寺・大石
7：30(発)	12：00(発)
9：00(発)	14：00(発)
13：00(発)	15：30(発)

乗りたい便の30分前までに 7:30発の便は前日までに

●場合によっては、運行時間等が多少前後する可能性があります。

予約 08396-2-0072

予約センター：美祢第一交通㈲
担当課／美祢市総合政策部地域振興課

⑦秋芳地域北部

のりあい ジオタクシー 秋芳１号車

秋芳地域北部

美祢駅周辺の乗降場所

交通機関
- ＪＲ美祢駅

公共施設
- 美祢市役所
- 美祢市民会館
- 美祢市武道館
- 美祢市立図書館
- サンワーク美祢
- 美祢市勤労青少年ホーム

医療機関
- 美祢市立病院
- 植田救急クリニック
- 野間クリニック
- 山本医院
- 原田外科医院
- 札場クリニック
- 藤村内科クリニック

商業施設
- サンマート美祢店
- ウェスタまるき美祢店
- ザ・ビッグ美祢店
- ダイレックス美祢店
- ディスカウントドラッグコスモス美祢店
- クスリ岩崎チェーン美祢店
- 藤井薬局美祢店
- ドラッグストアモリ美祢店
- ホームプラザナフコ美祢店

金融機関
- 山口銀行美祢支店
- 西京銀行美祢支店
- 美祢郵便局
- JA 山口美祢 美祢支所

秋吉周辺の乗降場所

交通機関
- 秋吉バス停

金融機関
- JA山口美祢秋芳支所

公共施設
- 秋芳総合支所

医療機関
- さかい内科クリニック
- あきよし竹尾クリニック

商業施設
- コメリ ハード＆グリーン秋芳店

運行日 月・水・金 祝日は運休

運　賃 一乗車につき 300円

●悪天候等の場合は、運行ができないことがあります。

国秀・外勢・藍・坂水・焼の河内・半田・中辺・栢木・江原上・江原下・芹田・前水上・入見久保・入見北・河内

栢木方面→美祢駅周辺	美祢駅周辺→栢木方面
9：10(発)	10：40(発)
12：10(発)	12：40(発)
13：40(発)	15：20(発)
栢木方面→秋吉方面	**秋吉方面→栢木方面**
7：40(発)	11：40(発)

山領・芝尾・早二・寺家・殿河内・水の上・迫・鍛治屋・小野・宮地・日峯・戸青・信大・秀十・小薮・嘉万検皮・二末・下市・中市・上市・井手口
門村・中村・平野・共栄・江良・真木・湯の上・水上・流田・別府検皮・郷の原
萩原

別府・山嶺→美祢駅周辺	美祢駅周辺→別府・山嶺
9：10(発)	10：40(発)
12：10(発)	12：40(発)
13：40(発)	15：20(発)
別府・山嶺→秋吉方面	**秋吉方面→別府・山嶺**
7：50(発)	11：40(発)

乗りたい便の30分前までに 7:40・7:50発の便は前日までに

予約 62-0033 予約センター：㈲秋芳タクシー 担当課／美祢市総合政策部地域振興課

⑧秋芳地域南部

令和2年4月1日　改正

のりあい ジオタクシー 秋芳２号車

秋芳地域南部

片山、内ケ島、新管、平佐、中下郷、下郷、追掛、岩永市、大朝、松橋、秋南、杣田、上水田、中水田、下水田、本郷川西、山露、堀の内、谷津、照岡、土井敷、宮の前、旦、旦の岡住宅、りんどうの丘

秋吉周辺の主な乗降場所

交通機関
- 秋吉バス停

公共施設
- 秋芳総合支所

医療機関
- さかい内科クリニック
- あきよし竹尾クリニック
- 田代台病院

商業施設
- コメリ ハード＆グリーン秋芳店

金融機関
- JA 山口県 秋芳支所

運行日 月・水・金 祝日は運休

運　賃 一乗車につき 300円

片山、内ケ島、新管、平佐、中下郷、下郷、追掛、岩永市、上水田、中水田、下水田、本郷川西、山露、堀の内、谷津、照岡、土井敷、宮の前、旦、旦の岡住宅、りんどうの丘

各地区(発)→秋吉方面	各地区(発)→岩永バス停・御坊バス停→美東病院方面
※8：00(発)	※8：40(発)
※11：45(発)	※10：30(発)
秋吉方面(発)→各地区	※13：00(発)
8：40(発)	※14：35(発)
10：30(発)	**美東病院方面(発)→御坊バス停・岩永バス停→各地区**
13：00(発)	11：45(発)
14：35(発)	

大朝、松橋、秋南、杣田

各地区(発)→岩永バス停・御坊バス停→秋吉方面	各地区(発)→美東病院方面
※8：00(発)	※8：40(発)
※11：45(発)	※10：30(発)
秋吉方面(発)→御坊バス停・岩永バス停→各地区	※13：00(発)
8：40(発)	※14：35(発)
10：30(発)	**美東病院方面(発)→各地区**
13：00(発)	11：45(発)
14：35(発)	

※他の地区を回るため掲載時刻よりも遅くなることがあります。

乗りたい便の30分前までに 8:00発の便は前日までに

予約 62-0033 予約センター：㈲秋芳タクシー 担当課／美祢市総合政策部地域振興課

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
岩国市地域公共交通活性化再生法協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

岩国市の概要

・平成18年３月に１市６町１村が合併
・人口　136,757人（平成27年国勢調査）
・面積　873.72k㎡

協議会の構成員

岩国市、いわくにバス㈱、防長交通㈱、錦川鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、山口県タクシー協会、岩国柱島海運㈱、中国地方整備局、山口県、住民代表、山口運輸支局、岩国警察署、中国運輸局、学識経験者

概　要

岩国市では、広域移動となる拠点間の移動は鉄道及び広域路線バスが、各拠点内の移動は地域内路線バスが担っているが、公共交通の利用者数の減少や慢性的な運転手不足等から、公共交通を取り巻く状況は大変厳しい状況にある。また、高度経済成長期に開発された住宅団地における住民の高齢化や、公共施設の移転や再編等に伴う移動ニーズの変化等、対応が必要な課題が多く発生している状況にある。

このような状況の中、持続可能な公共交通を確保・維持する取組として、地域住民の通院・買物等、日常生活に必要な地域内交通移動を維持することにより地域を活性化させ、また、広域移動となる鉄道等と地域内移動となる地域内路線バスとの接続を図ることにより、利便性を維持しながら、持続可能で効果的、効率的な公共交通体系とするための確保維持改善事業計画を構築している。

その他の施策として、利用者が少なく集落が散在する山間地域をカバーするため、事前予約型・区域運行の乗合バス（デマンドバス）を地域内幹線系統へ接続、スクールバスへの一般利用者の混乗化、乗合タクシーの実証運行等、地域の状況や要望等を勘案しながら、順次利便性の向上に向けた取組を実施している。

協議会の主な取り組み

・利用者ニーズに合わせた生活交通バス等の再編
・乗合タクシーの実証運行
・目的限定輸送サービスの統合
・錦川清流線の維持・活性化のための事業
・中山間空白地域におけるデマンドバスの導入
・岩国市公共交通総合時刻表及びマップの作成と配布
・HP等による時刻表等の情報提供
・公共交通教室の実施による利用促進事業
・高校生へのモビリティ・マネジメント事業
・公共交通利用促進に関する展示ブースの開設
・その他網形成計画に位置づけられた事業の実施

協議会における検討

協議会の開催状況　４回開催
・第１回（５月31日）（書面）R3確保維持改善計画認定申請について
・第２回（８月30日）（書面）R3確保維持改善計画変更申請について
・第３回（１月７日）（書面）R3確保維持改善計画に係る事業評価について

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

（目標）
＜玖珂地域＞
・JR岩徳線、広域路線バスへの乗り継ぎに適したダイヤの設定。
・1運行当たり利用者数を2.34人（令和元年度実績1.83人）以上とする。
＜叶木・二鹿・持ケ峠線＞
・1運行当たり利用者数を5.42人（令和元年度実績5.51人）以上とする。
（効果）
当該路線を維持することで、隣接市や市中心部への移動手段の確保、高齢者の外出促進、地域住民の活動機会の増加などで地域活性化に繋がる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

「JR岩徳線・広域路線バスへの乗り継ぎに適したダイヤ設定及び啓蒙活動等の利用促進を行う」とした点については、時刻表の全戸配布や主要施設等への設置、また、ホームページ、総合時刻表及び公共交通マップへの情報掲載等を行った。また、引き続き、JR岩徳線のダイヤ改正があればそれに合わせダイヤの調整を行う。「利用状況に即した運行体系となるよう、引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用促進を図る施策を講じていく」とした点については、昨年度実施した、乗合タクシー実証運行が新たな運行体系となれるのか、利用者や運行事業者に対し引き続き調整を行う。

実施した利用促進策

JR岩徳線のダイヤ改正があればそれに合わせダイヤの調整を行うことで利用促進を図るとともに、協議会で作成配布している総合時刻表と公共交通マップを10月と4月に発行し、利用者の利便性の向上を図った。

本マップについては、70歳を迎える高齢者に敬老優待乗車証を送付する際に同時配布を行ったり、高校生を対象としたモビリティ・マネジメント事業の一環としても配布を行い、利用促進を図っている。

また玖珂地域においては、ダイヤ改正時において地域に特化した時刻表と路線図を全戸配布している。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

地域のニーズに対応した運行内容の見直しや、乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ改正を行うとともに、総合時刻表及び公共交通マップにおいては、より利用しやすい時刻表やマップとなるよう見直す等効果の実現に向けた取組を継続的に実施した。

地域住民の意見の反映

〈玖珂地域〉
運行上の安全確保及び利便性の向上を図るため、運行ルートの修正を行った。

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会　事業の評価

事業実施の適切性

＜玖珂地域＞
事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施された。

＜叶木・二鹿・持ケ峠線＞
事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施された。

目標・効果達成状況

＜玖珂地域＞
（目標）1運行当たりの利用者数は2系統で1.38人となり、目標の2.34人を達成できなかった（対前年比-0.06人）。各系統の1運行あたりの利用者数は、玖西循環線は2.10人（対前年比-0.26人）、谷津上線の利用者は、0.42人（対前年比-0.10人）となり、目標の数値を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の流行も利用者の減少の一因と考えられる。
（効果）隣接市や市中心部への移動手段の確保、高齢者等の外出促進、地域住民の活動機会の確保などに繋がった。
＜叶木・二鹿・持ケ峠線＞
（目標）全系統における1運行当たりの利用者数は5.19人（対前年比-0.13人）となり、目標の5.42人を達成できなかった。各系統の1運行あたりの利用者数としては、叶木線が5.71人（対前年比0.14人）、二鹿線8.49人（対前年比-0.12人）、持ケ峠線1.40人（対前年比-0.39人）となり、持ケ峠線の1路線が目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の流行も利用者の減少の一因と考えられる。
（効果）また、各路線については、地域の公共交通空白地の解消と、高齢者等の移動手段の確保につながった。

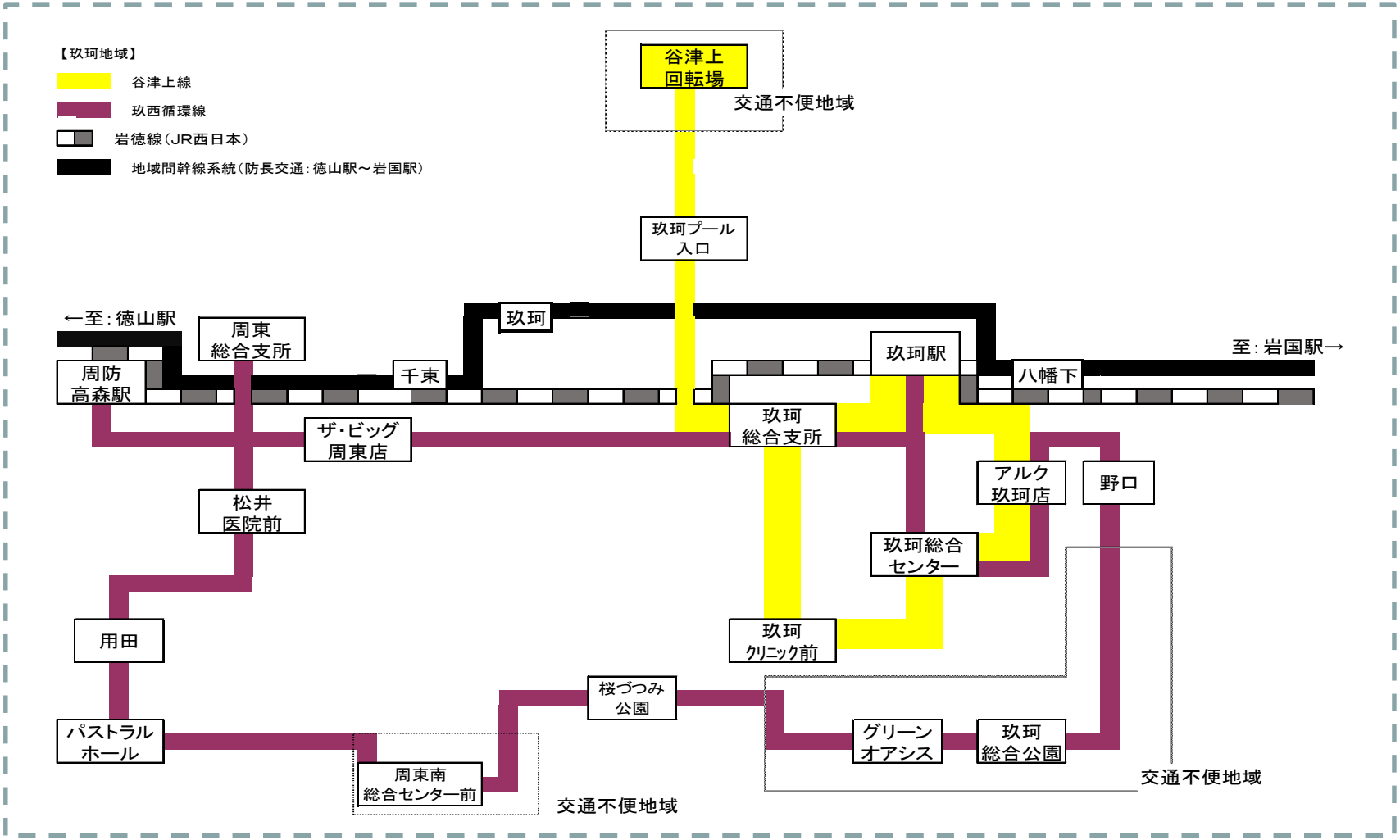
事業の今後の改善点

＜玖珂地域＞
今後も引き続きJR岩徳線・広域路線バスへの乗り継ぎに適したダイヤの設定及び啓蒙活動等の利用促進を行う。また、利用状況に即した内容での運行便数に変更することで1運行あたりの利用者数の向上を図ることにより、持続可能な運行を目指す。

＜叶木・二鹿・持ケ峠線＞
今後も引き続きJR岩国駅への接続を行い、利用者への啓蒙活動等の利用促進を行う。また、利用者からの要望についても、運行事業者等と調整を行いながら、利便性の向上に努めることで、持続可能な運行を目指す。

運行系統図

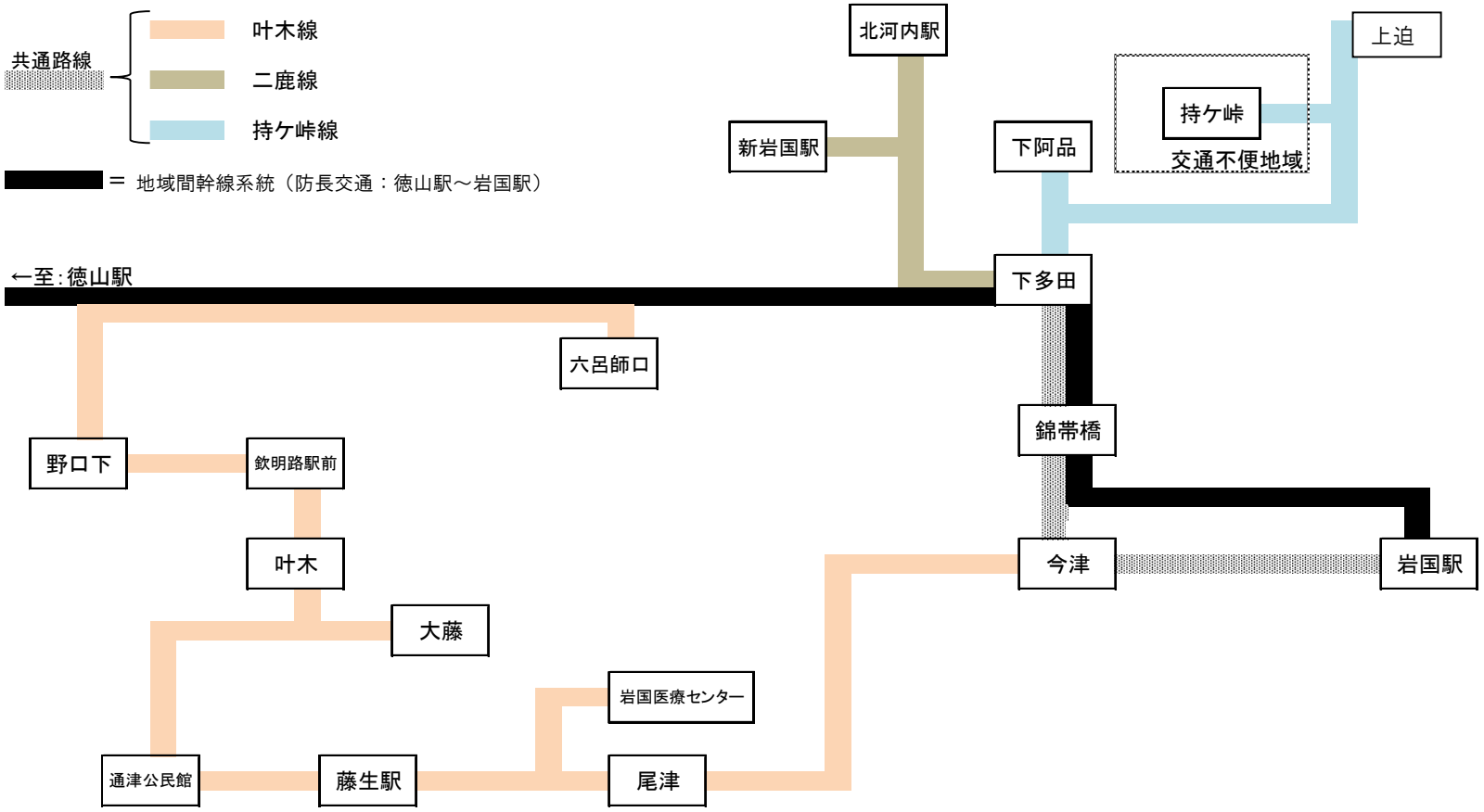
系統名	谷津上線、玖西循環線
運行形態	市町村運営有償運送　ー　乗合バス型（定期）
運行日・便数	谷津上線　9便　ー　火水木土（祝日及び年末年始12/31～1/2運休）
	玖西循環線　8便　ー　（毎日（日祝及び年末年始12/31～1/2運休））
運賃	谷津上線（対キロ制）　玖西循環線（200円均一）



運行系統図

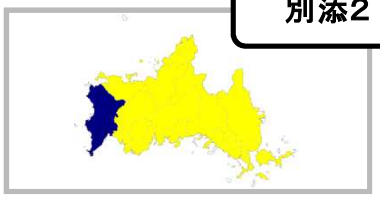
系統名	叶木・二鹿・持ケ峠線
運行形態	4条路線　－　乗合バス型（定期）
運行日・便数	叶木線　　2便　－　月木（祝日運休）、二鹿線　　2便　－　火金（祝日運休）、持ケ峠線　　2便　－　水金（祝日運休） なお、12/31～1/2（年末年始）は叶木線・二鹿線・持ケ峠線運休。
運賃	対キロ制

【叶木・二鹿・持ケ峠線】



別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
下関市地域公共交通会議
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



下関市の概要
・平成17年2月に1市4町が合併
・人口　26万9千人
・面積　715.89平方キロメートル
※平成27年国勢調査より

下関市地域公共交通会議の構成員　下関市連合自治会　サンデン交通(株)
ブルーライン交通(株)　山口県タクシー協会　西日本旅客鉄道(株)
交通労連山口県支部　中国運輸局山口運輸支局　下関商工会議所
下関警察署　山口県下関土木建築事務所　下関市社会福祉協議会
下関市立大学　山口河川国道事務所　下関市（都市整備部・建設部・港湾局）

概　要

下関市は、平成17年に旧下関市と旧菊川町、旧豊田町、旧豊浦町、旧豊北町の1市4町が合併し、広い市域を持つ事となった。
合併前の4町地域では、住民の移動手段としてそれぞれの態様で生活バスが運行されていたが、合併後においてサービス水準の統一と地域間における公平性確保のため、制度の見直しを行い、日常生活に必要な地域内移動及び広域移動を担う鉄道や幹線バスへの接続手段確保等、運行方法の検討と構築を行って来た。
こうした地域内の移動や、広域の交通機関への接続などについて、持続可能な地域交通を確保・維持する取組みとして地域内フィーダー系統確保維持計画を策定し運行を行っている。

協議会の主な取り組み

- 交通空白地域におけるフィーダー交通の導入
- 「下関市総合交通戦略」進捗管理
- 公共交通利用促進

協議会における検討

・第27回（令和3年1月6日）
地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー、バリアフリー化設備等整備）に関する事業評価について
菊川町生活バス「樋ノ木・保木線」貨客混載について
・第28回（令和3年6月21日、文書審議）
下関市生活バス　地域内フィーダー系統確保維持計画について
令和2年度自家用有償旅客運送の運行実績について
下関市総合交通戦略（下関市地域公共交通網形成計画）の進捗管理について
・第29回（令和3年7月19日）
下関市生活バス（菊川）における貨客混載事業について
山口宇部空港とJR下関駅を結ぶ乗合タクシーの運行について

下関市地域公共交通会議　事業の評価

定量的な目標・効果

（目標）　令和3年(2021年)度　豊田地域　2,350人/年 ・ 菊川地域　5,610人/年
（効果）　生活バスを維持することで、買物や通院など各地域内における生活のための移動手段が確保され、
　　高齢者等の外出促進が図られると共に、幹線系統に接続することで広域移動の機会についても確保される。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

予定していた利用促進策（地域イベントでのチラシや時刻表の配布、運行についての説明等）については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止とし、バス車両内部を定期的に消毒する等、利用者が安心できる環境作りに努めた。

また、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや経路、運行形態等の見直しを実施した。

実施した利用促進策

◎全域 ： 使用料金ワンコイン化を継続。
　　コロナ対策として、定期的な車両内部の消毒、換気、
　　運転手のマスク着用。利用者へのマスク着用お願い。
〇豊田 :医療機関等へ時刻表掲示。自治会回覧による制度周知。
　　自治会アプリへ時刻表等を掲載。
〇菊川 :自治会を通じてのチラシ等の配布

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

令和2年8月に策定したR2年10月からR7年9月までの再編実施計画に基づき、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや経路、運行形態等の見直しを実施した。

地域住民の意見の反映

〇豊田 :委託事業者よりヒアリングを行い、利用状況等を確認。
〇菊川 :委託事業者よりヒアリングを行い、利用状況等を確認。

下関市地域公共交通会議　事業の評価

事業実施の適切性

〇豊田　杢路子線：計画通り事業は適切に実施された。
　　一の俣線：計画通り事業は適切に実施された。
　　今出線　：計画通り事業は適切に実施された。
　　一の瀬線：計画通り事業は適切に実施された。

〇菊川　樅ノ木・保木線　：計画どおり事業は適切に実施された。
　　内日・田部循環線：計画どおり事業は適切に実施された。
　　久野線　　：計画どおり事業は適切に実施された。

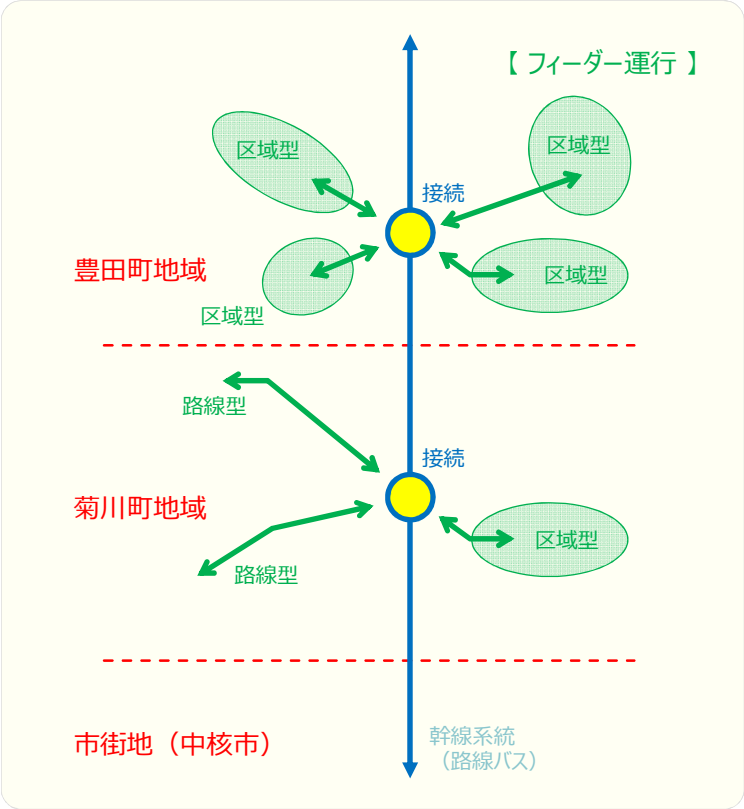
目標・効果達成状況

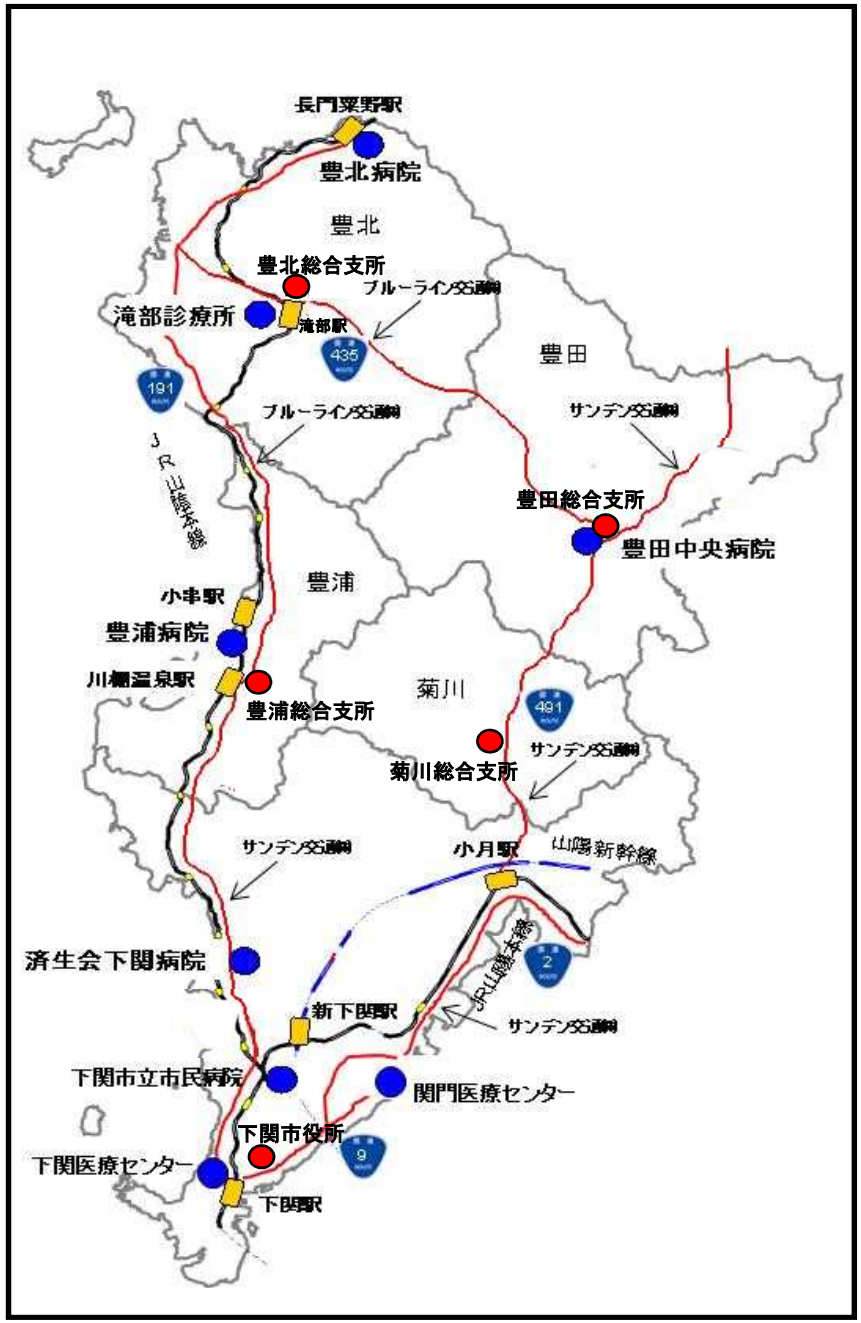
〇豊田（杢路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線）
　：R3年度目標利用者数：2,350人／年　R3年度実績：2,284人／年　目標達成率　97.2%
　新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や利用頻度の高い利用者が身体的理由等から乗降車困難になった事等により、利用者が減少し、目標は達成できなかった。
〇菊川（樅ノ木・保木線、内日・田部循環線、久野線）
　：R3年度目標利用者数：5,610人／年　R3年度実績：3,948人／年　目標達成率　70.4%
　新型コロナウイルスの影響による屋内施設の臨時休館等に伴う外出控えや、利用学生の卒業等により、利用者が減少し、目標は達成できなかった。

事業の今後の改善点

・生活バス全路線1乗車ワンコイン(100円)化を継続。
・新型コロナウイルス感染症に関する状況を注視し、安心して利用できる環境の整備や、自治会へのチラシ配布、イベント時の意識啓発活動を行い、更なる利用促進を図る。
・再編実施計画に基づき、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや便数、経路、運行形態等、生活バス路線のさらなる具体的な見直しに取り組む。

交通体系図　別紙


【 フィーダー運行 】
区域型
区域型
接続
区域型
豊田町地域
区域型
路線型
接続
菊川町地域
区域型
路線型
市街地（中核市）
幹線系統
（路線バス）


長門粟野駅
豊北病院
豊北
豊北総合支所
ブルーライン交通
滝部診療所
滝部駅
豊田
435
191
ブルーライン交通
サンデン交通
JR山陰本線
豊田総合支所
豊田中央病院
小串駅
豊浦
豊浦病院
川棚温泉駅
豊浦総合支所
菊川
491
菊川総合支所
サンデン交通
サンデン交通
小月駅
山陽新幹線
済生会下関病院
JR山陽本線
2
新下関駅
サンデン交通
下関市立市民病院
関門医療センター
下関市役所
9
下関医療センター
下関駅

運行系統図　別紙

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス）●

〇系　統　名〇（豊田地域） 杢路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線

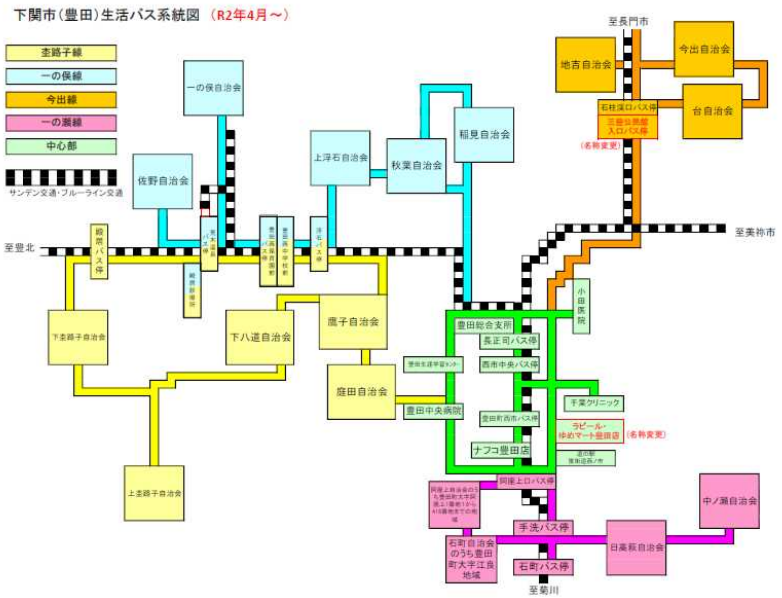
（菊川地域） 樅ノ木・保木線、内日田部循環線、久野線

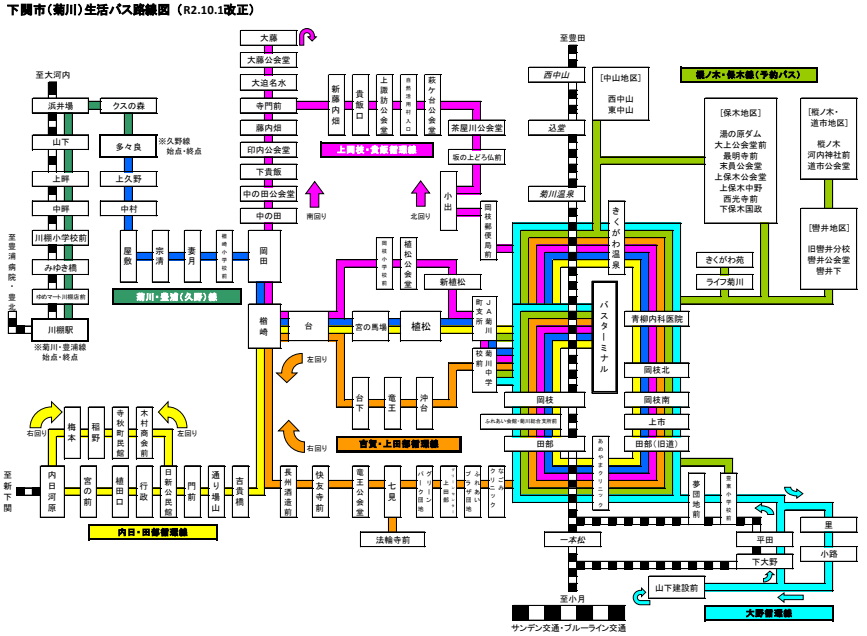
〇運　行　日〇 月曜日から土曜日

〇便　　数〇（豊田地域） 杢路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ・・・3回/日

（菊川地域） 樅ノ木・保木線 ・・・4回/日、内日田部循環線・・・5回/日、久野線・・・1．5回/日

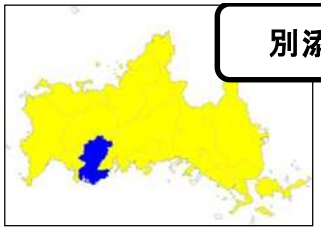
〇運　　賃〇 一乗車使用料　100円





令和３年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
宇部市地域公共交通確保維持改善協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

別添２



宇部市の概要

・平成16年11月に1市1町が合併
・人口　169,429人（平成27年国勢調査）
・面積　286.65㎢

協議会の構成員

宇部市、中国運輸局山口運輸支局、山口県、宇部市交通局、
船木鉄道㈱、宇部山電タクシー㈱、宇部第一交通㈱

概　要

宇部市は平成16年に楠町と合併。これにより、北部の中山間地域は拡大した。
高齢化の著しい中山間地域を中心に持続可能な地域内交通を確保・維持する取組みとして、事前予約型・区域運行の乗合タクシー、バスを地域内幹線系統に接続させるため平成21年10月から実施している。
元気で安心な暮らしを支え、「使いやすく、持続可能な地域公共交通網」を形成するため、平成28年３月に宇部市地域公共交通網形成計画を策定し、平成29年８月に国土交通省から宇部市地域公共交通利便増進実施計画（旧宇部市地域公共交通再編実施計画）の認定を受けた。その後、平成30年8月、令和元年8月、令和2年9月、令和3年9月に一部事業を見直しし、変更認定を受けた。

協議会の主な取り組み

・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編

・交通空白地域におけるフィーダー交通の導入

・ユニバーサルデザインタクシー導入に向けた
　協議

・利用促進に向けた地域での啓蒙活動

・バリアフリーの車両導入

協議会における検討

協議会の開催状況

令和2年度
・第1回　令和2年6月30日～7月22日
　　令和3年度地域内フィーダー系統確保維持計画の文書協議・合意
・第2回　令和3年1月6日
　　令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

令和3年度
・第1回　令和3年6月22日～28日
　　令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画の文書協議・合意
・第2回　令和4年1月5日
　　令和3年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

○二俣瀬線　宇部市交通局
【目標】・収支率5.0%、年間利用者数900人、稼働率40.0%のいずれかの達成
（令和元年度実績　収支率4.9%、年間利用者数573人、稼働率28.9%）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。
・小学生の通学手段が確保されることにより、保護者等における送迎の負担軽減が図れる。

○吉部・万倉線　船木鉄道㈱
【目標】・収支率5.0%、年間利用者数1,200人、稼働率65.0%のいずれかの達成
（令和元年度実績　収支率2.8%、年間利用者数860人、稼働率51.3%）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○西宇部線　宇部山電タクシー㈱
【目標】・収支率33.0%、年間利用者数2,000のいずれかの達成（令和元年度実績　収支率24.4%、年間利用者数1,431人）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○厚南線　宇部山電タクシー㈱
【目標】・収支率20.0%、年間利用者数2,400人のいずれかの達成（令和元年度実績　収支率16.1%、年間利用者数1,913人）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○原線　宇部第一交通㈱
【目標】・収支率40.0%、年間利用者数1,700人のいずれかの達成（令和元年度実績　収支率39.4%、年間利用者数1,636人）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○東部市内循環線（めぐりーな）　宇部市交通局
【目標】・収支率44.0%、年間利用者数45,000人のいずれかの達成（令和元年度実績　収支率42.1%、年間利用者数40,212人）
【効果】・交通空白地域からの移動手段の確保、市街地の公共施設への移動手段の確保ができ、さらなる利用者の安全性・
利便性が向上する。

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

○市街地循環線　宇部市交通局
【目標】・収支率20.0%、年間利用者数12,000人のいずれかの達成（令和元年度実績　収支率18.1%、年間利用者数8,307人）
【効果】・まちなかの円滑な移動手段の確保ができ、結節点で電車やバスと連携することで、広域的な移動利便性が向上する。

○黒石線　宇部市交通局
【目標】・収支率64.0%の達成（令和元年度実績　収支率56.0%）
【効果】・都市拠点、地域拠点を高頻度・等間隔で結び、結節点で電車やバスと連携することで、広域的な移動利便性が向上する。

○桃山線　宇部第一交通㈱
【目標】・収支率20.0%、年間利用者数4,600人（令和元年度実績　収支率13.7%、年間利用者数3,116人）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○東岐波線　宇部第一交通㈱
【目標】・収支率20.0%、年間利用者数1,600人（令和元年度実績　収支率9.9%、年間利用者数792人）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○藤山線　宇部山電タクシー㈱
【目標】・収支率25.0%、年間利用者数600人（令和元年度実績　収支率17.9%、年間利用者数69人）
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

実施した利用促進策

○西宇部線　宇部山電タクシー㈱、厚南線　宇部山電タクシー㈱、原線　宇部第一交通㈱、桃山線　宇部第一交通㈱、東岐波線　宇部第一交通㈱
チラシの全戸配布等を行った。

○西宇部線　宇部山電タクシー㈱
クリスマスキャンペーンを行った。

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

〇二俣瀬線　宇部市交通局
地域コミュニティと協力し、各自治会ごとに使い方（乗り方）支援等を実施し利用促進を行った。また、運行内容を周知するチラシ等を回覧した。

〇吉部・万倉線　船木鉄道㈱
地域住民や事業者へのヒアリングにより利用者ニーズの把握に努めながら、引き続き接続する路線バスとの一体的な見直しを検討している。

〇西宇部線　宇部山電タクシー㈱
「イベントなどの周知活動を継続する。」とした点については、クリスマスキャンペーンを継続した。また、チラシ等を関係自治会に回覧した。また、令和3年10月から水曜日を、日祝ダイヤと同じ内容に変更（減便）し、収支率の改善を図った。

〇厚南線　宇部山電タクシー㈱
運行内容を周知するチラシ等を関係自治会に班回覧した。また、一昨年新たに設置した停留所の周辺自治会にチラシ等を配布し周知を行った。

〇原線　宇部第一交通㈱
運行内容を周知するチラシ等を関係自治会に全戸配布した。また、利用実態に合わせ、令和3年10月に運行内容の見直しを実施した。

〇東部市内循環線　宇部市交通局
「周知活動を継続する。」とした点について、市広報紙、総合時刻表、ホームページなどで情報提供を行った。

〇市街地循環線　宇部市交通局
「周知活動を継続する。」とした点について、市広報紙、総合時刻表、ホームページなどで情報提供を行った。

〇黒石線　宇部市交通局
「周知活動を継続する。」とした点について、市広報紙、総合時刻表、ホームページなどで情報提供を行った。

〇桃山線　宇部第一交通㈱
運行内容、およびコミタクと路線バスを利用してショッピングモールに行く際の想定ダイヤを記載した周知チラシを関係自治会に配布した。また、令和3年10月から、利便性向上のため、乗車・降車に関するルールの見直しを実施した。

〇東岐波線　宇部第一交通㈱
運行内容を周知するチラシ等を関係自治会に全戸配布した。また、利用者からの要望により、令和3年10月から新たに1ヵ所停留所を追加した。

〇藤山線　宇部山電タクシー㈱
運行内容を周知するチラシ等を関係自治会に配布した。

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

「今後も引き続き利用実態と利用者ニーズの把握に努めると共に、現状を考慮した取組について関係者と協議を行っていただきたい。」とされた点については、月次で利用実績を把握するとともに、地域との定期的な会議への出席を通じて、利用状況を踏まえた運行内容の見直しに努めている。

地域住民の意見の反映

○西宇部線　宇部山電タクシー㈱
　令和3年10月に利用実態に合わせて、水曜日を、日祝ダイヤと同じ内容に変更した。

○原線　宇部第一交通㈱
　令和3年10月に、地域住民の要望を踏まえ、運行時間帯及び運行曜日の変更、利用見込のある停留所の新設、利用が低調となっている停留所の廃止、わかりやすい停留所名への変更等を実施した。

○桃山線　宇部第一交通㈱
　令和3年10月に、利便性向上のため、乗車・降車に関するルールの見直しを実施した。

○東岐波線　宇部第一交通㈱
　令和3年10月に、地域住民の要望により、ルート上に新たに1ヵ所停留所を追加した。

事業実施の適切性

○二俣瀬線　宇部市交通局
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○吉部線、万倉線　船木鉄道㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○西宇部線　宇部山電タクシー㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○厚南線　宇部山電タクシー㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○原線　宇部第一交通㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○東部市内循環線　宇部市交通局
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○市街地循環線　宇部市交通局
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○黒石線　宇部市交通局
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○桃山線　宇部第一交通㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○東岐波線　宇部第一交通㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

○藤山線　宇部山電タクシー㈱
　事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

目標・効果達成状況

〇二俣瀬線　宇部市交通局
　目標は収支率5.0%、年間利用者数900人、稼働率40.0%のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率2.8%、年間利用者数205人、稼働率 15.8%で、いずれの目標も達成できなかった。

〇吉部線、万倉線　船木鉄道㈱
　目標は収支率5.0%、年間利用者数1,200人、稼働率65.0%のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率2.2%、年間利用者数754人、稼働率47.4%で、いずれの目標も達成できなかった。

〇西宇部線　宇部山電タクシー㈱
　目標は収支率33.0%、年間利用者数2,000人のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率17.7%、年間利用者数1,217人で、いずれの目標も達成できなかった。

〇厚南線　宇部山電タクシー㈱
　目標は収支率20.0%、年間利用者数2,400人のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率17.2%、年間利用者数2,292人で、いずれの目標も達成できなかったものの、昨年度実績値と比較し、収支率は4.1%、年間利用者数は667人増加した。

〇原線　宇部第一交通㈱
　目標は収支率40.0%、年間利用者数1,700人のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率25.0%、年間利用者数1,222人で、いずれの目標も達成できなかった。

〇東部市内循環線　宇部市交通局
　目標は収支率44.0%、年間利用者数45,000人のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率36.5%、年間利用者数33,589人で、いずれの目標も達成できなかった。

〇市街地循環線　宇部市交通局
　目標は収支率20.0%、年間利用者数12,000人のいずれかの達成であったが、車両の小型化によるルートの見直しの効果もあり、実績は収支率26.9%、年間利用者数13,831人で、いずれの目標も達成した。

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

目標・効果達成状況

○黒石線　宇部市交通局
　目標は収支率64.0%の達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率57.4%で、目標を達成できなかった。

○桃山線　宇部第一交通㈱
　目標は収支率20.0%、年間利用者数4,600人のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率13.0%、年間利用者数2,115人で、いずれの目標も達成できなかったものの、昨年度実績値と比較し、収支率は2.3%、年間利用者数は14人の微増となった。

○東岐波線　宇部第一交通㈱
　目標は収支率20.0%、年間利用者数1,600人のいずれかの達成であったが、実績は収支率24.7%、年間利用者数1,663人で、いずれの目標も達成した。

○藤山線　宇部山電タクシー㈱
　目標は収支率25.0%、年間利用者数600人のいずれかの達成であったが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響もあり、実績は収支率18.7%、年間利用者数428人で、いずれの目標も達成できなかった。

宇部市地域公共交通確保維持改善協議会　事業の評価

事業の今後の改善点

〇二俣瀬線　宇部市交通局
利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、利用促進や運行内容の見直しを検討する。

〇吉部・万倉線　船木鉄道㈱
引き続き利用実態と利用者ニーズの把握に努め、接続する路線バスと一体的な利用促進や見直しを実施する。

〇西宇部線　宇部山電タクシー㈱
令和3年10月に実施した利用実態に合わせた見直し内容を周知する。また、イベントなどによる周知活動を継続し、収支率の改善、利用者数の増加を図る。

〇厚南線　宇部山電タクシー㈱
利用実態と利用者ニーズの把握に努め、運行内容の見直しを検討する。

〇原線　宇部第一交通㈱
令和3年10月に実施した利用実態に合わせた見直し内容を周知する。

〇東部市内循環線　宇部市交通局
運行内容が定着し、利用者が増加しているので、周知活動を継続する。

〇市街地循環線　宇部市交通局
目標は達成したが、収支率が30%を下回っていることから、運行の見直しを検討する必要がある。

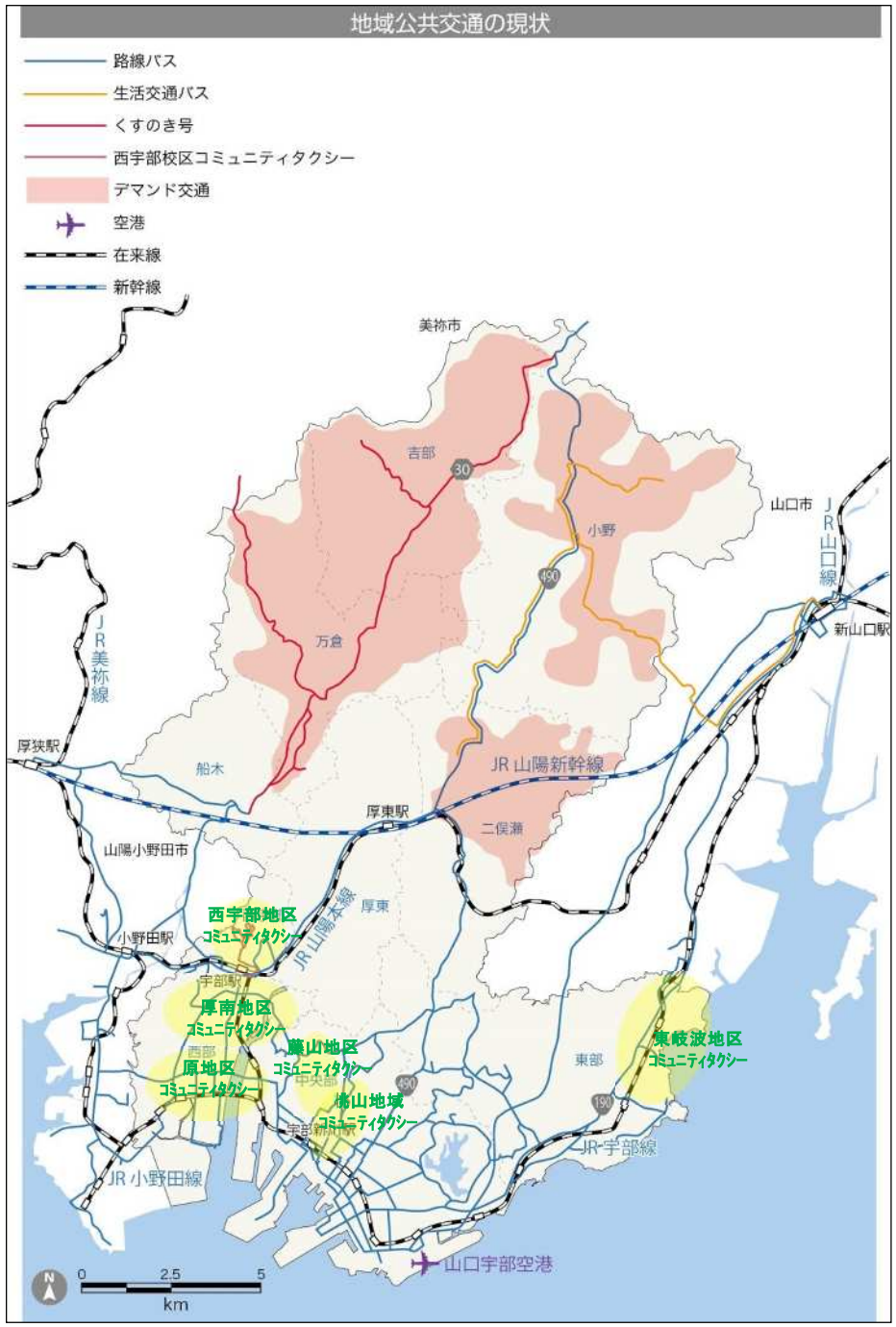
〇黒石線　宇部市交通局
宇部市地域公共交通利便増進実施計画に基づき都市拠点、地域拠点を高頻度・等間隔運行で結ぶ主要幹線として、今後も利用動向や要望を踏まえて改善を図る。

〇桃山線　宇部第一交通㈱
利用実態と利用者ニーズの把握に努め、運行内容の見直しを検討する。

〇東岐波線　宇部第一交通㈱
令和3年10月に実施した利用実態に合わせた見直し内容を周知し、引き続き収支率及び年間利用者数の増加を図る。

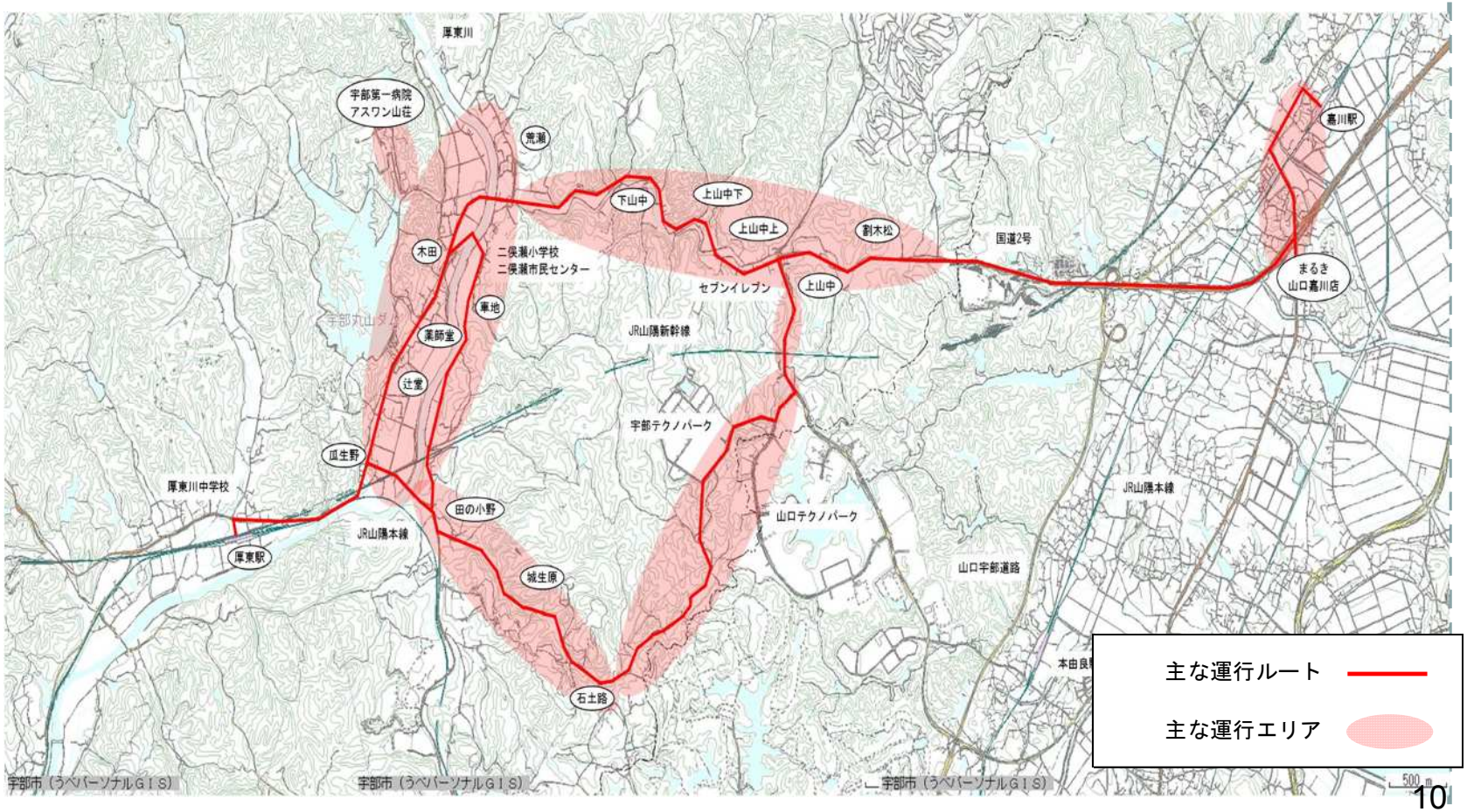
〇藤山線　宇部山電タクシー㈱
利用実態と利用者ニーズの把握に努め、運行内容の見直しを検討する。

交通体系図　別紙


地域公共交通の現状
路線バス
生活交通バス
くすのき号
西宇部校区コミュニティタクシー
デマンド交通
空港
在来線
新幹線
美祢市
吉部
山口市
小野
万倉
JR山口線
新山口駅
JR美祢線
厚狭駅
船木
JR山陽新幹線
厚東駅
二俣瀬
山陽小野田市
厚東
JR山陽本線
西宇部地区
コミュニティタクシー
小野田駅
宇部駅
厚南地区
コミュニティタクシー
藤山地区
コミュニティタクシー
原地区
コミュニティタクシー
西部
中央部
東部
楠地域
コミュニティタクシー
東岐波地区
コミュニティタクシー
JR宇部線
JR小野田線
山口宇部空港
0
2.5
5
km

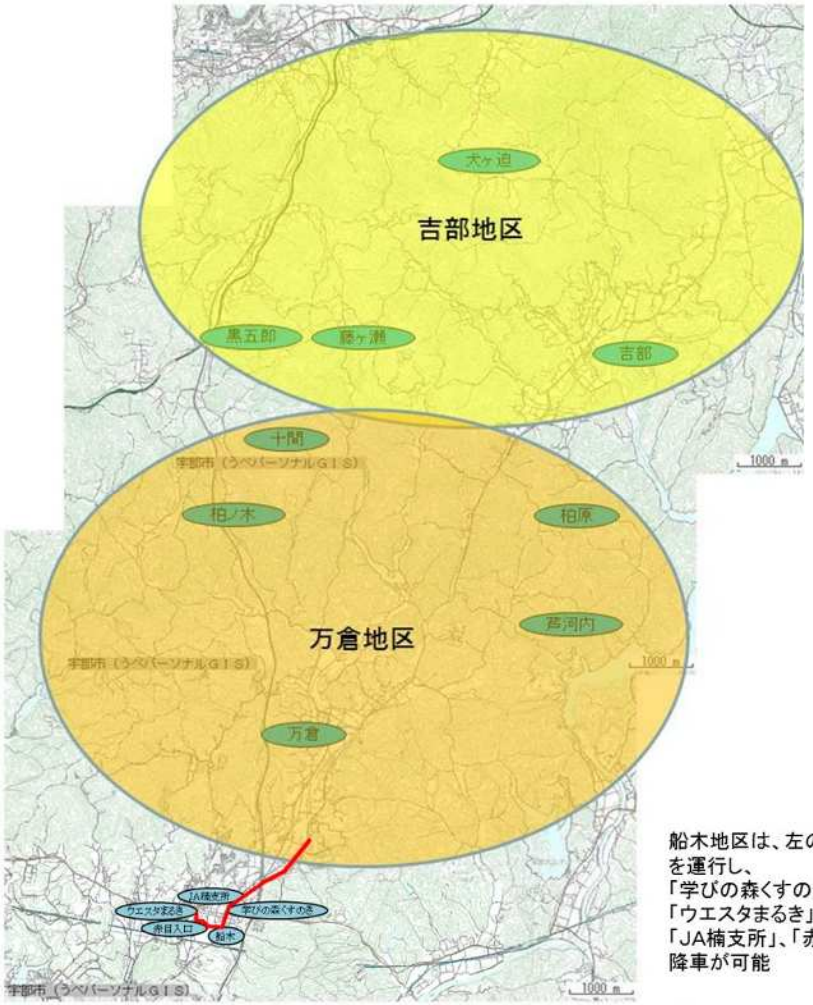
運行系統図　別紙

【系　統　名】　二俣瀬線　宇部市交通局
【運 行 形 態】　4条路線　区域デマンド型
【運行日・便数】 月～金 （祝日、8／15・16、12／29～1／3運休）　1日4便
【運　　賃】　200円



運行系統図　別紙

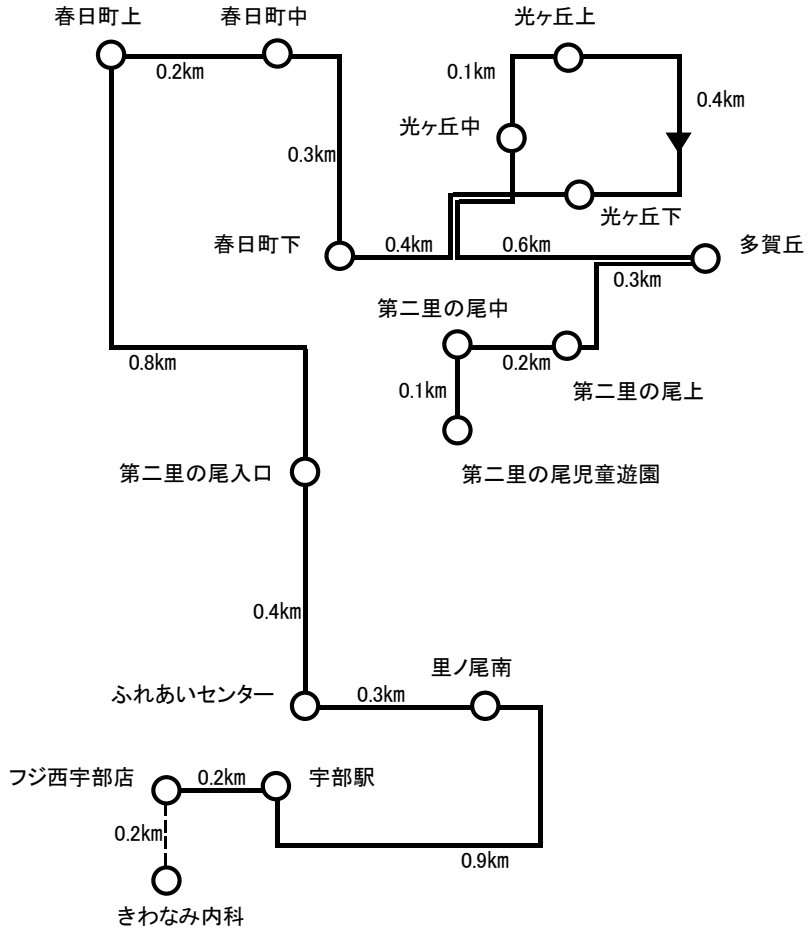
【系　統　名】　吉部線、万倉線　船木鉄道㈱
【運 行 形 態】　4条路線　区域デマンド型
【運行日・便数】 月～金　（祝日、8／14 ～16 、12／31～1／3運休）　 1日4便
【運　　賃】　200円



船木地区は、左の赤線のルートを運行し、
「学びの森くすのき」、「船木」、「ウエスタまるき」で乗降が、
「JA楠支所」、「赤目入口」で降車が可能

運行系統図　別紙

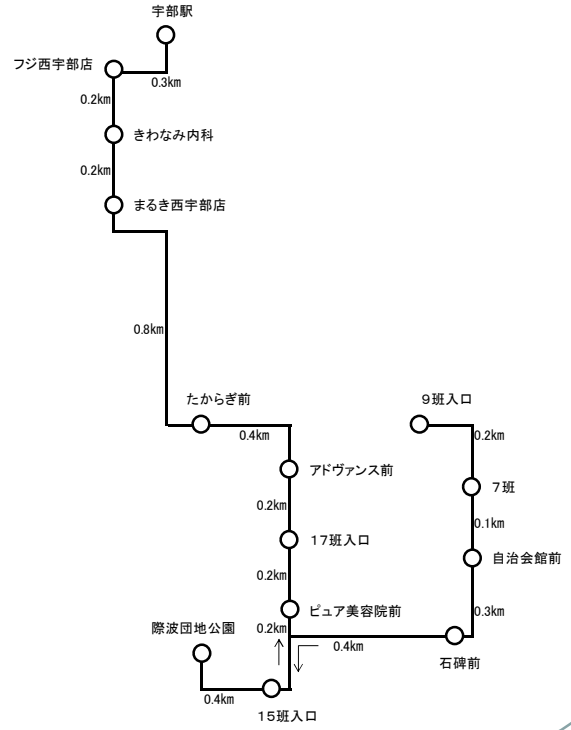
【系　統　名】　西宇部線　宇部山電タクシー㈱
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 月～金及び日祝（土曜、12／29～1／3運休）
　　月～金：往路2便 復路1便、循環1便、　日祝：往路1便 復路1便
【運　　賃】　300円、200円、100円



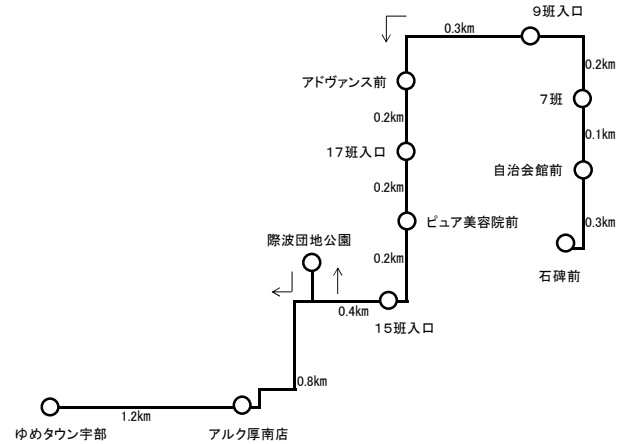
運行系統図　別紙

【系　統　名】　厚南線　宇部山電タクシー㈱
【運 行 形 態】　４条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】①上開作（宇部駅）　火・金　　往復1便　　②上開作（ゆめタウン）　月、木　　往復1便
③際波台（宇部駅）　平日　　往復1便　　④際波台（ゆめタウン往路）　平日　　往復1便
⑤大森（宇部駅）　水　　往復1便　　⑥大森・旭が丘（ゆめタウン）　火・土　　往復1便
※祝日、12/29～1/3除く
【運　　賃】　200円

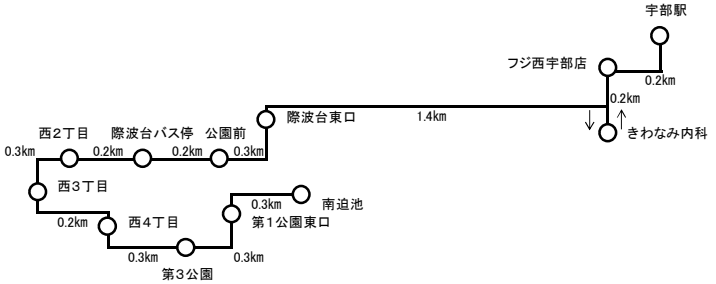
厚南線　上開作（宇部駅）　（4.3km）



厚南線　上開作（ゆめタウン）（3.9km）



厚南線　際波台（宇部駅）（3.9km）

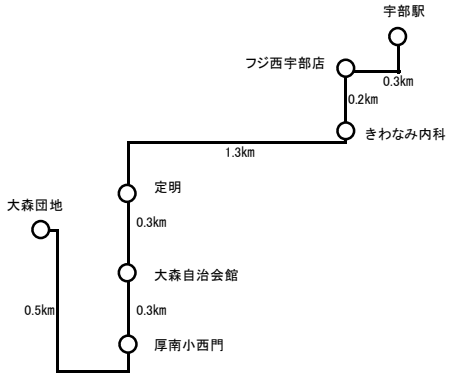


運行系統図　別紙

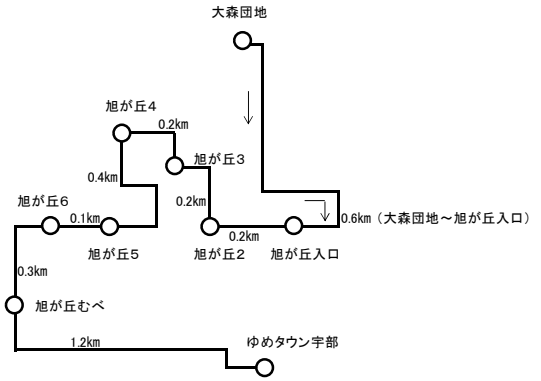
【系　統　名】　厚南線　宇部山電タクシー㈱

厚南線　際波台（ゆめタウン）（5.7km）

厚南線　大森（宇部駅）（2.9km）



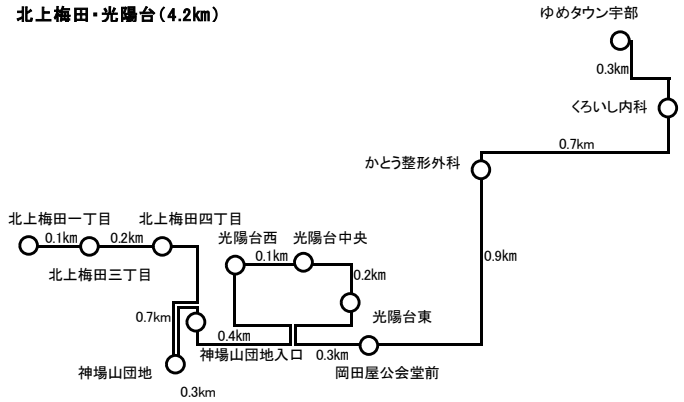
厚南線　大森・旭が丘（ゆめタウン）（3.2km）



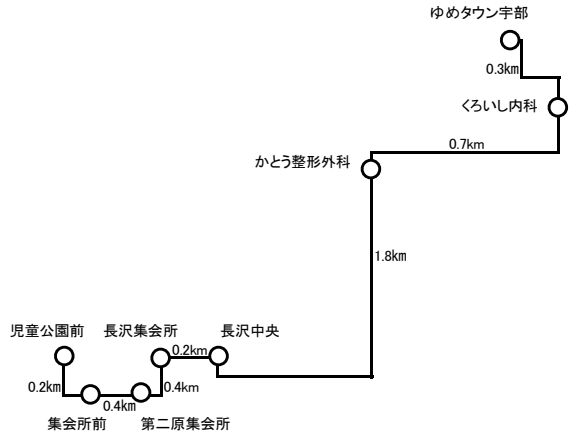
運行系統図　別紙

【系　統　名】　原線　宇部第一交通㈱
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 火・金（祝日、12/29～1/3除く）　往復1便
　　①北上梅田・光陽台、②第二原、③第一原、④新開作
【運　　賃】　300円

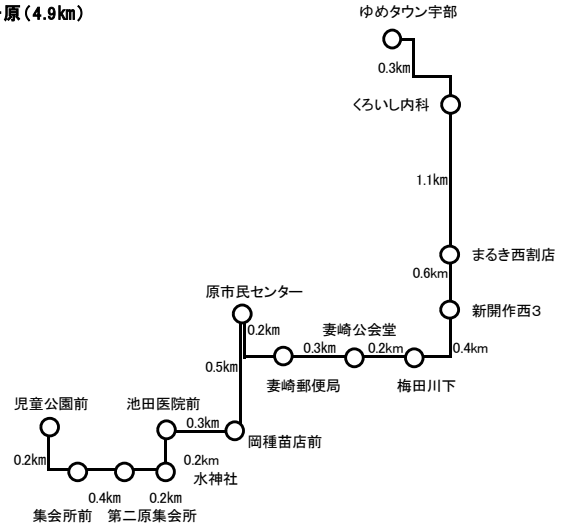
1　北上梅田・光陽台（4.2km）



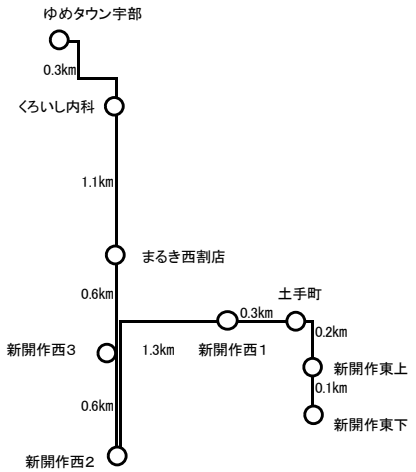
2　第二原（4.0km）



3　第一原（4.9km）

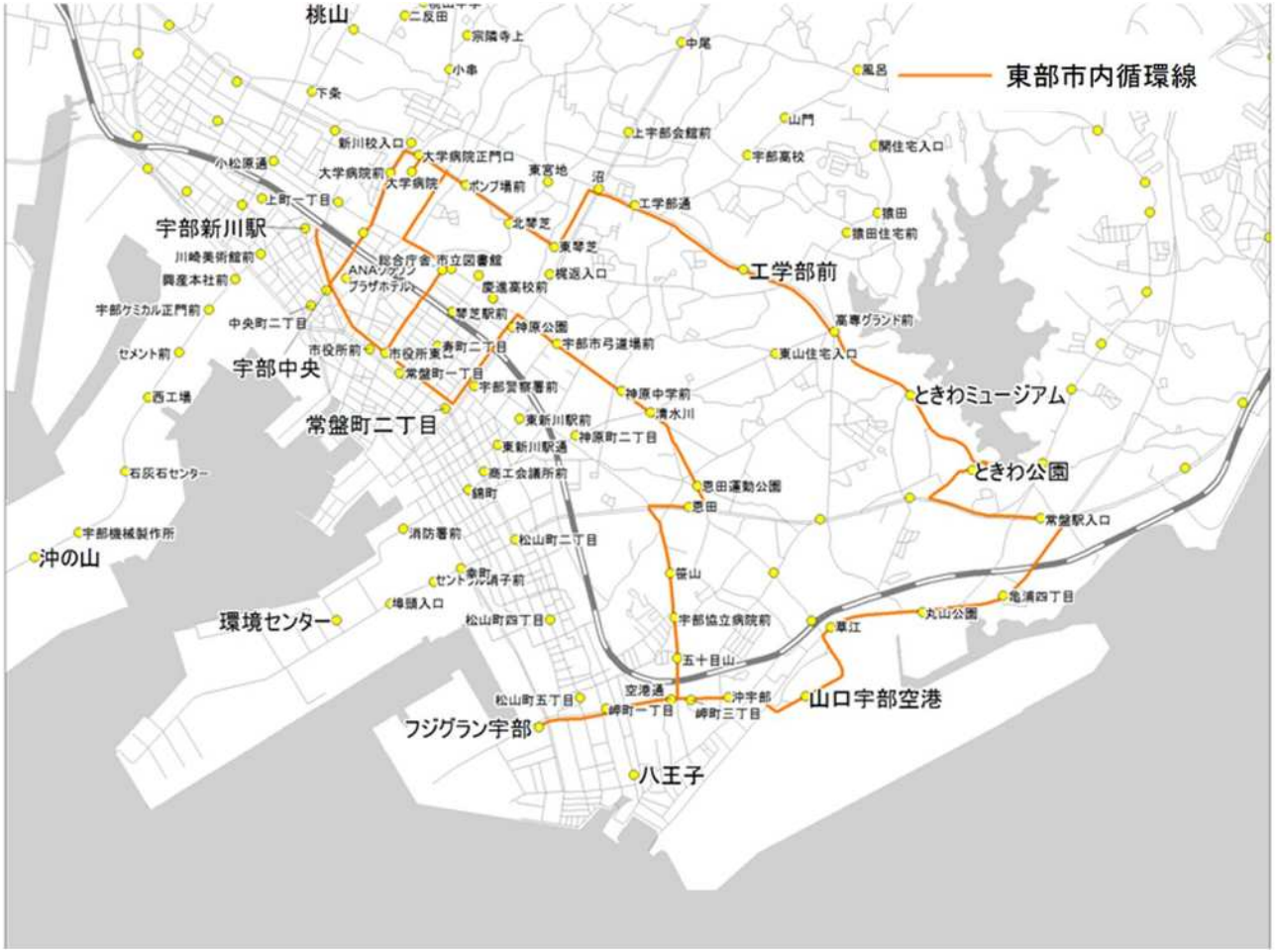


4　新開作（4.5km）



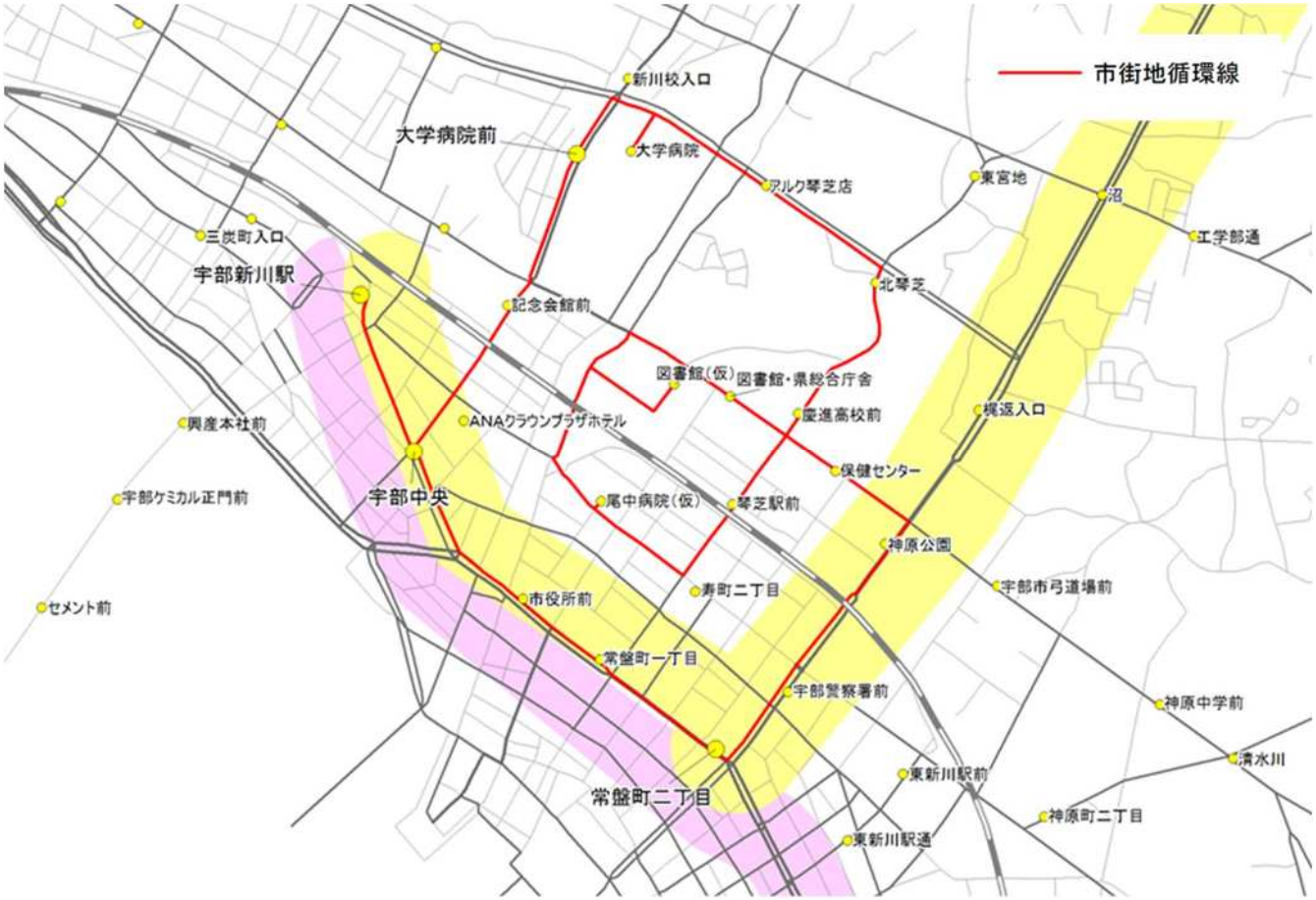
運行系統図　別紙

【系　統　名】　東部市内循環線　宇部市交通局
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 毎日　　工学部・空港回り1日4便　恩田・空港回り1日4便
【運　　賃】　区間運賃制 130円～300円



運行系統図　別紙

【系　統　名】　市街地循環線　宇部市交通局
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 毎日　平日：琴芝駅・大学病院回り1日6便　大学病院・空港回り1日5便
　　土日祝（1/2・3、8/15・16、12/30・31含む）：琴芝駅・大学病院回り1日5便　大学病院・空港回り1日5便
【運　　賃】　150円



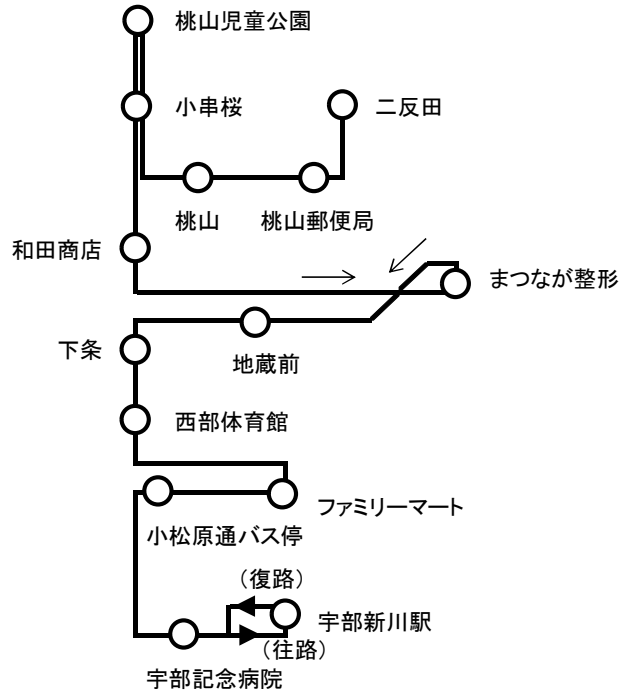
運行系統図　別紙

【系　統　名】　黒石線　宇部市交通局
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 毎日　平日：1日往路17便、復路15便
　　土日祝（1/2・3、8/15・16、12/30・31含む）：1日往路14便、復路11便
【運　　賃】　区間運賃制 130円～400円

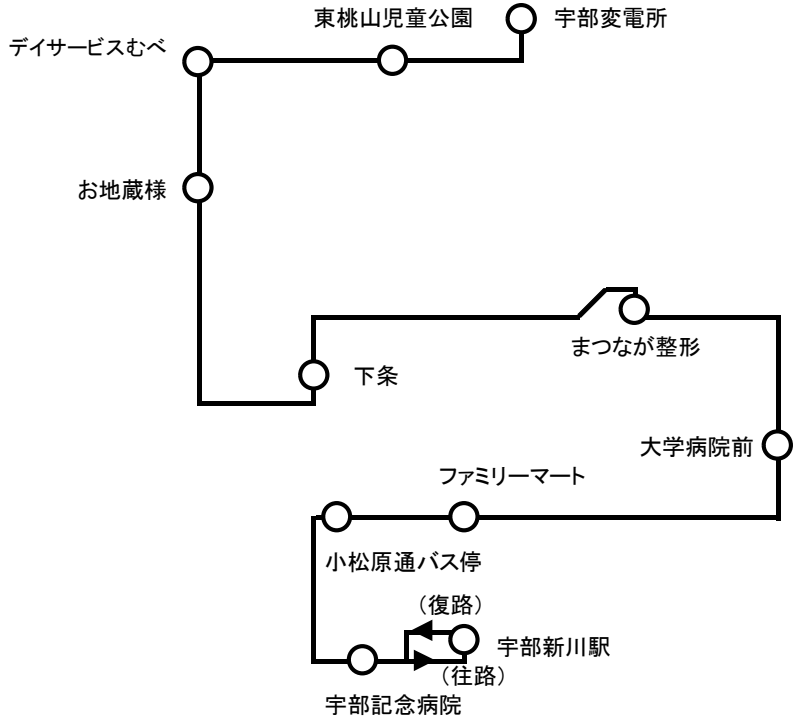
運行系統図　別紙

【系　統　名】　桃山線　宇部第一交通㈱
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】　月、水、木、金（祝日、12/29～1/3除く）
①新川　往路4便　復路3便
②鵜の島　往路3便　復路2便
【運　　賃】　250円

【①新川ルート（二反田　～　宇部新川駅）】



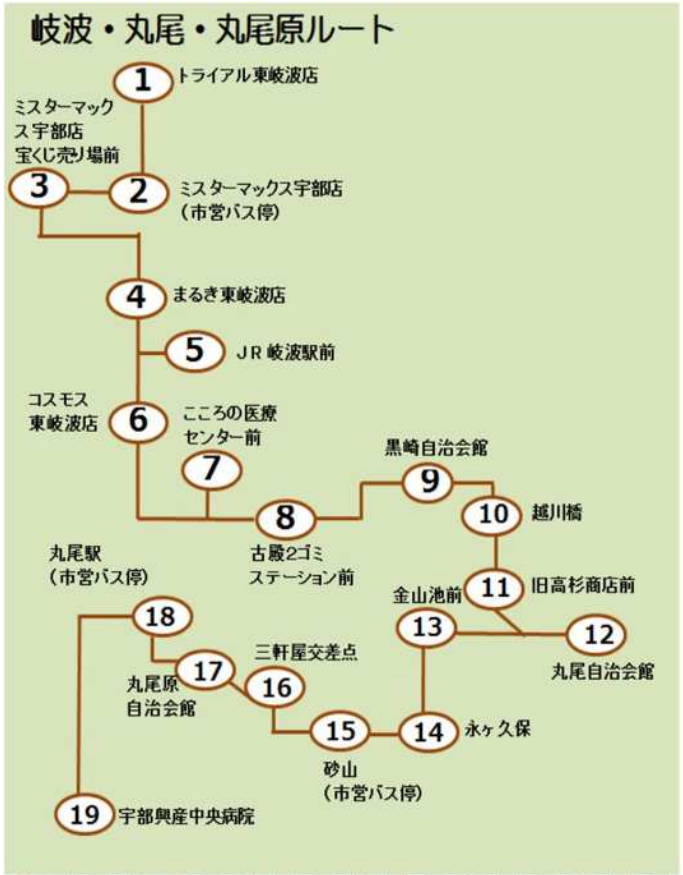
【②鵜の島ルート（宇部変電所　～　宇部新川駅）】



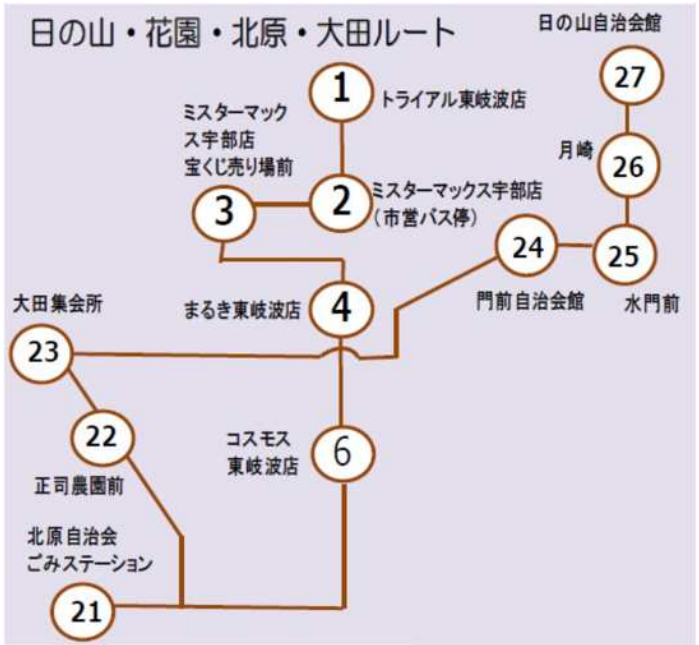
運行系統図　別紙

【系　統　名】　東岐波線　宇部第一交通㈱
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 火、金（祝日、12/29～1/3除く）
①岐波・丸尾・丸尾原（黒崎自治会館）　往路1便　　②岐波・丸尾・丸尾原（トライアル）　往路1便　復路2便
②日の山・花北大　往復1便
【運　　賃】　250円

①

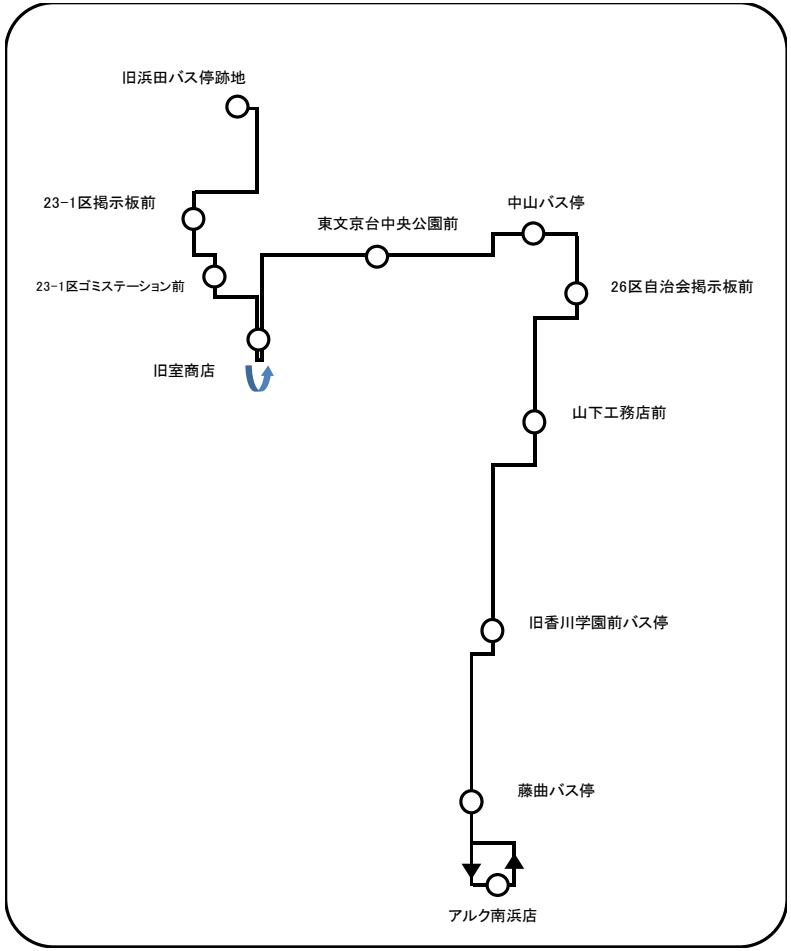


②



運行系統図　別紙

【系　統　名】　藤山線　宇部山電タクシー㈱
【運 行 形 態】　4条路線　乗り合いバス型（定期）
【運行日・便数】 火、木（祝日、12/29～1/3除く）　往復2便
【運　　賃】　250円



別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
阿武町地域公共交通会議
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

阿武町の概要

・昭和30年１月に1町2村が合併
・人口　3,058人（令和2年国勢調査速報値）
・面積　115.95㎢

阿武町地域公共交通会議の構成員

山口県　　阿武町　　防長交通㈱　萩近鉄タクシー㈱
山口県バス協会　　阿武町議会議員　利用者代表
私鉄中国地方労働組合防長支部　山口運輸支局　萩警察署

概　要

阿武町における公共交通機関であるバス交通は、身近な交通手段として重要な役割を果たし、特に車の免許を持たない高齢者や高校生にとって唯一の移動手段となっており、通院・通学・買い物等の生活に必要不可欠となっている。
海岸部はJR山陰本線に奈古・木与・宇田郷の3駅があり１日９回運行。またバス交通では、国道191号で萩市との間に防長交通が10.5回、道の駅阿武町と惣郷間を5回運行。さらに、道の駅阿武町と山間部の福賀地区宇生賀間を5回運行し、奈古駅をハブとして、町内3地区を結ぶバス路線ネットワークを構築している。
一方、各地区内では、コミュニティワゴンにより自家用有償旅客運送を定時定路線方式で実施し、JRやバスと接続して総合病院や高校のある萩市へ向かう移動ニーズの対応を図っており、令和3年10月からはバス停から自宅までの距離の遠い福賀地区で、地域住民が運行するデマンド運行に変更し更なる利便性の確保を行った。

協議会の主な取り組み

・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編を検討
・交通空白地域における自家用有償旅客運送の活用
・住民自らの交通支援体制の導入
町内3地区それぞれで運行している自家用有償旅客運送を、福賀地区で定時定路線運行からデマンド運行に変更（令和3年10月１日変更）

協議会における検討

協議会の開催状況　　3回開催
・第１回（６月28日～６月29日）確保維持改善計画を協議（書面協議）
・第２回（８月16日）自家用有償旅客運送の登録変更を協議
・第３回（１月５日～１月11日）事業評価について（書面協議）

阿武町地域公共交通会議　事業の評価

定量的な目標・効果

（目標）・道の駅阿武町～宇生賀系統　：1月当たり利用者数を130人以上とする
・道の駅阿武町～福賀小前系統　：1月当たり利用者数を160人以上とする

（効果）・当該路線を維持することにより、福賀地区の高齢者及び奈古や萩方面の高校へ通う生徒等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、幹線バスやJR線との接続により、萩市への移動手段の確保、高齢者の外出促進、地域住民の活動機会の増加、地域活性化に繋がる。
さらに、町が進めている道の駅を核とした町内周遊観光ともタイアップすることで、関係人口の増加や地域内循環にも寄与する。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・「利用者のニーズ把握を行い、通学、通勤、通院などに利用しやすいダイヤや路線を検討していく。」とした点については、ニーズ把握を町と事業者共同で行い、検討している。
・「住民自らが行う住民共助の交通支援体制を構築していく等、地区間バスへ円滑な接続を図る。」とした点については、令和3年10月から福賀地区にて体制を構築し実施している。

実施した利用促進策

・各公共交通を一覧とした時刻表を作成し配布やウェブサイトでの情報発信を行い、利用促進に取り組んだ。

・学生ボランティアなどの町内行事の際に、町内バス料金の運賃補助を実施し利用促進を図った。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・「今後も利用者ニーズの把握を行い、利用者のニーズに応じた運行内容の検討や地域で連携して利用促進に取り組むことで、利用者の増加、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。」とされた点については、令和3年10月運行開始した自家用有償旅客運送の地元組織の結成により、連携するネットワークが構築されている。

地域住民の意見の反映

・バス運転手や運行事業所、阿武町役場にて利用者からの意見を受け付け、関係者間での情報共有を行っている。

・福賀地区においては、自家用有償旅客運送を地域住民により実施するため、令和3年10月運行開始まで地元有志の住民による月1回の話し合いを実施し、地域の課題等も踏まえながら地区の交通体制を検討し、意見を反映した。

阿武町地域公共交通会議　事業の評価

事業実施の適切性

・福賀地区と町の中心地である奈古地区を結ぶ唯一の幹線として機能しており、通学のほか、地区間の交流事業や奈古地区への買い物や通院等の利用も図られ、適切に実施されている。

目標・効果達成状況

・道の駅阿武町～宇生賀系統：
（目標）1月当たりの利用者数は146人で、目標130人以上を達成した。
・利用を想定していた学生の通学利用が多かったことによるものである
・道の駅阿武町～福賀小前系統：
（目標）1月当たりの利用者数は133人で、目標160人以上を達成しなかった。
・利用を想定していた行事等が新型コロナウイルス影響により開催されず利用が少なかった
（効果）
・行事等で想定していた利用は少なかったが、朝夕の宇生賀系統の利用はあり、高齢者や学生、子ども達を中心とした日頃の移動手段を確保維持することができた。また、幹線バスに接続しているため広域的な移動も可能となっている。

事業の今後の改善点

・通勤、通学、通院などの朝夕の利用者ニーズを把握するとともに、ダイヤの見直しや公共交通の情報発信などの事業PRも行う。

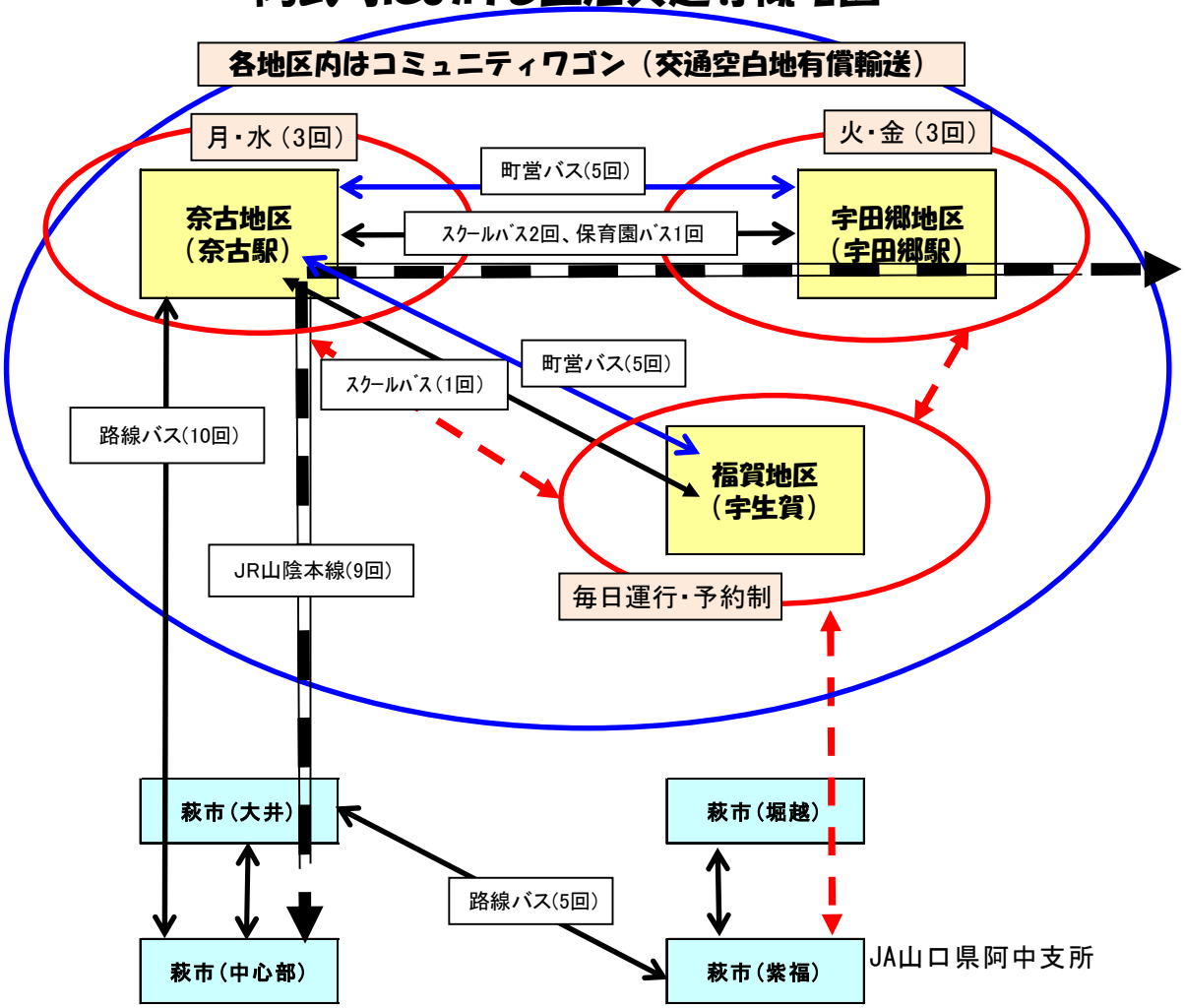
・福賀地区で住民自らが行う共助の交通支援体制を構築したことから、地区間バスとの円滑な接続を図る。また、今後、他地区へも共助の交通支援体制構築を図っていく。

・道の駅阿武町及び隣接するABUキャンプフィールドの町内外での利用を促進し、交通機関利用の目的地として利用増を目指す。

交通体系図　別紙

阿　武　町

阿武町における生活交通等概略図

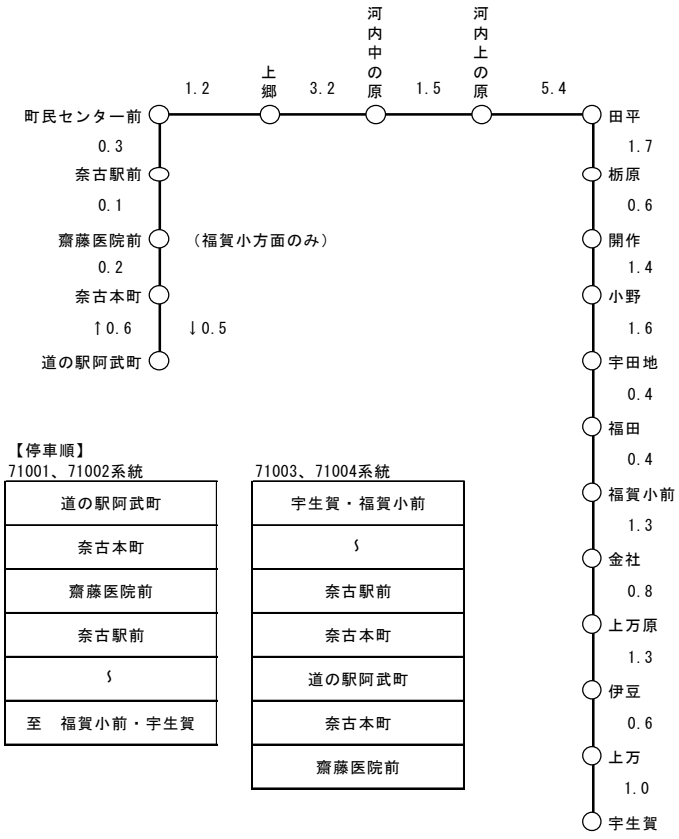


運行系統図　別紙

系統名　　道の駅阿武町～宇生賀　及び　道の駅阿武町～福賀小前
運行形態　　4条路線(乗合バス型(定期))
運行日・回数　　毎日・5回
運賃　　片道一律300円(同一地区内100円)、小学生以下及び障がい者手帳所持者はこの半額、乳幼児は無料。

運行系統略図

系統番号	運行系統名 起点	経由地	終点	系統キロ	備考
71001	道の駅阿武町	河内	宇生賀	23.6	
71003	宇生賀	河内・道の駅阿武町	齋藤医院前	24.3	
71002	道の駅阿武町	河内	福賀小前	18.6	
71004	福賀小前	河内・道の駅阿武町	齋藤医院前	19.3	



【停車順】

71001、71002系統

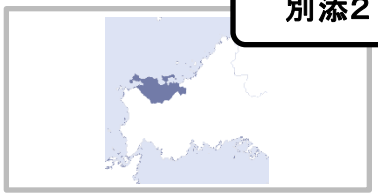
道の駅阿武町
奈古本町
齋藤医院前
奈古駅前
∫
至　福賀小前・宇生賀

71003、71004系統

宇生賀・福賀小前
∫
奈古駅前
奈古本町
道の駅阿武町
奈古本町
齋藤医院前

別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
長門市公共交通協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



長門市の概要

・平成17年3月に1市3町が合併
・人口　35,439人（平成27年度国勢調査）
・面積　357.9㎢

協議会の構成員

山口県　長門市　地域住民・利用者代表　学識経験者　サンデン交通㈱　防長交通㈱　ブルーライン交通㈱　JR西日本長門鉄道部　（一社）山口県タクシー協会　（公社）山口県バス協会　（一社）長門市観光コンベンション協会　山口運輸支局　　長門警察署　山口河川国道事務所　全国交通運輸労働組合総連合　NPO法人むかつく　NPO法人ゆうゆうグリーン俵山

概　要

・地域の概要　長門市の人口は35,439人(2015年度国勢調査)。高齢化率(65歳以上人口率)は約40%(2015年度国勢調査)であるが、2025年には45%に達し、生産年齢人口と拮抗する見込みであり、令和3年3月末現在で、油谷向津具、油谷後畑、油谷角山、俵山、渋木・真木では既に50%を超えており、年々進行している状況である。
・公共交通の現況（系統数）　ア. 鉄道（JR山陰本線、JR美祢線）、イ. 路線バス（41系統）、ウ. 乗合タクシー　（2系統）、エ. 新たな公共交通（地域内フィーダー）　3系統（NPO法人による公共交通空白地有償運送2系統と一般乗合旅客運送事業者による区域内運行1系統）
・公共交通の問題点や課題　ア. 人口の減少と高齢化の進展への対応、イ. 利用者ニーズに合わせた運行、ウ. 公共交通空白地域への対応、エ. 交通関連財政支出の抑制と適正配分、オ. 公共交通の利用促進、
・地域の目標　ア. 公共交通空白地域の削減、イ. 公共交通資源の適正配分、ウ. 主要目的地を結ぶバス路線の充実、エ. 利用しやすい公共交通環境、オ.生活支援サービスとの連携、カ.観光タクシーの充実
・その目標実現のための施策、方向性　ア. 地域に適した移動手段の確保、イ. フリー乗降区間の設定、ウ. 運行見直し基準の設定、エ. 低利用バス路線の見直し、オ.スクールバスの活用、カ. 上川西線の再編、キ. 油谷島～長門病院線の見直し、ク. わかりやすい公共交通情報の提供、ケ. 主要バス停の待合環境の整備、コ. 生活支援サービス等と連携した移送サービスモデルの構築、サ. タクシーを活用した救援事業等の検討、シ. 相乗り観光タクシーの導入の検討、ス. 観光タクシー乗務員の育成

協議会の主な取り組み

・交通空白地域におけるフィーダー交通等導入の検討。
・総合時刻表作成等、分かりやすい情報提供の検討。
・公共交通結節点における待合所などの環境整備・　情報案内板整備の検討。

協議会における検討

協議会の開催状況

・令和3年度　第1回（5月17日書面）、第2回（6月29日）、第3回（8月20日書面）
第4回（9月22日書面）確保維持改善計画を協議
第5回（10月27日書面）自家用有償旅客運送更新を協議
第6回（12月21日）　事業評価承認・R3事業計画進捗確認
第7回（2月上旬予定）R3事業計画に基づく各事業実績報告

長門市公共交通協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

【目標】
●俵山系統・・・1日当たり利用者数を2.7人以上、年間利用者数548人以上。
●向津具系統・・・1日当たり利用者数5.4人以上、年間利用者数1,090人以上。
●日置系統・・・1日当たり利用者数6.5人以上、年間利用者数1,590人以上。
●渋木・真木系統・・・1日当たり利用者数を7.9人以上、年間利用者数2,880人以上。
●津黄・後畑系統・・・1日当たり利用者数を7.8人以上、年間利用者数2,300人以上とする。
【効果】
・交通不便地域の解消となり、医療・商業施設等への住民の移動手段を確保するとともに、住民の外出機会を増やし、福祉の向上に資することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・事業者と利用促進について協議を行い、引き続き地区住民に利用の呼びかけを行った。また、検討案がまとまっていない事項については、継続協議をしているところである。
・周知活動を実施し、俵山・向津具・日置系統においては利用者の増加に繋げることができた。

実施した利用促進策

・JR、路線バス、乗合タクシーを網羅した時刻表を作成し市内全戸に配布を行った。
・向津具・俵山地区では、戸別訪問を継続的に実施し、利用者の更なる増加となった。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・「利用者の増加・目標の達成・持続可能な交通ネットワークの構築について」事業者による利用者ヒアリングの継続的実施と併せて、協議会においても公共交通空白地域又は乗合・デマンド交通の利用率の低い地域におけるアンケート調査を実施し、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、引き続き検討を行っていく。

地域住民の意見の反映

・各系統利用者の意見等を事業者においてヒアリング。併せて地区住民に利用を呼びかけた。
・協議会において、アンケート調査を実施。
H30…渋木・真木地区、伊上・久冨地区、日置地区
R　1…津黄・後畑地区、俵山地区、R2・・青海島・湯本地区
R　3…仙崎・長門市街地・黄波戸・三隅地区
　とりまとめた意見、地元の要望を踏まえ、長門市全域においてデマンド交通導入を基本とした持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、検討を行っていく。

長門市公共交通協議会　事業の評価

事業実施の適切性

●俵山地区：計画どおり実施されている。事業者による住民周知を継続的に実施しており、今年度も目標を上回った。
●向津具地区：計画どおり実施されている。事業者による戸別訪問等を継続的に実施しており、今年度も目標を上回った。
●日置地区：計画どおり実施されている。行政・運行事業者によるパンフレット配布等地域内への周知を行い、今年度も目標を達成することができた。
●渋木・真木地区：計画どおり実施されている。行政・事業者によるチラシ配布等地域内への周知を行ったが、本年度も目標を達成することができなかった。
●津黄・後畑地区：計画どおり実施されている。行政・事業者によるチラシ配布等地域内への周知を行ったが、本年度も目標を達成することができなかった。

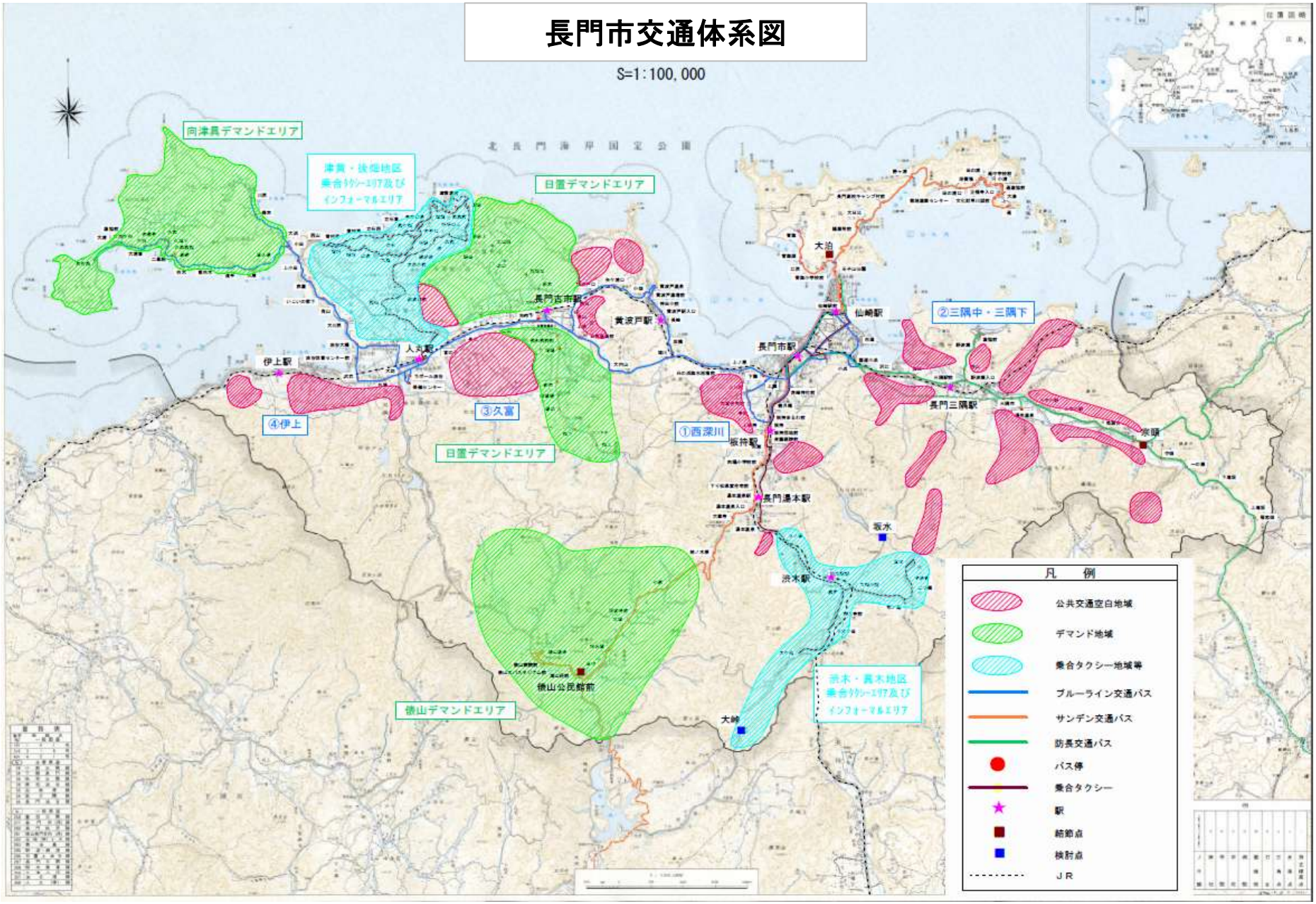
目標・効果達成状況

●俵山系統：運行日１日当たりの利用者数3.3人。年間利用者数675人（昨年度632人）。達成率：123.1%。
　・事業者による住民周知の効果が徐々に現れ、利用が増加している。
●向津具地区：運行日１日当たりの利用者数7.5人。年間利用者数1,546人（昨年度1,289人）。達成率：141.8%。
　・地域内完結型の利用が主となっている。（JA購買部への買い物、地域内医療施設への通院等）
　・口コミや運行事業者の戸別訪問によるPRにより利用が増加している。
●日置地区：運行日1日当たりの利用者数11.1人。年間利用者数2,712人（昨年度2,263人）。達成率：170.5%。
　・小学生の通学利用が主。その他の利用は、JR駅までが多く市中心部へ向かうフィーダー系統として利用されている。
●渋木・真木地区：運行日１日当たりの利用者数は6.5人で、年間利用者は2,369人（昨年度2,519人）。達成率は82.2%。
●津黄・後畑地区：運行日１日当たりの利用者数は3.3人で、年間利用者は　991人（昨年度1,335人）。達成率は43.1%。
（効果）地域の公共交通空白が削減され高齢者等の日常の移動手段を確保維持することができた。また、幹線バス等に接続しているため広域的な移動も可能であるほか、通院、買物等外出機会が確保され、住民生活の利便性向上が図られている。

事業の今後の改善点

●利用者が増えている系統もあるが、全体的にはやはり利用者の減少傾向が否めない状況である。
●地域の移動ニーズに変化が生じていることも充分想定されるため、平成30年度から令和3年度にかけて、交通に関するアンケート調査を実施した。アンケート調査の結果を踏まえ、ダイヤ・路線等の見直しを含む運行体系の見直しを図り、より利用しやすい公共交通ネッ トワークの再構築に向け、市内全域のデマンド交通導入を基本に検討を行っていく。渋木・真木地区、津黄・後畑地区については令和3年10月より乗合タクシーを廃止し、デマンド交通を導入した。

交通体系図　別紙


長門市交通体系図
S=1:100,000
向津具デマンドエリア
津黄・後畑地区
乗合タクシーエリア及び
インフォーマルエリア
日置デマンドエリア
長門古市駅
黄波戸駅
人丸駅
伊上駅
④伊上
③久富
日置デマンドエリア
①西深川
板持駅
長門市駅
大泊
仙崎駅
②三隅中・三隅下
長門三隅駅
深川駅
長門湯本駅
阪水
渋木駅
渋木・真木地区
乗合タクシーエリア及び
インフォーマルエリア
大岬
俵山公民館前
俵山デマンドエリア
凡　例
公共交通空白地域
デマンド地域
乗合タクシー地域等
ブルーライン交通バス
サンデン交通バス
防長交通バス
バス停
乗合タクシー
駅
結節点
検討点
ＪＲ

運行系統図　別紙

系統名　俵山系統
運行形態　公共交通空白地有償運送（区域デマンド型）
運行日・便数　月～金・4便／日
運賃　300円

運行系統図　別紙

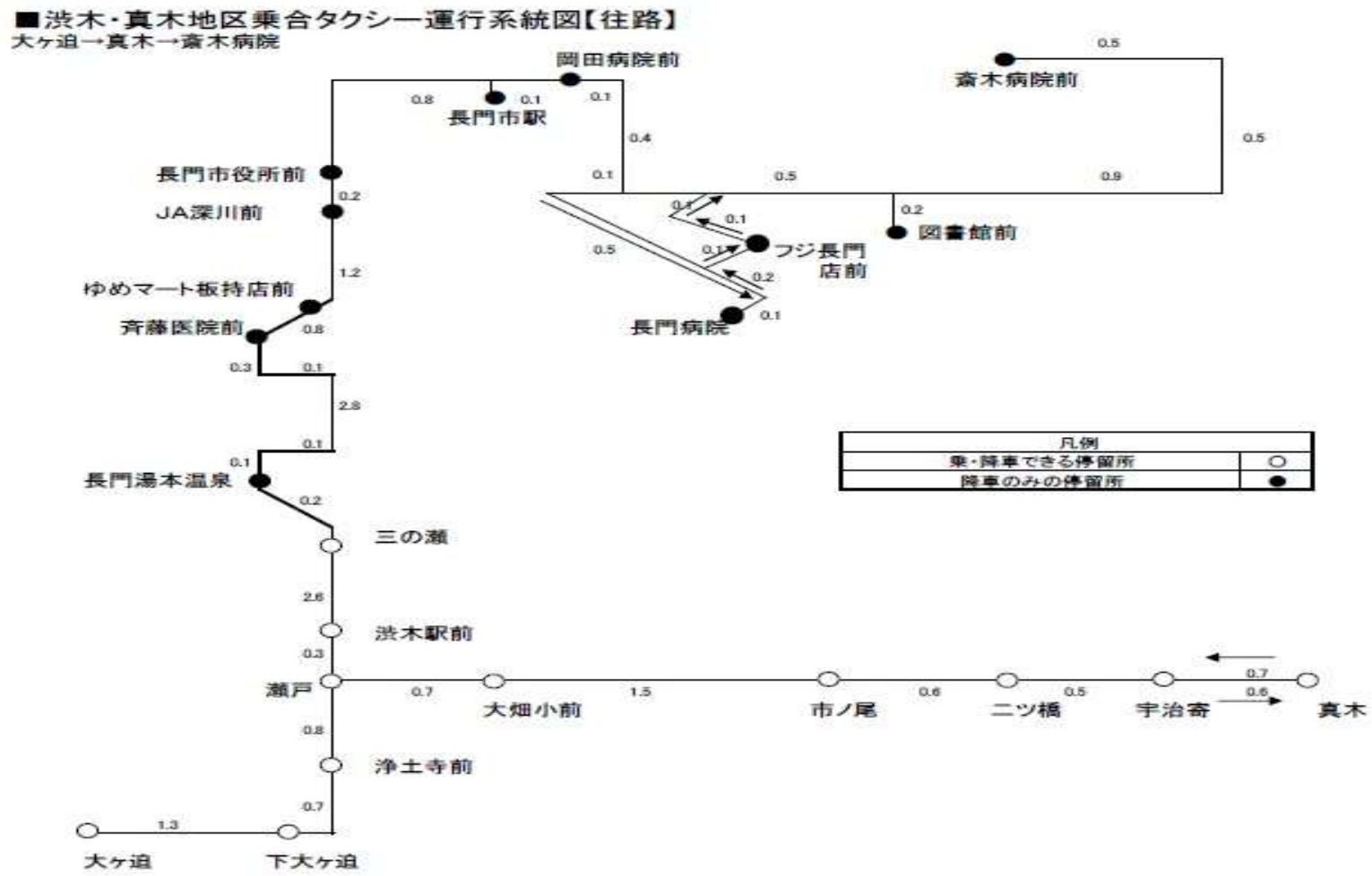
系統名　向津具系統
運行形態　公共交通空白地有償運送（区域デマンド型）
運行日・便数　月～金・4便／日
運賃　300円

運行系統図　別紙

系統名　日置系統
運行形態　一般乗合旅客自動車運送事業（区域デマンド型）
運行日・便数　月～金曜日（※土日祝日は運休。）・3便／日
運賃　大人200円、小人100円

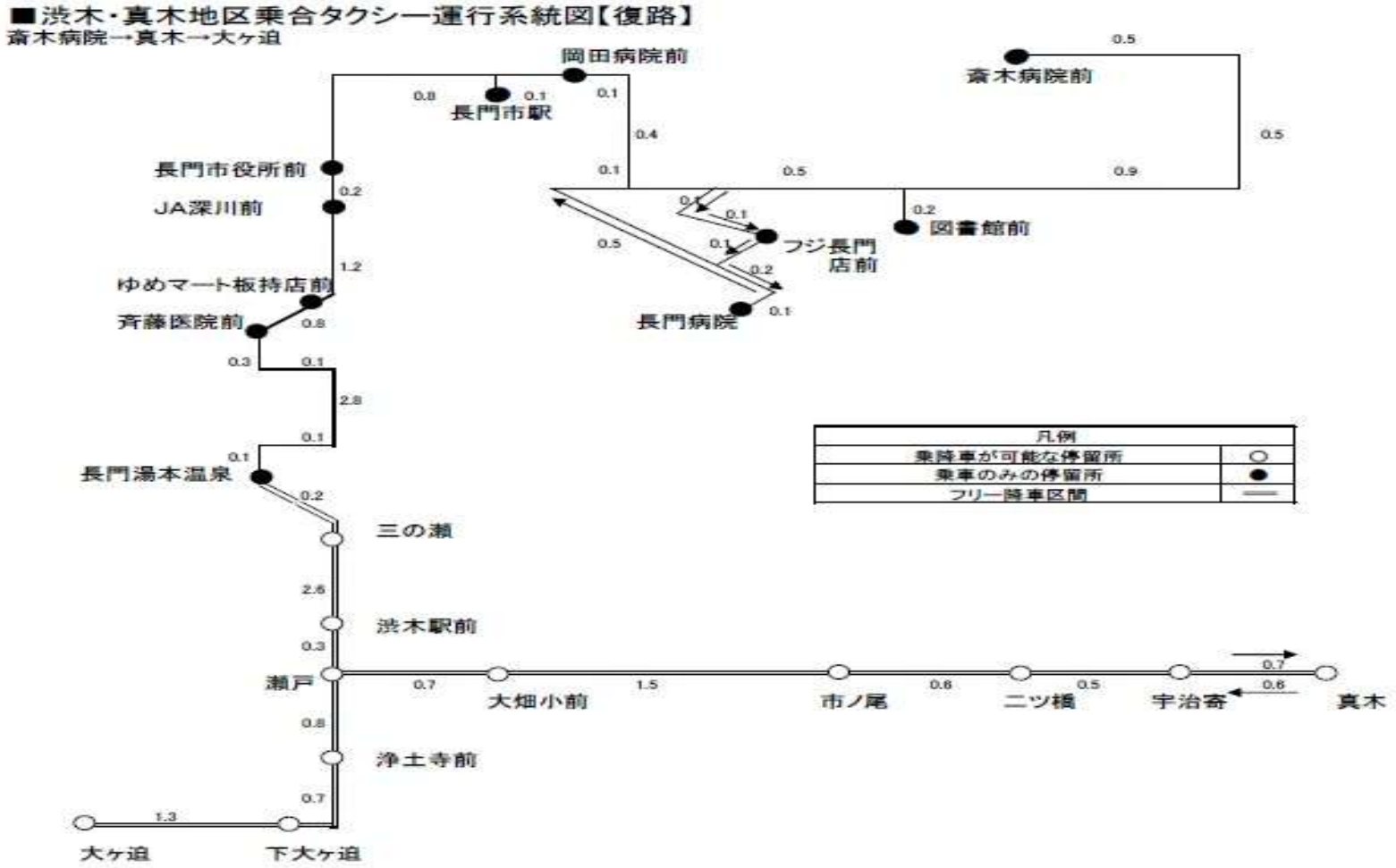
運行系統図　別紙

系統名　真木・渋木系統（往路）
運行形態　一般乗合旅客自動車運送事業（定時定路線・一部フリー降車区域あり）
運行日・便数　毎日運行・6便/日（上り3便、下り3便）
運賃　100円～500円



運行系統図　別紙

系統名　真木・渋木系統（復路）
運行形態　一般乗合旅客自動車運送事業（定時定路線・一部フリー降車区域あり）
運行日・便数　毎日運行・6便/日（上り3便、下り3便）
運賃　100円～500円



運行系統図　別紙

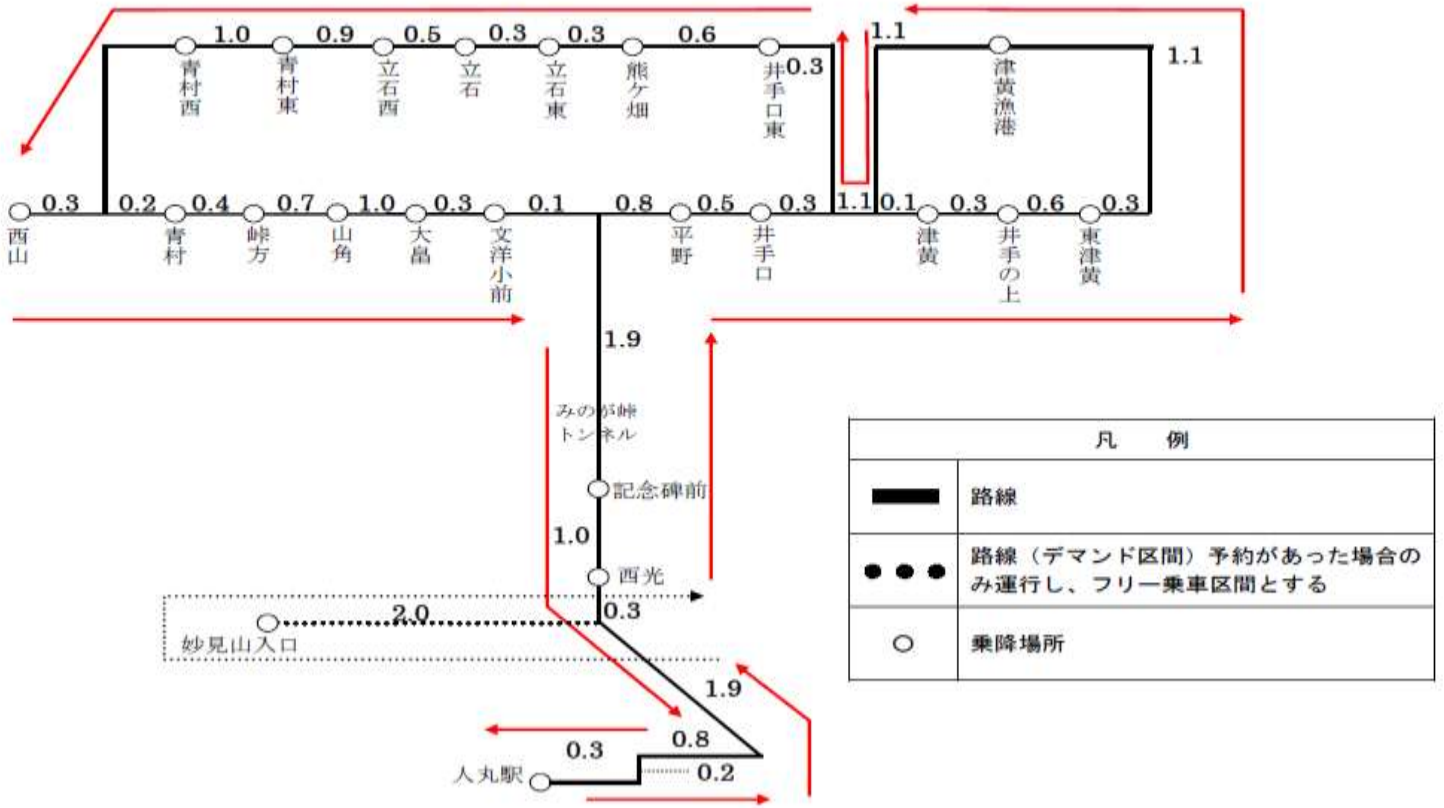
系統名　津黄・後畑系統
運行形態　一般乗合旅客自動車運送事業（出便：路線不定期・戻り便：区域運行）
運行日・便数　月～金・6便／日（出便3便、戻り便3便）　土2便/日（出便1便、戻り便1便）（日曜、祝日、年始年末（12/31～1/3）は運休）
運賃　100円～300円

運行系統図　別紙

系統名　津黄･後畑系統
運行形態　一般乗合旅客自動車運送事業（出便：路線不定期･戻り便：区域運行）
運行日･便数　月～金･6便／日（出便3便、戻り便3便）　土2便/日（出便1便、戻り便1便）（日曜、祝日、年始年末（12/31～1/3）は運休）
運賃　100円～300円

乗合タクシー運行系統略図（往路：平日第１便および土曜日）

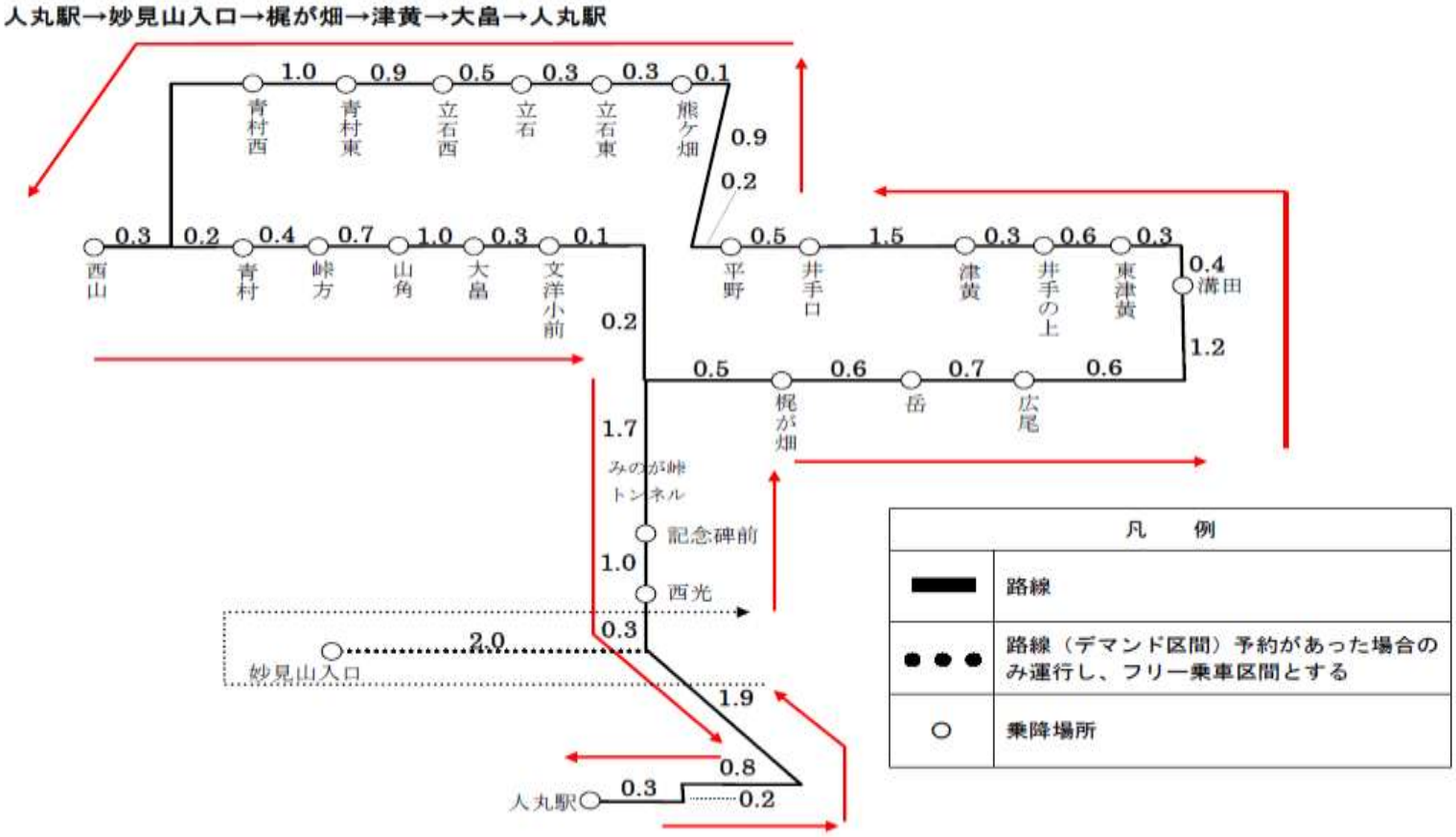
人丸駅→妙見山入口（予約があった場合のみ）→津黄→大畠→人丸駅



運行系統図　別紙

系統名　津黄･後畑系統
運行形態　一般乗合旅客運送事業（出便：路線不定期･戻り便：区域運行）
運行日･便数　月～金･6便／日（出便3便、戻り便3便）　土2便/日（出便1便、戻り便1便）（日曜、祝日、年始年末（12/31～1/3）は運休）
運賃　100円～300円

乗合タクシー運行系統略図（往路：平日第２便）

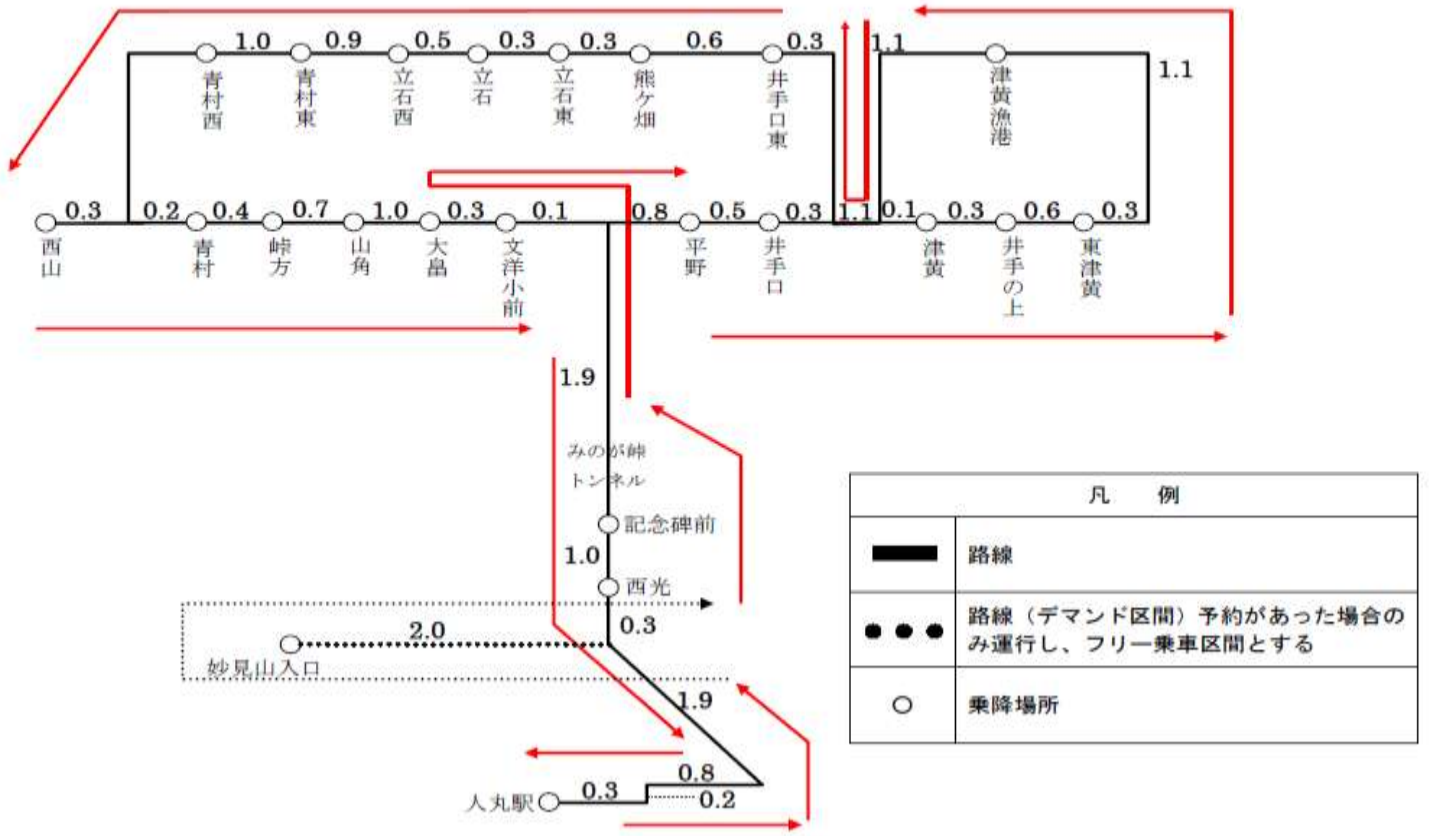


運行系統図　別紙

系統名　津黄･後畑系統
運行形態　一般乗合旅客自動車運送事業(出便:路線不定期･戻り便:区域運行)
運行日･便数　月～金･6便／日(出便3便、戻り便3便)　土2便/日(出便1便、戻り便1便)　(日曜、祝日、年始年末(12/31～1/3)は運休)
運賃　100円～300円

乗合タクシー運行系統略図（往路：平日第３便）

人丸駅→妙見山入口（予約があった場合のみ）→津黄→大畠→人丸駅



令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
柳井市地域公共交通会議
･生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

柳井市の概要

・平成17年2月に1市1町が合併
・人口　30,799人（令和2年国勢調査）
・世帯数　13,932世帯
・面積　140.05㎢

交通会議の構成員

山口県　柳井市　防長交通㈱　防長交通㈱労働組合
柳井地区タクシー協会　JR西日本㈱　平郡航路㈲
学識経験者　地区社会福祉協議会　市民代表
山口運輸支局　山口河川国道事務所　柳井警察署

概　要

柳井市は山口県南東部に位置し、瀬戸内海に面した、面積140.05㎢、人口30,799人の地方都市である。中山間地域の人口減少・高齢化が顕著であり、民間路線バスが運行している地域があるものの、バス停から距離がある集落が点在しており、バス利用が不便な交通弱者が多く居住している。

民間バス路線は運転手の不足、高齢化の問題が生じており、バス路線の維持が厳しい状況にある。また、柳井市の通勤・通学・通院及び商業施設等は、市内中心部や、近隣市町に集中しているため、中山間地域の住民は日常生活の用を済ますために市内中心部まで行く必要がある。

このような背景において、誰もが安心して移動できる交通手段を確保するためには、フィーダー系統と地域間幹線系統の結節点であるJR柳井駅を中心とした交通網の形成を進めていく必要がある。

その一環として、日積地区、大畠地区においては予約制乗合タクシーが運行開始し、それ以外の地域についても交通手段の確保・維持について協議を進めているところである。

交通会議の主な取り組み

・利用実態に合わせ路線バスのダイヤの改正
・予約制乗合タクシー事業を導入
・フィーダー系統の乗り入れ施設との調整

交通会議における検討

・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議)	（H29.6.21）
・運行事業評価審議（文書協議）	（H30.1.10）
・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議)	（H30.6.25）
・運行事業評価審議	（H30.12.25）
・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議)	（R1.6.6）
・運行事業評価審議	（R1.12.20）
・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議)	（R2.6.23）
・運行事業評価審議	（R3.1.8）
・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議)	（R3.6.14）
・運行事業評価審議	（R4.1.7）

柳井市地域公共交通会議　事業の評価

定量的な目標・効果

・Ⅰ系統（柳井駅便） 割石～日積地域～柳井駅（月～土）
（目標）
　地域住民の利便性を向上させるため、ダイヤの設定などのサービス内容を確立する。また利用実績値の向上として、月150人以上の利用者の確保と月75回以上の稼働となるよう、ポスターの掲示や口コミなどにより、利用促進を促す。
・Ⅱ系統（柳井駅便） 遠崎～大畠地域～柳井駅（月～土）
（目標）
　地域住民の利便性を向上させるため、ダイヤの設定などのサービス内容を確立する。また利用実績値の向上として、月100人以上の利用者の確保と月50回以上の稼働となるよう、ポスターの掲示や口コミなどにより、利用促進を促す。
・Ⅰ系統、Ⅱ系統
（効果）
　乗合タクシーを維持し、高齢者を含む交通弱者の外出を促進することで、健康の管理面に寄与すると考えられることや住民の交流促進に伴い地域再生や活性化に繋がる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

　Ⅰ系統については令和2年10月1日から利便性向上を目指し運行の見直しを実施。運行便数の増便と運賃の改定を行った。
　Ⅱ系統については令和3年3月12日のJRのダイヤ改正に合わせ、利用者増加を目指し運行ダイヤの見直しを実施。

実施した利用促進策

・柳井市のホームページや窓口等での案内により、地域住民に事業の周知を図った。
・チラシを活用し、民生児童委員、福祉員による個別利用促進を行った。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

　Ⅰ系統については令和2年10月1日から利便性向上を目指し運行の見直しを実施。運行便数の増便と運賃の改定を行った。
　Ⅱ系統については令和3年3月12日のJRのダイヤ改正に合わせ、利用者増加を目指し運行ダイヤの見直しを実施。
今後も持続可能な公共交通網の構築に向け、利用促進に取り組むこととする。

地域住民の意見の反映

・地区社会福祉協議会総会において利用促進に向けPRを行うと共に、制度の改善目標を設定。
・制度改正に向けて協議を行い、令和2年6月及び令和3年1月の柳井市地域公共交通会議の承認を得て、令和3年度運行からの制度改正（Ⅰ系統の便数増加及び運賃改定、Ⅱ系統の運行ダイヤ変更）を実施した。

柳井市地域公共交通会議　事業の評価

事業実施の適切性

・Ⅰ系統（柳井駅便）日積地区：計画どおり実施された。利用回数は目標に達したが、利用者数は目標に達しなかった。
・Ⅱ系統（柳井駅便）大畠地区：計画どおり実施された。利用回数、利用者数共に目標に達した。

目標・効果達成状況

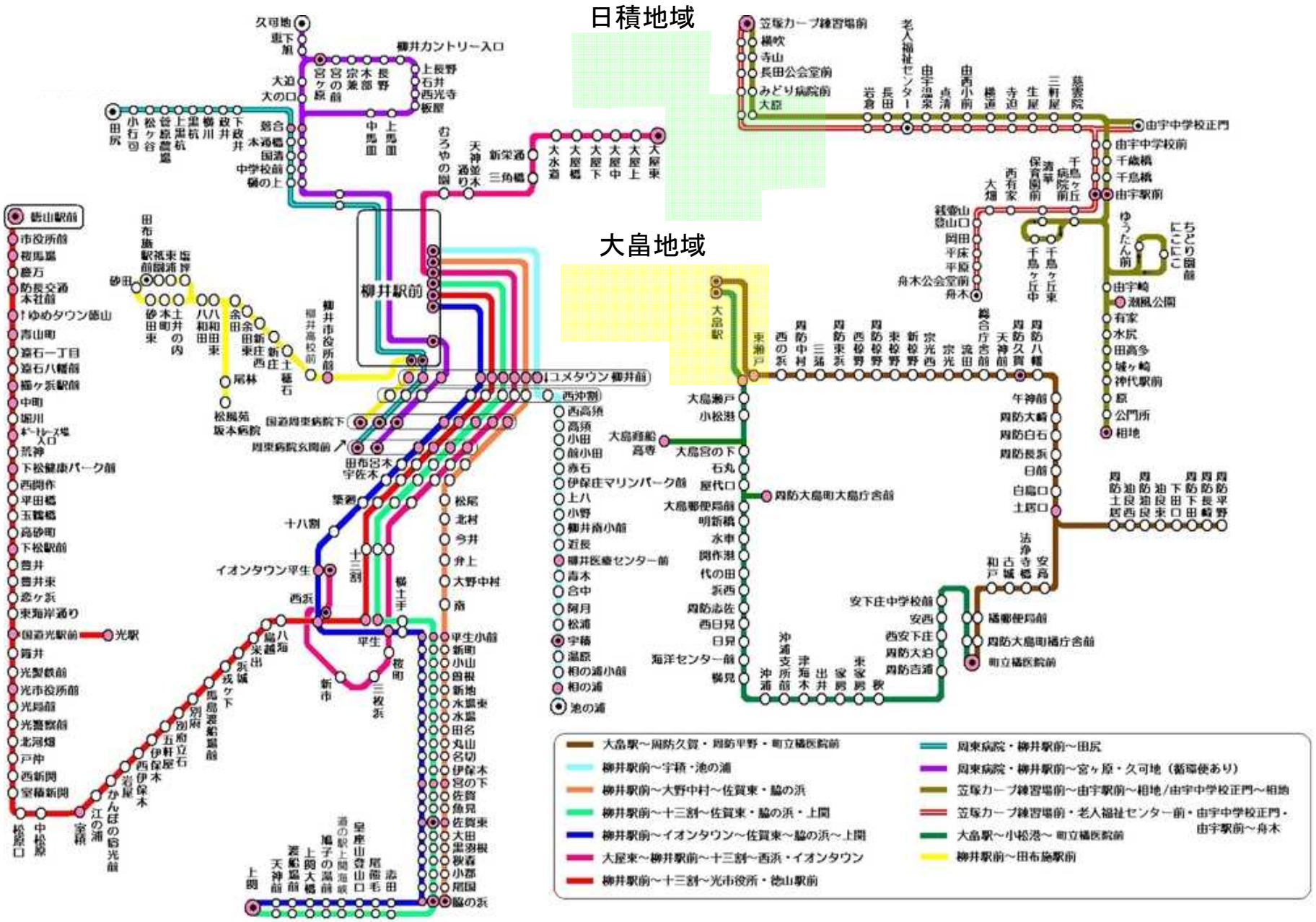
・Ⅰ系統(柳井駅便）日積地区:　：（目標）月平均利用者数150人以上、月平均運行回数75回以上
（実績）月平均利用者数148人、月平均運行回数95回
（効果）常連の利用者もいて、高齢者の日常の移動手段としての役割を一定程度果たしている。

・Ⅱ系統（柳井駅便）大畠地区　：（目標）月平均利用者数100人以上、月平均運行回数50回以上
（実績）月平均利用者数156.8人月平均運行回数78.7回
（効果）常連の利用者もいて、高齢者の日常の移動手段としての役割を一定程度果たしている。

事業の今後の改善点

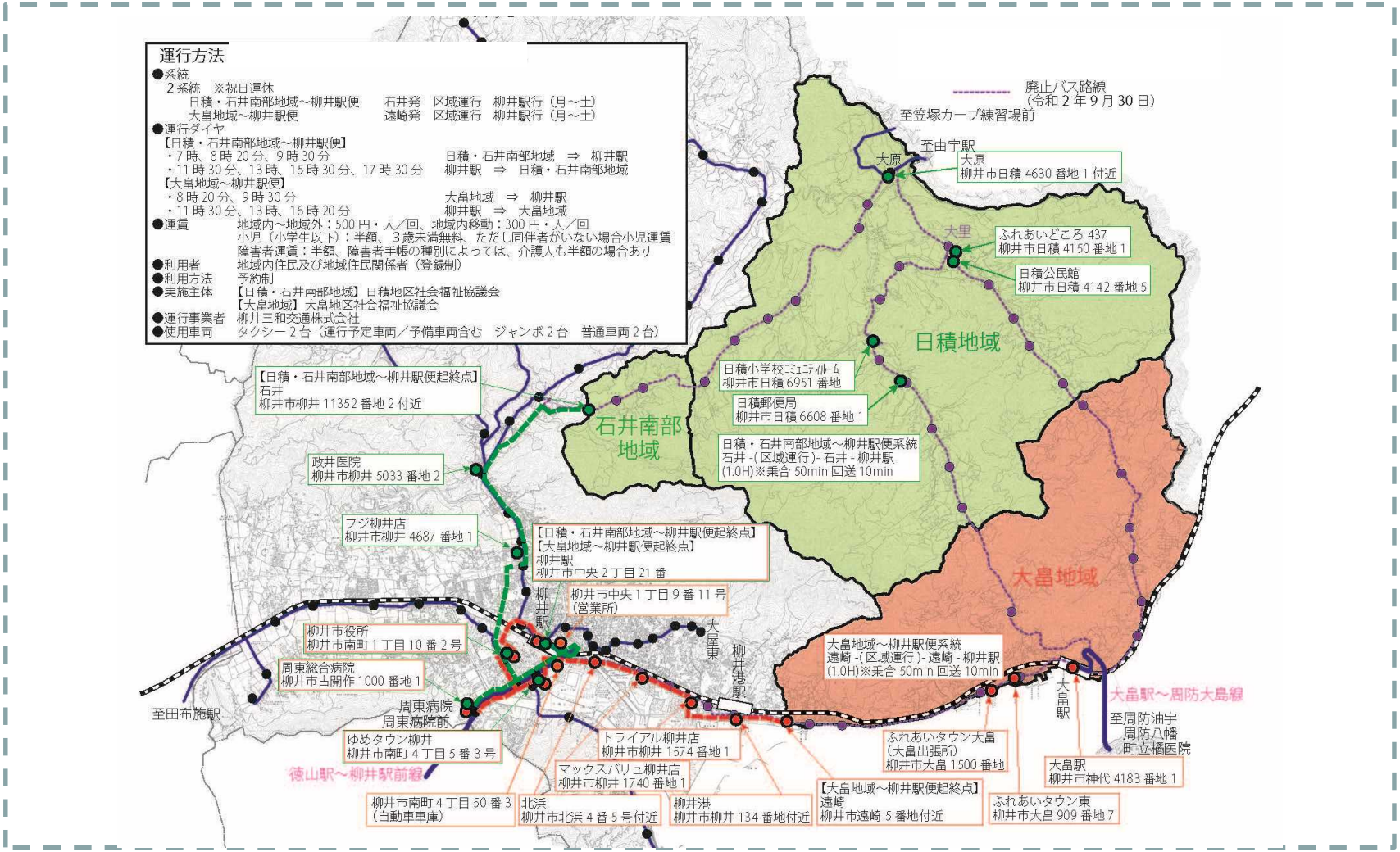
・利用者数、運行数が少ないダイヤについては、ニーズの把握に努め目標達成を目指す。
・利用方法について、HPやチラシの配布等を行い周知に努める。

交通体系図　別紙


日積地域
大畠地域
柳井駅前
ユメタウン柳井前
大畠駅
東瀬戸
大畠瀬戸
小松港
大畠宮の下
石丸
屋代口
四防大島町大島庁舎前
大畠郵便局前
明新橋
水車
開作港
代の田
浜西
四防赤佐
西日見
日見
鳴見
沖浦
沖浦支所前
津和木
出井
家房
東家房
秋
安下庄中学校前
安西
西安下庄
四防大泊
四防吉浦
法净寺橋
和古城
安高
橘郵便局前
四防大島町橘庁舎前
町立橘医院前
午神前
四防大崎
四防白石
四防長浜
日前
白島口
土居口
四防八幡
四防久賀
四防天神前
四防中村
三蒲
四防東浜
四防校野
東校野
新校野
宗光西
宗光
流田
総合庁舎前
西の浜
千歳山登山口
岡田
平床
平原
舟木公会堂前
舟木
大畑
西有家
千鳥ヶ丘中
清華保育園前
千鳥ヶ丘病院前
千鳥ヶ丘
ゆうたん前
ちどり園前
にこにこ
由宇崎
潮風公園
有家
水尻
田高多
城ヶ崎
神代駅前
原
公門所
相地
由宇駅前
千歳橋
由宇中学校前
由宇中学校正門
慈雲院
三軒屋
生屋
寺迫
横道
由西小前
貞清
由宇温泉
老人福祉センター
長田
岩倉
笠塚カーブ練習場前
横吹
寺山
長田公会堂前
みどり病院前
大原
久可地
恵下加
大迫
大の口
宮ヶ原
宮の前
宗兼
木部
長野
柳井カントリー入口
上長野
石井
西光寺
板屋
中馬国
上馬国
田尻
小行司
松ヶ谷
笠原農協
上黒杭
黒杭
椋川
殿井
下殿井
合
木滝橋
国清前
中学校前
磯の上
むろやの園
天神並木通り
新栄通
三角橋
大水道
大屋橋
大屋下
大屋中
大屋上
大屋東
徳山駅前
市役所前
櫛浜
慈万
防長交通本社前
ゆめタウン徳山
青山町
遠石一丁目
遠石八幡前
櫛ヶ浜駅前
中町
堀川
ポートピア通入口
荒神
下松健康パーク前
西開作
平田橋
玉鶴橋
高砂町
下松駅前
豊井
豊井東
恋ヶ浜
東海岸通り
国道光駅前
光駅
笠井
光製鉄前
光市役所前
光局前
光警察前
北河畑
戸神
西新開
室積新開
松原口
中松原
室積
江の浦
かんぽの宿光前
岩屋
西伊保木
伊保木
五軒屋
別府立石
別府
馬島渡船場前
浜城
戎ヶ下
来出
八海
鳥越
西浜
平生
新市
三枚浜
鞭
十三割
十八割
繁枝
イオンタウン平生
松尾
北村
今井
弁上
大野中村
斎
平生小前
新町
小山
曲根
新地
水源東
水源
田名
丸山
名切
伊保木
宮の下
佐賀
魚見
佐賀東
大田
黒羽根
秋森
小郡
陽園
脇の浜
志田
尾笹毛
星座山登山口
道の駅上関海峡
鳩子の温前
上関大橋
妻船協前
天神前
上関
田布施駅前
砂田
東浦
塩伴
土井の内
本町
八和田東
余田
余田東
新庄
新庄西
土穂石
柳井高校前
柳井市役所前
尾林
松風苑
坂本病院
国道柳東病院下
柳東病院玄関前
田布施本
宇佐本
西沖割
西高須
高須
小田
館小田
赤石
伊保庄マリンパーク前
上八
小野
柳井商小前
近長
柳井医療センター前
青木
合中
阿月
松浦
宇佐
温泉
相の浦小前
相の浦
池の浦
大畠商船高専
笠塚カーブ練習場前
由宇中学校正門
由宇中学校前
千歳橋
由宇駅前
相地
由宇崎
潮風公園
有家
水尻
田高多
城ヶ崎
神代駅前
原
公門所
相地
大畠駅～四防久賀・四防平野・町立橘医院前
柳井駅前～宇佐・池の浦
柳井駅前～大野中村～佐賀東・脇の浜
柳井駅前～十三割～佐賀東・脇の浜・上関
柳井駅前～イオンタウン～佐賀東～脇の浜～上関
大屋東～柳井駅前～十三割～西浜・イオンタウン
柳井駅前～十三割～光市役所・徳山駅前
柳東病院・柳井駅前～田尻
柳東病院・柳井駅前～宮ヶ原・久可地（循環便あり）
笠塚カーブ練習場前～由宇駅前～相地/由宇中学校正門～相地
笠塚カーブ練習場前・老人福祉センター前・由宇中学校正門・由宇駅前～舟木
大畠駅～小松港～町立橘医院前
柳井駅前～田布施駅前

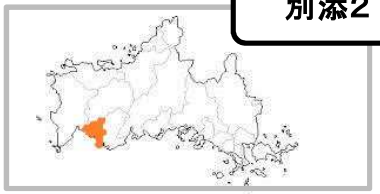
運行系統図　別紙

系統名	Ⅰ系統（石井発－日積地域－柳井駅）、Ⅱ系統（遠崎発－大畠地域－柳井駅）
運行形態	区域運行
便数	Ⅰ系統：7便　Ⅱ系統：5便
運行日	Ⅰ・Ⅱ系統　：月～土
運賃	地域外500円／回・人　地域内300円／回・人



別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
山陽小野田市地域公共交通会議
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



山陽小野田市の概要

・平成17年3月に1市1町が合併
・人口　60,326人（令和2年国勢調査）
・面積　133.09㎢

地域公共交通会議の構成員

山陽小野田市　船木鉄道（株）　サンデン交通（株）　宇部市交通局　西日本旅客鉄道（株）　山陽小野田タクシー協会　山口運輸支局　宇部国道維持出張所　宇部土木建築事務所　山陽小野田警察署　市民　学識経験者

概　要

本市では、鉄道や路線バス、コミュニティバス等が運行され、地域住民の日常生活における移動手段の確保を行っているが、高齢化の進展や合併に伴う生活圏域の広域化等により市民の移動ニーズは多様化しており、こうしたニーズに対応した効率的、効果的な公共交通サービスの構築が必要となっている。

厚狭北部地域においては、マイカーの普及や人口減等に伴う利用者の減少を受けて民間事業者による路線バスが運行廃止となり、現在、市が計画主体となって「厚狭北部便」を運行しているが、利用者は減少傾向にある。一方で、高齢化等によりマイカーを利用できず、日常生活における移動に支障をきたす高齢者は増加しており、地域に適した効果的・効率的な移動サービスの提供が課題となっている。こうした中、平成27年1月から、当該地域においてデマンド型交通の運行を開始し、市民の移動手段確保に努めている。

協議会の主な取り組み

地域の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送を確保し、その他旅客の利便の向上を図るため、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議する。

・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編
・路線バス再編後のフィーダー交通などの導入
・公共交通利用促進に向けた取組　など

協議会における検討

〇協議会の開催状況

・第21回（令和2年1月8日）
　JR小野田駅へのバスの乗入について
　山陽小野田市地域公共交通網形成計画の期間見直しについて
・第22回（令和2年5月7日）
　・地域内フィーダー系統確保維持計画について
　・JR小野田駅へのバスの乗入について
・第23回（令和2年12月22日）
　地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）に係る事業評価（案）について
・第24回（令和3年6月16日）
　・地域内フィーダー系統確保維持計画について
　・山陽小野田市地域公共交通網形成計画の期間見直しについて

山陽小野田市地域公共交通協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

運行系統　①厚狭北部1（松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線）、②厚狭北部2（湯の峠・陽光台・山川線）

（目標）・1日当たり利用者数　29人以上
※目標値については、コロナウイルス対策のための外出自粛要請などにより乗車人数が大きく増加しないことを見込んで設定した。
（効果）・高齢者等、マイカーを自由に利用できない住民の日常生活（通院、買い物等）における移動手段の確保ができる。
・地域内に存在する公共交通不便地域への移動手段が確保できる。
・結節点をJR厚狭駅とすることで、鉄道や広域路線バス、地域間幹線系統バスとの接続が可能となり、市街地などへの広域的な移動手段の確保ができる。
・地域住民（特に高齢者）の外出機会の増加につながり、住民の健康福祉の増進、地域の活性化に寄与することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・運行地区の自治会及び利用登録者へパンフレットを送付し、利用者拡大及び事業周知を行った。
・利用者アンケートを実施し、登録者への乗車意識の醸成及び事業周知を図った。

実施した利用促進策

・利用頻度が減少した利用者へ個別に電話で聞き取りを行い、利用実態の把握を行った。
・利用者アンケートを実施し、利用者ニーズ及び利用実態の把握を行った。
・運行に当たっての課題や利用者ニーズの把握を目的とし、毎月に1回運行事業者と意見交換を行った。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

【二次評価への対応】
「・対象自治会へのパンフレット配布や、利用者への聞き取り調査を行い、事業周知及びニーズ把握に努めている点は評価できる。
・今後はコロナという現状も考慮した利用促進策の検討を行い、利用者数の増加、目標の達成に繋げていただきたい。」　（二次評価）

→対象地区全域に本事業の周知を行うとともに、利用者アンケートや利用頻度が減少した利用者への聞き取りを行い、運行事業者と利用者からの細かな要望なども含めて情報共有を行うなどして、目標達成及び利用促進に繋がるよう努めている。

地域住民の意見の反映

・平成28年12月～平成29年1月に、運行事業者を通じて利用者からの聞き取り調査を実施し、翌年度からの運行内容に反映させた。
・平成30年7月、デマンド運行エリア付近の公共交通不便地域自治会を対象に、アンケート及び聞き取り調査を実施し、運行エリアの拡大といった形で反映させた。
・令和元年11月～令和2年1月に、運行事業者を通じて利用者からの聞き取り調査を実施し、翌年度からの運行便数増便といった形で反映させた。
・令和3年2月～3月に、利用者へのアンケート調査を実施し、満足度やダイヤ改正に関する要望調査を実施した。満足度は概ね良好であり、ダイヤも現行のままを希望する方が大半であったため、現状のダイヤを維持することとした。

山陽小野田市地域公共交通協議会　事業の評価

事業実施の適切性

・計画どおり実施されている。平成27年1月の運行開始から、利用者数、稼働率ともに順調に推移しており、地域内の日常生活を支える交通手段としての役割を十分に果たしている。また、平成31年1月からは運行エリアの拡大し、令和元年10月からはダイヤ改正及び増便を行い、更なる利用促進に努めている。

目標・効果達成状況

（目標）
・厚狭北部地域の2つの系統を合わせ、1日当たり29人の利用数を目標値として設定した。

（達成状況）
・令和2年10月から令和3年9月末までの1日当たりの利用者数は16．8人であった。

（効果）
・令和3年1月まで大雪による運休を除き運行実施日を全て運行し、高齢者等、マイカーを自由に利用できない住民の日常生活（通院、買い物等）における移動手段として活用されている。

事業の今後の改善点

・運行エリアの拡大やダイヤの改正など、制度的な側面からの働きかけはできる限り行ってきている。

・稼働率は51．0%となっており、地域住民の交通手段として機能していると考える。しかし、松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線エリアについては利用者が伸び悩んでおり、引き続き運行事業者や自治会の協力を得ながら、利用促進に向けて取り組む必要がある。

・今後は、利用者の新規獲得及び利用に向けた意識の醸成など、ソフト面から利用を促すような取組の検討が必要である。

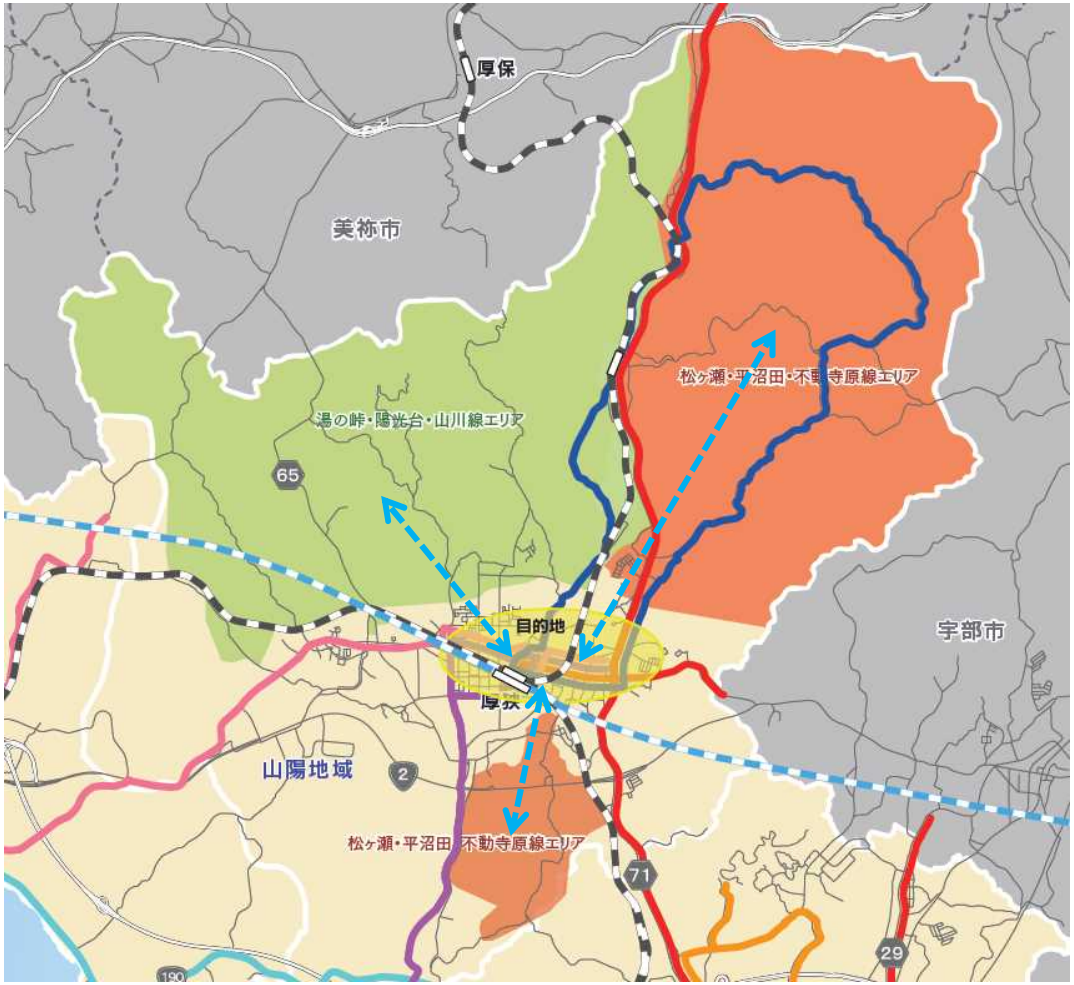
・コロナ禍による利用実態に合わせ、運行車両の小型化、ダイヤや便数の見直し等も検討し、サービス水準を維持しながら効率的な事業実施に努める。

交通体系図　別紙

厚保
ＪＲ美祢線
美祢駅・厚狭駅線
美祢市
下関市
厚狭北部便
厚狭地域
石山公園
厚狭地区
複合施設
船木・厚狭駅線
宇部市
埴生
山陽オートレース
いとね号
厚狭
物見山
総合公園
埴生支所
埴生地域
厚狭駅・
宇部中央線
江汐公園
船木・
本山岬線
下関駅・
宇部中央線
ねたろう号
ひばりヶ丘線
高千帆地域
厚陽出張所
船木・宇部
市役所線
小野田
高泊・高畑
循環線
宇部
市役所
際波台・理科大線
縄地ヶ鼻
公園
市民病院
目出
男児病院
南中川
おのだサンパーク
若山公園
小野田営業所・
常盤町線
小野田駅・理科大線
小野田駅・本山岬線
南小野田
小野田港
叶松線
妻崎
南支所
ＪＲ小野田線
長門長沢
雀田
小野田地域
きららビーチ
小野田
日赤病院
山口東京理科大学
竜王山
西ヶ丘・日赤病院線
長河内
きらら交流館
長門本山
船木鉄道株式会社
宇部市交通局
サンデン交通株式会社
ねたろう号
いとね号
厚狭北部便
高畑・高泊循環線
殿様号（デマンド交通）
姫様号（デマンド交通）
0
2.5
5
ｋｍ

運行系統図　別紙

系統名	①松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線　②湯の峠・陽光台・山川線
運行形態	市町村運営有償運送
運行日・便数	月・水・金曜日（祝日・年末年始を除く）
運賃	1乗車　300円（小学生以下は150円　1歳未満の乳児：無料）



殿様号　山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー　松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線

運行日

月・水・金

祝日と年末年始（12/29～1/3）は運休します。

運　賃

一乗車　300円

- 1歳～小学生は150円、乳児は無料。
- 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。

※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な**回数券**もどうぞ！

300円券
11枚つづり
3,000円

150円券
11枚つづり
1,500円

車内で販売します。

運行エリア

対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント（右図の26ヶ所）の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。
お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り					下り			
1便	2便	3便	4便	便名	1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	柳瀬	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	随光				
↓	↓	↓	↓	籾の木				
↓	↓	↓	↓	今市				
↓	↓	↓	↓	厚狭地域中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00

厚狭地域中心部の乗降ポイント

1. 厚狭駅 在来線口
2. 厚狭駅 新幹線口
3. 厚狭地区複合施設
4. 不二輸送機ホール（※）
5. 山陽勤労青少年ホーム
6. JA山口宇部厚狭支店
7. ウエスタまるき厚狭店
8. マックスバリュ厚狭店
9. 丸久厚狭店
10. 厚狭郵便局
11. あさ歯科クリニック
12. 厚狭セントヒル泌尿器科
13. あさひクリニック
14. いとうクリニック
15. 河野内科
16. 河村医院
17. 久保整形外科医院
18. 紫苑リハビリ内科クリニック
19. しもかど歯科
20. 田中としろう眼科
21. たみたに内科・循環器科
22. てらい内科クリニック
23. 耳鼻咽喉科伯野医院
24. はせがわ耳鼻クリニック
25. 吉武医院
26. 吉武内科クリニック

乗降場所標識

このマークが目印です！

各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※＝山陽小野田市文化会館

姫様号　山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー　湯の峠・陽光台・山川線

運行日

月・水・金
祝日と年末年始（12/29~1/3）は運休します。

運　賃

一乗車　300円

- 1歳~小学生は150円、乳児は無料。
- 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。

※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ！

300円券
11枚つづり
3,000円

150円券
11枚つづり
1,500円

車内で販売します。

運行エリア

対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント（右図の26ヶ所）の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。
お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り				便名	下り			
1便	2便	3便	4便		1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	湯の峠	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	鴨庄上				
↓	↓	↓	↓	鋳物師屋				
↓	↓	↓	↓	山川				
↓	↓	↓	↓	厚狭地域中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00

厚狭地域中心部の乗降ポイント

1. 厚狭駅 在来線口
2. 厚狭駅 新幹線口
3. 厚狭地区複合施設
4. 不二輸送機ホール（※）
5. 山陽勤労青少年ホーム
6. JA山口宇部厚狭支店
7. ウエスタまるき厚狭店
8. マックスバリュ厚狭店
9. 丸久厚狭店
10. 厚狭郵便局
11. あさ歯科クリニック
12. 厚狭セントヒル泌尿器科
13. あさひクリニック
14. いとうクリニック
15. 河野内科
16. 河村医院
17. 久保整形外科医院
18. 紫苑リハビリ内科クリニック
19. しもかど歯科
20. 田中としろう眼科
21. たみたに内科・循環器科
22. てらい内科クリニック
23. 耳鼻咽喉科伯野医院
24. はせがわ耳鼻クリニック
25. 吉武医院
26. 吉武内科クリニック

乗降場所標識

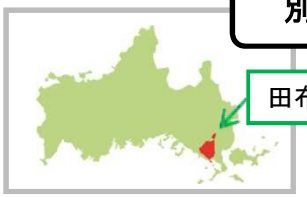
このマークが目印です！

各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※＝山陽小野田市文化会館

別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
田布施町有償運送運営協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



田布施町の概要

・昭和30年1月に1町3村が合併
・人口　14,498人（令和2年度国勢調査）
・面積　50.42㎢

協議会の構成員

山口県　田布施町　防長交通㈱　防長交通㈱労働組合
柳井地区タクシー協会　JR西日本㈱　老人クラブ連合会
町社会福祉協議会　原田タクシー㈱　山口運輸支局
町民代表

概　要

路線バスは、町内の一部地域しか走っておらず、便数が少ない路線もある。また、町中心部に向けた路線や町内を南北に縦断する路線はない。路線バスの利用者は、通学者以外は高齢者が中心と思われるが、家からバス停までの距離が遠く高低差のある地域では利用が難しく、町内外の医療機関への通院や買い物などに利用しにくい。

こうしたことから、田布施町地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく地域公共交通確保維持改善事業を実施する。この事業は、交通弱者である高齢者に対して、買い物等による日常生活の維持だけでなく、閉じこもりがちな高齢者への健康増進など、総合的な福祉サービスの向上にもつながる可能性を備えている。また、田布施駅や国道188号線幹線系統を含めた路線バスへの乗り継ぎが可能で、町外への広域的な移動手段となるため、総合病院や商業施設への利便性が向上すると考えられる。

協議会の主な取り組み

・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編
・交通空白地域におけるフィーダー交通の導入
・フィーダー交通の乗り入れ施設との調整　　など

協議会における検討

（※最新の実施から順に記載）

・運行事業評価審議（R04.1.6）
・田布施町有償運送運営協議会（文書協議R03.6.25）
・運行事業評価審議（R03.1.6）
・田布施町有償運送運営協議会（文書協議、R02.7.3）
・運行事業評価審議（R02.1.8）
・田布施町有償運送運営協議会（文書協議、R01.6.12）
・運行事業評価審議（H31.1.9）
・田布施町有償運送運営協議会（文書協議、H30.6.29）
・運行事業評価審議（H30.1.10）
・田布施町有償運送運営協議会（文書協議、H29.8.21）
・運行事業評価審議（H29.1.11）

以下省略

田布施町有償運送運営協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

城南･西･東田布施系統　麻郷･麻里府系統

（目標）
利用実績として、月15日以上稼働し、月55人以上の利用者を確保する。また、鉄道や路線バスへの乗り継ぎは、田布施駅及び最寄りのバス停とし、町と社会福祉協議会で広報活動に取り組むとともに、関係団体にも利用促進を促す。
（効果）
自宅に閉じこもりがちな高齢者の外出機会の増加により、健康増進に寄与するとともに、住民同士の交流による地域の活性化が図られる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

昨年度の自己評価を踏まえ、引き続き登録者･利用者の増加を目的に周知活動等を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症により積極的な周知は行うことができず、例年どおりの取組となった。

実施した利用促進策

･民生委員協議会での周知
･民協だより「ふれあい」への情報掲載

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

上記の「実施した利用促進策」に記載のとおり、福祉関係会議での周知、広報の活用等有償運送をPRした。
ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により新規周知を行うことができなかった。

地域住民の意見の反映

※時期や収集方法、結果等意見の反映状況を記載

一部の利用者に対し聞き取り調査を実施したため、内容について精査し、今後の運営の中で検討していく予定。

田布施町有償運送運営協議会　事業の評価

事業実施の適切性

※確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施された（されている）、計画どおり実施されなかった（されていない）について記載

・城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統
計画どおり実施された。

目標・効果達成状況

※確保維持改善計画に掲げた目標・効果について、その内容や達成度合いを記載
結果に対する分析・検証等を記載
必要であれば前年度実績とも比較検証

・城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統

（目標）稼働日数月15日以上、利用者月55人以上

（実績）稼働日数　12日（両系統合計）
　　月平均実績利用者数　40.3人（両系統合計）
　　JR田布施駅やバス停への乗継ぎ者数　4.5人（両系統合計）

　　いずれも目標が未達成となった。

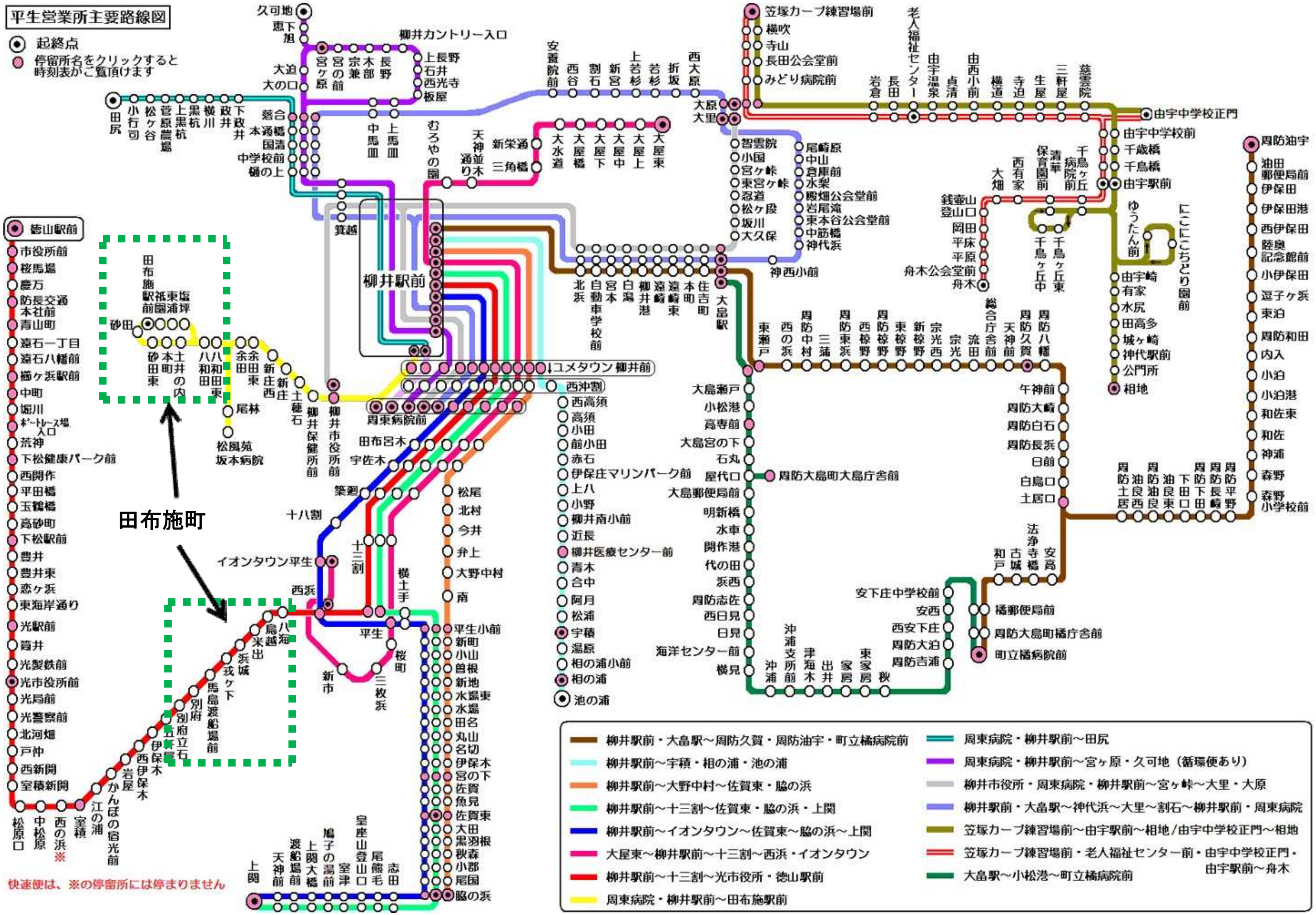
（効果）買い物送迎バスサービスの実施により、地域の公共交通空白は解消していると同時に、
　　高齢者の日常の移動手段も確保維持できている。

事業の今後の改善点

※実施した事業について、今後の改善点や次年度以降の取組み、自己評価から得られた課題やその対策などを記載

・城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統
　今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、社協だより等での広報、関係者への情報提供、ポスター・チラシを活用した経由地等での周知、回覧での周知を行う。
　また、一部の利用者に向けて行った聞き取り調査については、内容について精査し、今後の運営の中で検討していく予定。

交通体系図 別紙

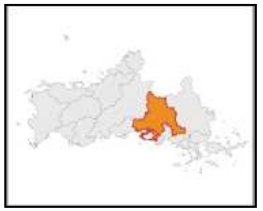


平生営業所主要路線図
起終点
停留所名をクリックすると時刻表がご覧頂けます
徳山駅前
市役所前
桜馬場
慶万
防長交通本社前
青山町
遠石一丁目
遠石八幡前
櫛ヶ浜駅前
中町
堀川
荒神
下松健康パーク前
西開作
平田橋
玉鶴橋
高砂町
下松駅前
豊井
豊井東
恋ヶ浜
東海岸通り
光駅前
筒井
光製鉄前
光市役所前
光局前
光警察前
北河畑
戸仲
西新開
室積新開
松原口
中松原
西の浜
室積
江の浦
かんぽの宿光前
岩屋
西伊保木
伊保木
石町
別府立石
別府
馬島渡船場前
浜城
戎ヶ下
米出
鳥越
八海
田布施町
田布施駅前
祇園
東浦
塩坪
砂田
砂田東
本町
土井の内
八和田
八和田東
余田
余田東
新庄
新庄西
尾林
松風苑坂本病院
久可地
恵下
旭
大迫
大の口
宮ヶ原
宮の前
宗兼
木部
長野
柳井カントリー入口
上長野
石井
西光寺
板屋
田尻
小行司
松ヶ谷
菅原農場
上黒杭
黒杭
横川
政井
下政井
蕗合
本通橋
国清
中学校前
樋の上
中馬皿
上馬皿
むろやの園
天神通り
並木
新栄通
三角橋
大水道
大屋橋
大屋下
大屋中
大屋上
大屋東
安養院前
西谷
割石
新宮
上若杉
若杉
折坂
西大原
大原
大里
箕越
柳井駅前
ゆめタウン柳井前
西沖割
周東病院前
柳井保健所前
柳井市役所前
田布呂木
宇佐木
築留
十八割
十三割
横土手
イオンタウン平生
西浜
平生
新市
三枚浜
桜町
松尾
北村
今井
弁上
大野中村
南
平生小前
新町
小山
曽根
新地
水場東
水場
田名
丸山
名切
伊保木
宮の下
佐賀
魚見
佐賀東
大田
黒羽根
秋森
小郡
尾国
脇の浜
上関
天神前
渡船場前
上関大橋
鳩子の湯前
室津
皇座山登山口
尾熊毛
志田
西高須
高須
小田
前小田
赤石
伊保庄マリンパーク前
上八
小野
柳井南小前
近長
柳井医療センター前
青木
合中
阿月
松浦
宇積
湯原
相の浦小前
相の浦
池の浦
北浜
自動車学校前
宮本
白潟
柳井港
遠崎
遠崎東
本町
住吉町
大島駅
智雲院
小国
宮ヶ峠
東宮ヶ峠
忍道
松ヶ段
坂川
大久保
尾崎原
中山
倉庫前
水梨
榎畑公会堂前
岩尾滝
東本谷公会堂前
中筋橋
神代浜
神西小前
大島瀬戸
小松港
高専前
大島宮の下
石丸
屋代口
周防大島町大島庁舎前
大島郵便局前
明新橋
水車
開作港
代の田
浜西
周防志佐
西日見
日見
海洋センター前
横見
沖浦
沖浦支所前
津海木
出井
家房
東家房
秋
東瀬戸
西の浜
周防中村
三蒲
周防東浜
西椋野
周防椋野
東椋野
新椋野
宗光西
宗光
流田
総合庁舎前
天神前
周防久賀
周防八幡
午神前
周防大崎
周防白石
周防長浜
日前
白鳥口
土居口
法浄寺橋
安高
古城
和戸
安下庄中学校前
安下
西安下庄
周防大泊
周防吉浦
橘郵便局前
周防大島町橘庁舎前
町立橘病院前
笠塚カーブ練習場前
横吹
寺山
長田公会堂前
みどり病院前
岩倉
長田
老人福祉センター
由宇温泉
貞清
由西小前
横道
寺迫
生屋
三軒屋
慈雲院
由宇中学校正門
由宇中学校前
千歳橋
千鳥橋
由宇駅前
ゆうたん前
銭壺山登山口
岡田
平床
平原
舟木公会堂前
舟木
大畑
西有家
保育園前
清華病院
千鳥ヶ丘
千鳥ヶ丘中
千鳥ヶ丘東
由宇崎
有家
水尻
田高多
城ヶ崎
神代駅前
公門所
相地
にこにこちどり園前
周防油宇
油田郵便局前
伊保田
伊保田港
西伊保田
陸奥記念館前
小伊保田
逗子ヶ浜
東泊
周防和田
内入
小泊
小泊港
和佐東
和佐
神浦
森野
森野小学校前
周防土居
油良西
周防油良
油良東
下田
周防下田
周防長崎
周防平野
快速便は、※の停留所には停まりません
柳井駅前・大島駅～周防久賀・周防油宇・町立橘病院前
柳井駅前～宇積・相の浦・池の浦
柳井駅前～大野中村～佐賀東・脇の浜
柳井駅前～十三割～佐賀東・脇の浜・上関
柳井駅前～イオンタウン～佐賀東～脇の浜～上関
大屋東～柳井駅前～十三割～西浜・イオンタウン
柳井駅前～十三割～光市役所・徳山駅前
周東病院・柳井駅前～田布施駅前
周東病院・柳井駅前～田尻
周東病院・柳井駅前～宮ヶ原・久可地（循環便あり）
柳井市役所・周東病院・柳井駅前～宮ヶ峠～大里・大原
柳井駅前・大島駅～神代浜～大里～割石～柳井駅前・周東病院
笠塚カーブ練習場前～由宇駅前～相地／由宇中学校正門～相地
笠塚カーブ練習場前・老人福祉センター前・由宇中学校正門・由宇駅前～舟木
大島駅～小松港～町立橘病院前

運行系統図　別紙

系統名	城南・西・東田布施系統 麻郷・麻里府系統
運行形態	4条路線、区域デマンド型
運行日・便数	午前1便、午後1便
運賃	500円／回・人

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
周南市地域公共交通協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



周南市の概要

・平成15年4月に2市2町が合併
・人口　144,842人（平成27年度国勢調査）
・面積　656.29㎢

周南市地域公共交通会議の構成員

市民・利用者代表，学識経験者，交通事業者及び労組代表者、地方自治体（県・市）、警察、道路管理者、山口運輸支局、福祉関係事業者

概　要

本市は山口県の東南部に位置し、北の中国山地を背に、南に瀬戸内海を望む面積656.29㎢の広大な市域を有する、人口約14万5千人の都市である。JR徳山駅を中心に市街地が広がっており、鉄道・路線バス・航路・コミュニティ交通によって、市街地とその周辺部、中山間部、島しょ部を結ぶ公共交通網が形成されている。

その中でも特に、過疎化・高齢化が進行する中山間部において、スーパーや病院などの生活利便施設が多く立地している地域への移動手段を確保することは、地域の活力を維持していくために必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組んでいる。

また、フィーダー系統と地域間幹線系統のスムースな接続により、中山間部と中心市街地等のアクセス性の確保を図り、生活の質の向上と外出機会の創出を目指している。

協議会の主な取り組み

・地域公共交通網形成計画に係る事業の実施
・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編検討
・交通不便地区におけるフィーダー交通の導入検討
・公共交通結点における待合環境の整備
・地域公共交通再編方針の策定

協議会における検討

地域公共交通会議の開催状況　6回開催
・令和2年11月19日 後期地域公共交通網形成計画について
・令和2年12月28日 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（文書協議）
・令和3年1月25日 周南市地域公共交通計画の素案について（文書協議）
・令和3年2月18日 自家用有償旅客運送の変更登録の申請について（文書協議）
・令和3年3月25日 周南市地域公共交通計画（素案）に対する意見の要旨と市の考え方について等
・令和3年5月21日 令和2年度事業報告（案）について等（文書協議）

周南市地域公共交通協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

（目標）
〇大道理・須々万線　1か月当たりの利用者数を106人以上とする
※目標はH30年10月～R1年9月までの利用実績の月平均から設定
〇八代・高水線　1か月当たりの利用者数を94人以上とする
※目標はH30年10月～R1年9月までの利用実績の月平均から設定
（効果）主に一人暮らしの高齢者や障がい者の病院や商業施設などへの移動手段を確保するとともに、外出機会を増やし心身の健康を維持することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

八代須々万線について、地区内アンケートを実施し、その結果を基に、八代地区生活交通協議会との協議の上、運行ルート、ダイヤ等、運行内容の構築や実証運行の実施の決定を行った。

実施した利用促進策

コロナ禍のため、イベントや集会が自粛となり、利用促進策の実施が困難であったため未実施となった。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

大道理須々万線については、支所を通じて状況把握を行い、八代高水線については、アンケートを実施し、利用ニーズの把握に努めた。

地域住民の意見の反映

<u>大道理をよくする会　互助部会</u>
コロナ禍により会議の開催はしていないが、支所を通じて利用者や事業者の意見を収集する等、状況把握を行った。

<u>八代地区生活交通検討協議会</u>
令和3年1月に地区内アンケートを実施した。その結果を基に、令和3年7月に協議を行い、アンケートで要望の高かった生活利便施設や診療所が立地する隣接する地区への移動や、八代地区内の乗降場所に関する運行内容の協議を行った。

周南市地域公共交通協議会　事業の評価

事業実施の適切性

大道理須々万線
　計画通り事業は適切に実施された。
八代高水線
　計画通り事業は適切に実施された。

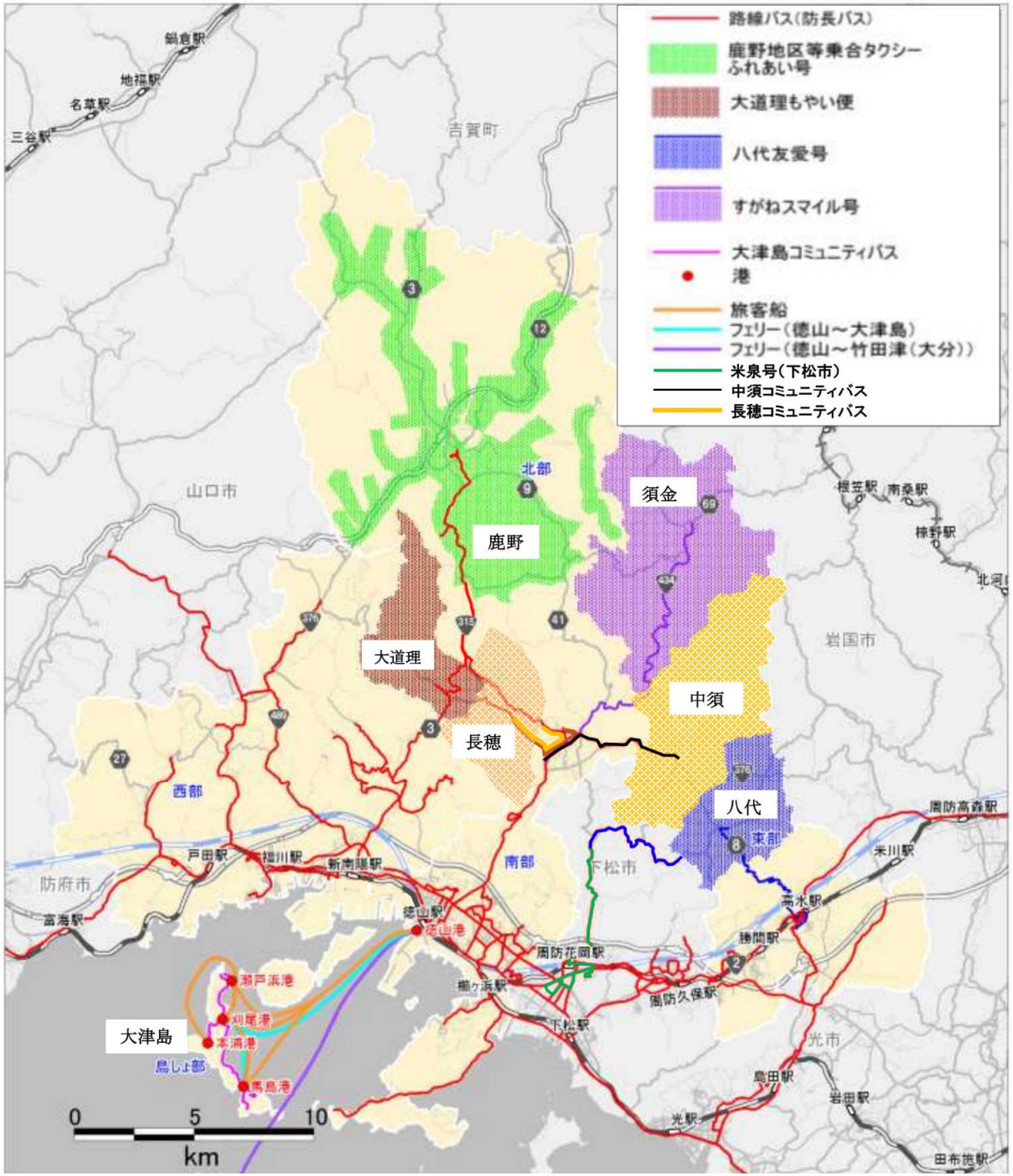
目標・効果達成状況

大道理須々万線
（目標）1か月当たりの平均利用者数は101.2人で、目標値106人以上に達しなかった。
（効果）地域サロンが再開し、地区外への外出も増え、R3.2月以降はコロナ禍以前の水準に戻った。
八代高水線
（目標）1か月当たりの平均利用者数は104.5人で、目標値94人以上に達した。
（効果）R2.10月からR3.2月まではコロナの感染拡大で、利用者は抑えられたが、R3.3月以降は、コロナが再拡大した8月を除き、コロナ禍以前の水準に戻った。

事業の今後の改善点

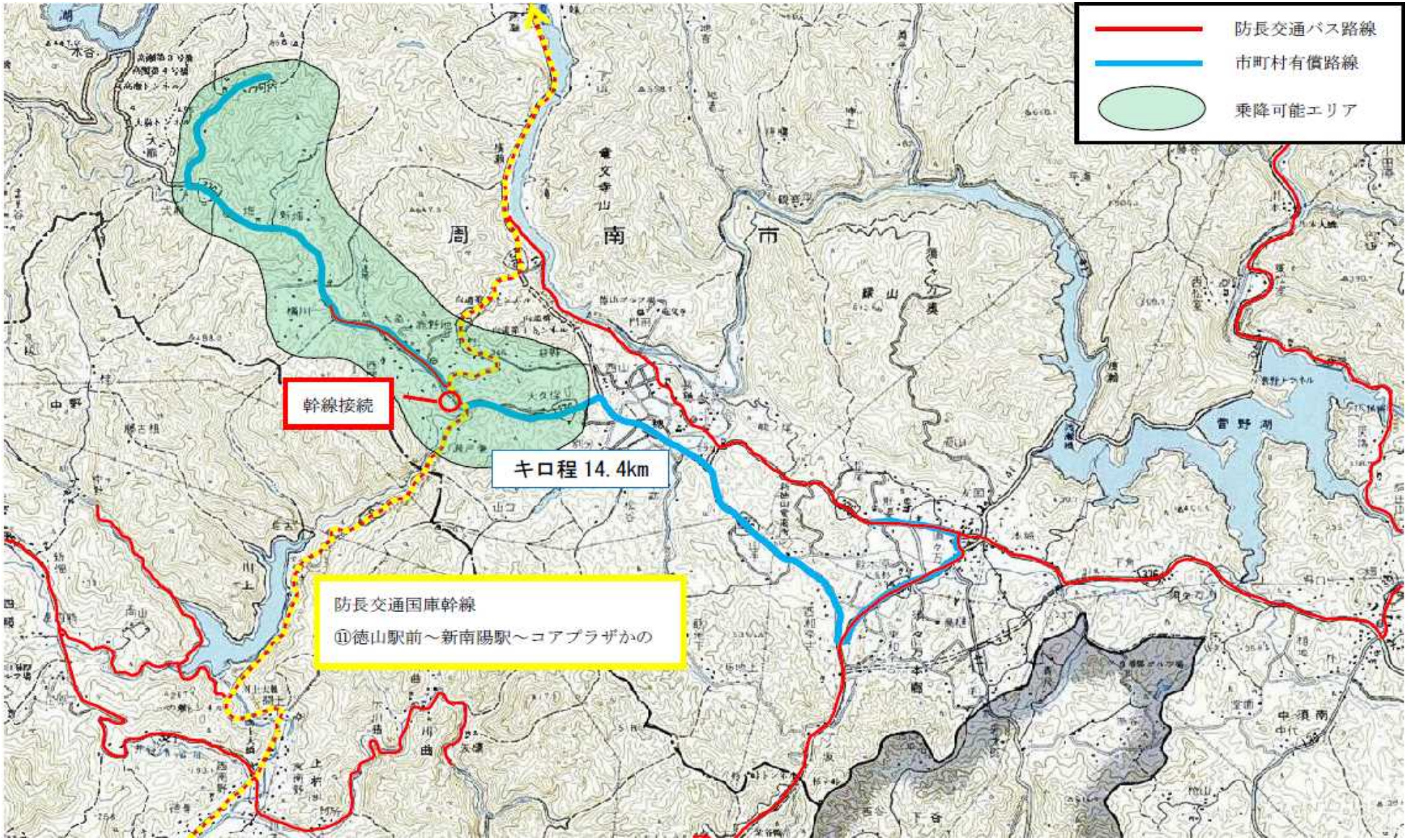
大道理須々万線
・引き続き、地域のニーズ、事業者の意見の把握に努め、ルート、乗降場等の検討を行う。
八代高水線
・11月から隣接する地区への1カ月半程度の実証運行を実施予定。その結果を基に、本格運行に向け、運行内容を検討する。
・地区内運行範囲を拡大し、よりドアツードアに近づける方向で実施予定。
・八代高水線の停留所の追加変更について検討を行う。

交通体系図　別紙


路線バス（防長バス）
鹿野地区等乗合タクシー
ふれあい号
大道理もやい便
八代友愛号
すがねスマイル号
大津島コミュニティバス
港
旅客船
フェリー（徳山～大津島）
フェリー（徳山～竹田津（大分））
米泉号（下松市）
中須コミュニティバス
長穂コミュニティバス
北部
鹿野
須金
大道理
中須
長穂
八代
西部
南部
東部
大津島
山口市
吉賀町
岩国市
防府市
下松市
光市
0
5
10
km

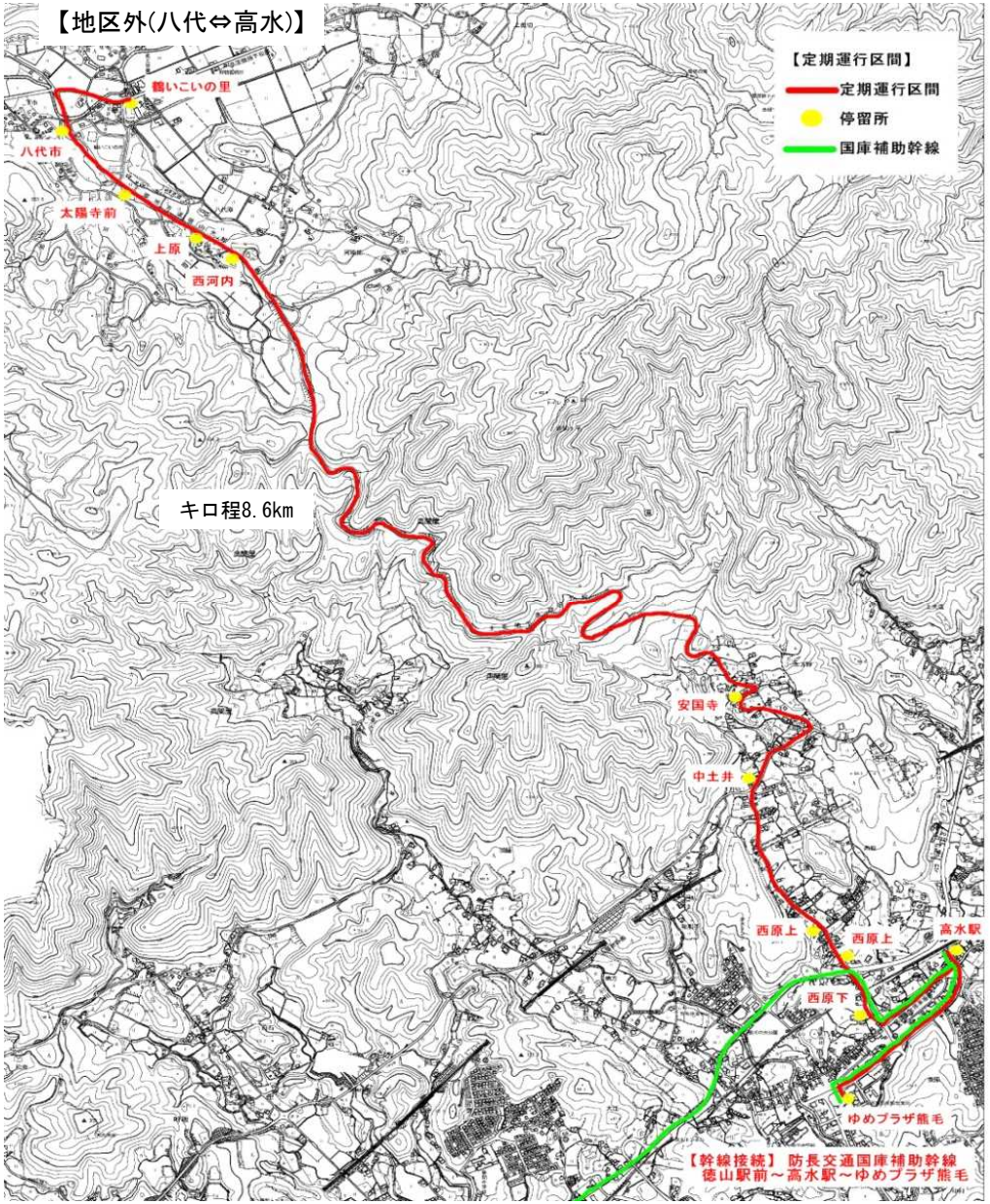
運行系統図　別紙

系統名	大道理・須々万線 「もやい便」
運行形態	市町村運営有償運送「交通空白輸送」
運行日・便数	月・水・金曜日（祝日、8/13～8/16、12/30～1/5は運休）・ 1日10便（往路5便、復路5便）
運賃	地区内片道　100円　地区外（大道理⇔須々万）片道　200円

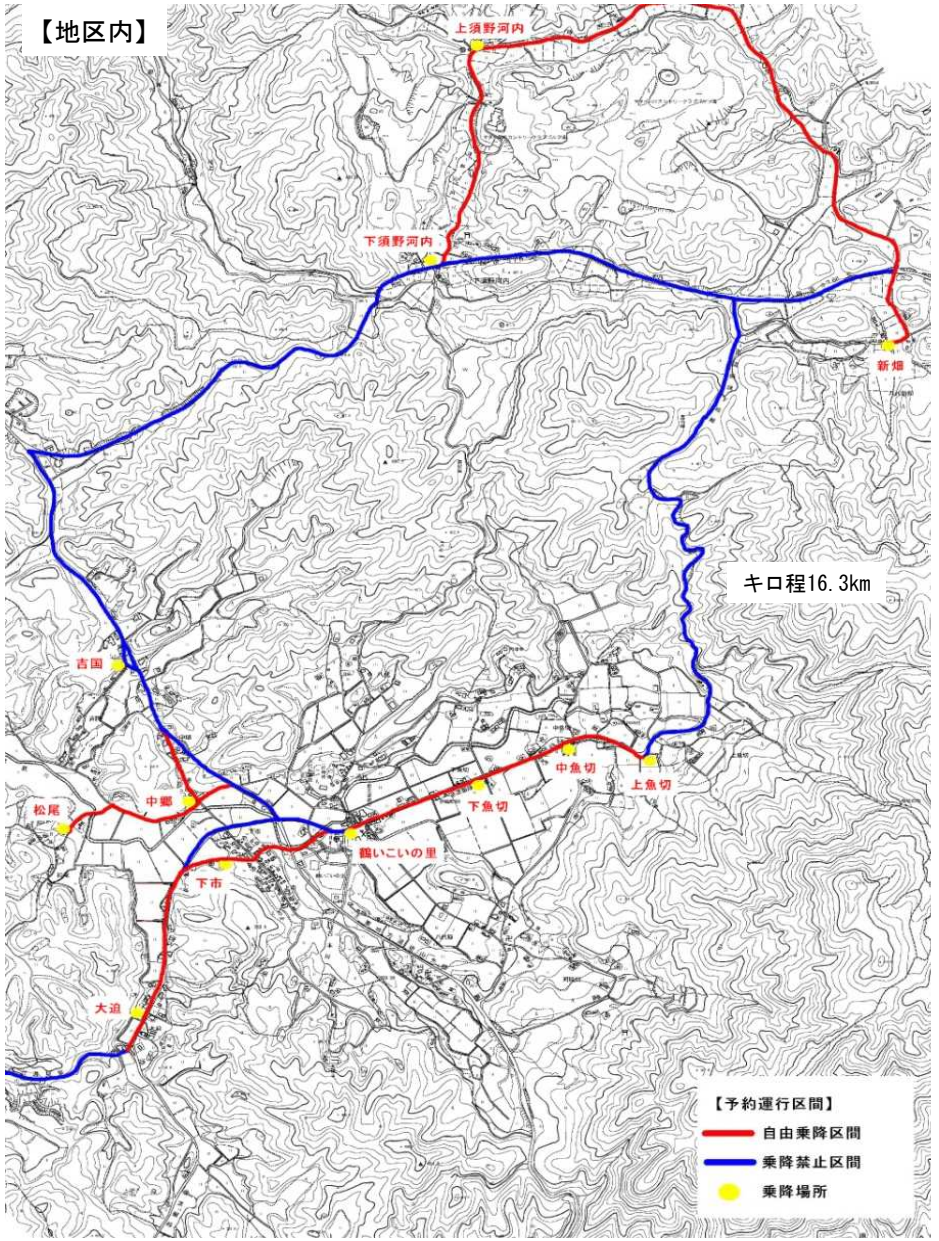


系統名	八代・高水線 「友愛号」
運行形態	市町村運営有償運送「交通空白輸送」
運行日・便数	月～土曜日（祝日、12/29～1/3は運休） ・ 1日6便（往路3便、復路3便）
運賃	地区内片道 100円　地区外（八代⇔高水）片道 300円

【地区外(八代⇔高水)】



【地区内】



別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
光市地域公共交通協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要

光市の概要

・平成16年10月に1市1町が合併
・人口　49,798人（令和2年国勢調査）
・面積　92.13㎢

協議会の構成員

市民・利用者の代表者、交通事業者、山口運輸支局、
道路管理者（国・県・市）、警察、労組代表者、
学識経験者、地方自治体（県・市）

概　要

光市は、山口県の東南部に位置し、面積は、92.13k㎡で、市内を流れる島田川、田布施川の両河川を中心にまとまった平地が広がっている。人口は49,798人（令和2年国勢調査）、65歳以上の高齢者の占める割合は36.2%となっている。

光市の公共交通の現状は、市民の「バス交通網の整備」へのニーズが高まっているものの、バス利用者の減少に伴う、市営バスや民間交通事業者への財政負担の増加、あるいは、バス運行便数の減少など、様々な課題を抱えている。加えて、令和元年5月に光総合病院が移転新設され、移転先がバス路線の運行していない郊外地となり、当病院までの移動手段の確保が強く望まれていた。

このため、地域公共交通確保維持事業により、ひかりぐるりんバス路線を変更することで、市民の生活交通手段を確保・維持することが必要である。

協議会の主な取り組み

・光市地域公共交通網形成計画の策定
・市内バス路線の再編
（光総合病院までの交通アクセスの整備）
・交通結節点の環境整備
（光駅、島田駅への路線バスの乗入促進）
・わかりやすい乗継情報の提供
（バスロケーションシステムの導入整備支援）
・光市公共交通利用促進冊子の作成
・光市公共交通マップの作成、改訂
・市民へのモビリティ・マネジメントの実施
・牛島航路の観光客の利用促進
（船の乗り方教室の実施）
・光市地域公共交通計画の策定　　など

協議会における検討

フィーダー系統に関係する協議会の開催状況 … 11回開催

<u>平成30年度</u>
・第1回（6月27日）平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画（案）・予算（案）
※フィーダー系統確保維持計画協議
・第2回（1月15日）ひかりぐるりんバスの運賃、計画推進事業評価
・第3回（2月12日）市内バス路線の再編について
・第4回（3月15日）フィーダー系統確保維持計画の変更

<u>令和元年度</u>
・第1回（6月27日）平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画（案）・予算（案）
※フィーダー系統確保維持計画協議
・第2回（7月26日）フィーダー系統確保維持計画の変更
・第3回（12月26日）フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価

<u>令和2年度</u>
・第1回（7月17日）令和元年度事業報告・決算報告、令和2年度事業計画（案）・予算（案）
※フィーダー系統確保維持計画協議
・第2回（12月25日）フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価

<u>令和3年度</u>
・ 第1回（5月18日）令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画（案）・予算（案）
※フィーダー系統確保維持計画協議
・第2回（7月9日）ひかりぐるりんバスの運賃支払いに係る回数券の新設

光市地域公共交通協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

２系統（右回り・左回り）
（目標）・１便当たり利用者数を１３．１人以上とする（昨年度実績 9.7人）
※目標は、光市地域公共交通網形成計画に掲げる年間利用者数目標値より設定
664,540人（平成27年度）　→　700,000人（平成33年度）+105.3%
ひかりぐるりんバス１便あたりの利用者数
12.4人/便（平成27年度）　→　13.1人/便（平成33年度）+105.3%
（効果）・西部地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段であるひかりぐるりんバス路線を再編し、
運行を継続することにより、利用者の外出機会を確保し、心身の健康を維持する。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

【昨年度の自己評価】
新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策（手指消毒液の設置、車内消毒）の継続による安心な利用環境の提供と沿線施設への公共交通マップや時刻表の追加設置などにより利用啓発に努め、目標値達成を目指します。

【フォローアップ】
・光市公共交通マップの作成、公共施設などへの設置
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の取組み
（手指用消毒液の設置、帰庫後の車内消毒など）

実施した利用促進策

・モニタリングによる状況把握
・光市公共交通マップの改訂
・沿線施設への光市公共交通マップや時刻表の設置、環境活動団体への光市公共交通マップの提供
・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組み
（手指用消毒液の設置、帰庫後の車内消毒など）

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

【地方運輸局等における二次評価結果】
コロナの影響もあり目標達成に至らなかったが、コロナ時代における安心な利用環境の提供とPRの取組を行うことで利用者数の増加に繋がることを期待する。

【フォローアップ】
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の取組み
（手指用消毒液の設置、帰庫後の車内消毒など）

地域住民の意見の反映

・平成２８年９月に市内2,000世帯を対象に公共交通に関するアンケートを実施（郵送配布・回収）するとともに、平成２８年、平成２９年９月にひかりぐるりんバス乗降調査を実施し、利用者の意見を反映した。調査の結果、利用者の7割が高齢者であり、その多くが通院、買物目的での利用を行っている。この結果を元に、通院・買物に重点を置いた計画としている。

光市地域公共交通協議会　事業の評価

事業実施の適切性

光花火大会の中止により臨時便左右各2便の運休（計画変更対応）が発生したが、事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

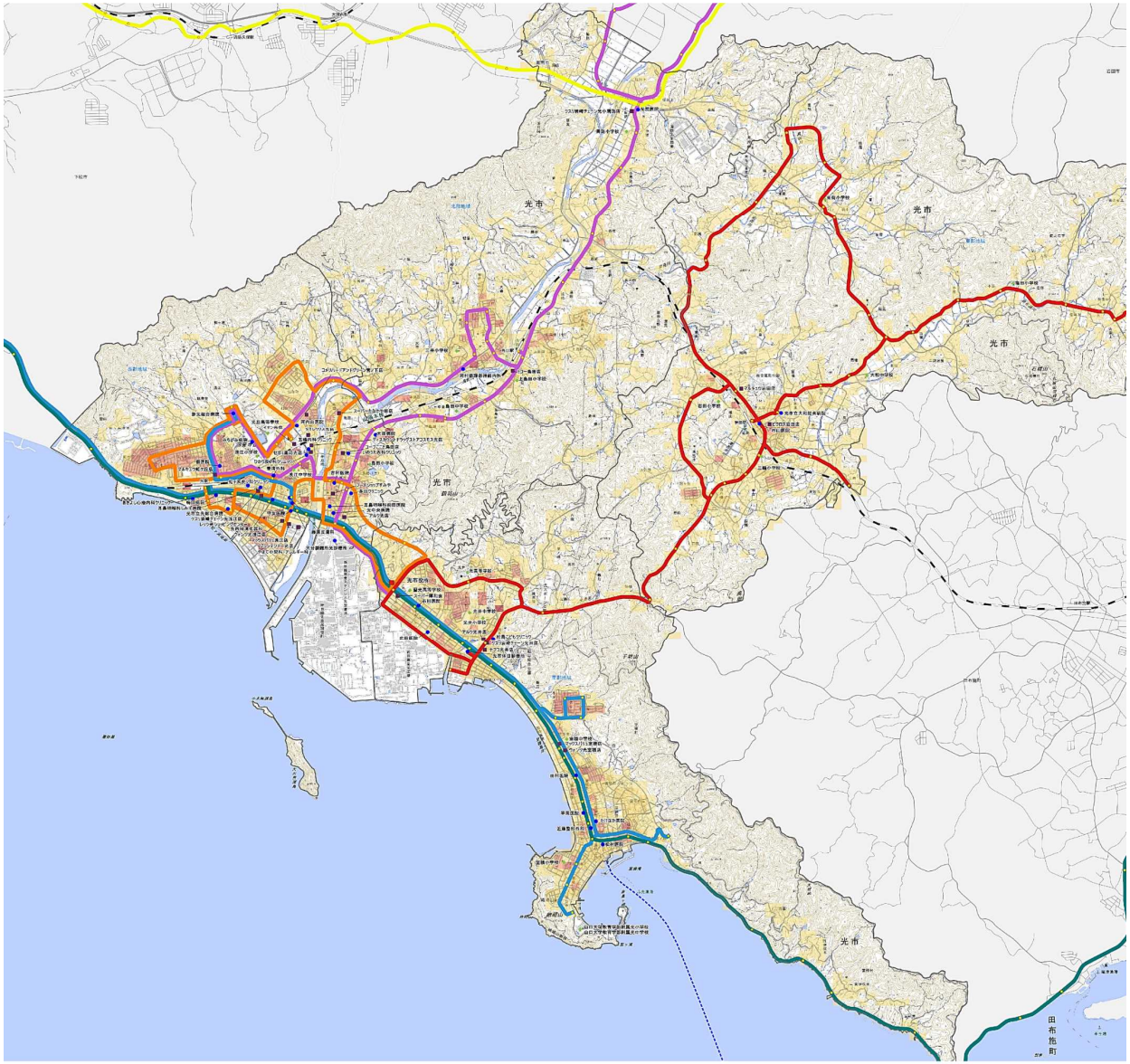
【目標達成状況】
1便あたりの利用者13.1人の目標設定に対し、8.6人となり目標値を達成できなかった。

【効果達成状況】
光市公共交通マップを3月に改訂し、時刻表と共に市内公共施設などへの設置や環境活動団体への提供により利用啓発を図っている。
昨年9月に車両をリニューアルしたことに伴い、手すりなどの補助設備の増加やワンステップとなったことから、車内移動や乗降時の負担軽減及び安全性向上が図られており、メインユーザーである高齢者の利用促進に繋がっている。

事業の今後の改善点

新型コロナウイルス感染症対する感染拡大防止対策（手指消毒液の設置、車内消毒）の継続による安心な利用環境の提供及び公共交通マップや時刻表の沿線施設への設置、環境活動団体への提供による継続した利用啓発に努め、目標値達成を目指します。

交通体系図　別紙

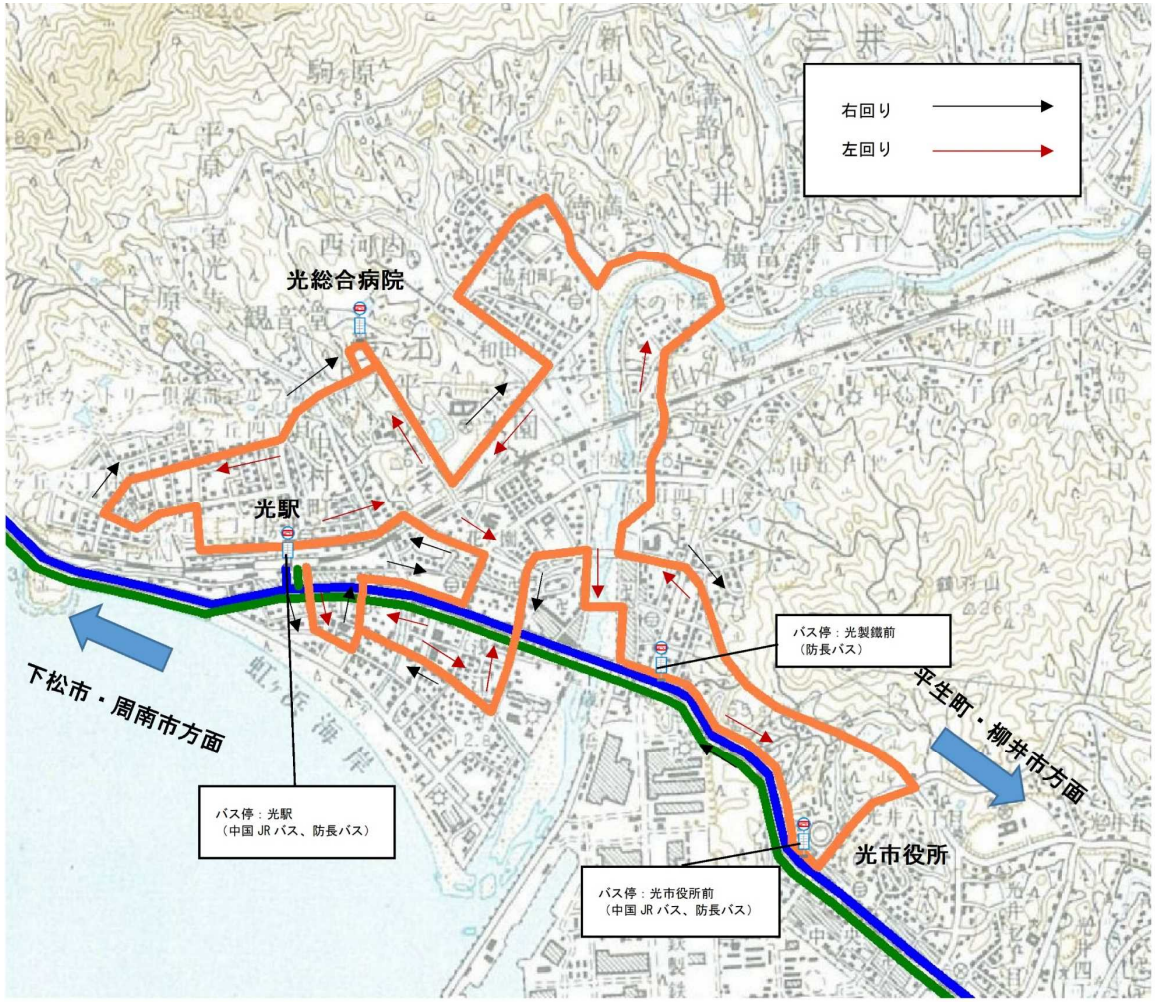


鉄道
- 山陽本線

路線バス
- 中国JRバス
- 防長バス
  - 徳山駅前～柳井駅前
  - 徳山駅前～兼清
  - 光市役所前～兼清・筏場・高水駅
- ひかりぐるりんバス
- 光市営バス
- うしま丸（離島航路）

運行系統図　別紙

系統名	右回り・左回り
運行形態	4条路線
運行日・便数	右回り（平日3便/日、土日祝2便/日、12月29日～1月3日1便/日）、左回り（日～土3便/日）、7月花火大会臨時便（両系統各+2便/日）
運賃	200円



路線バス

ひかりぐるりんバス

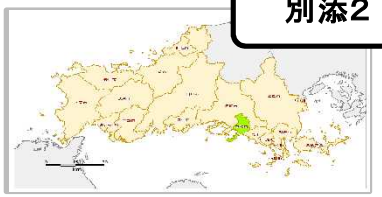
※中国JRバス

防長バス

と接続

別添2

令和3年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
下松市地域公共交通活性化協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



下松市の概要

・昭和14年11月に1町3村が合併し、市制施行
・人口　55,887人（令和2年10月現在）
・面積　89.36㎢

協議会の構成員

山口運輸支局、山口県、西日本旅客鉄道㈱、防長交通㈱、
中国ジェイアールバス㈱、県タクシー協会、メトロ交通㈱、
下松警察署、中国地方整備局、下松市、学識経験者

概　要

・地域の概況：山口県の南東部に位置し、南に瀬戸内海を望み、市街地から中山間地の中心部及び笠戸島の中心部までは車で各15分とコンパクトなまちである。
・公共交通の現況（系統数）：鉄道は山陽本線1駅、岩徳線3駅を有し、路線バスは2社30系統が走る。営業区域登録するタクシー事業者は4社。
・公共交通の問題点や課題：中山間地や市街地周辺部では、鉄道駅もバス路線もない地域が多く、日常生活には自家用車が必須である。
・地域の目標：高齢者等の交通弱者の生活の足を確保するため、様々な手段を組み合わせた持続可能な交通体系の構築が喫緊の課題。
・その目標実現のための施策、方向性：現行交通体系を整理するとともに、市民とも生活に必要な移動手段の構築に向けて検討実施する。

協議会の主な取り組み

・コミュニティバス停留所の新設
・コミュニティバス停留所の乗降場所（足場）整備
・下松市及び周南市域内の公共交通マップの更新
・バス交通系ICカードに係る整備費用助成

協議会における検討

協議会の開催状況　　3回開催

・令和2年度第2回（12月書面協議）　令和2年度コミュニティバス運行状況の報告、コミュニティバスのアンケート等の集計結果に関する報告、令和2年度確保維持改善事業 事業評価の協議・承認、コミュニティバス停留所の新設及び新設に伴う運行ダイヤや運賃設定に係る協議・承認
・令和2年度第3回（3月書面協議）　コミュニティバス運行状況の報告
・令和3年度第1回（6月書面協議）　令和4年度確保維持計画認定申請の協議・承認、自家用有償旅客運送の更新登録に係る協議・承認

下松市地域公共交通活性化協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

【米川・花岡線】
（目標）・1ヶ月当たり利用者数を138人以上とする。（前年度実績104人/月）

（効果）・主に一人暮らしの高齢者や障害者の病院や商業施設などへの移動手段を確保するとともに、外出機会を増やし心身の健康を維持することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

「地域の公民館行事などと連携し、利用促進に繋がる施策を連携して行う」とした点については、公民館主催行事の参加賞として回数券を配付し、利用の誘導に繋げた。
「地域住民からの要望を反映し、令和3年1月より新たな停留所（上地上）の新設を行う」とした点については、令和3年1月4日より新たな停留所を新設した。

実施した利用促進策

・米川公民館が「米泉号予約方法のチラシ」を作成して米川全戸に配布
・停留所の新設（追加）に伴い、チラシを作成して米川全戸に配布
・市街地の路線バスとJRへの「乗り換え案内」を更新し、米川全戸に配布
・公民館グラウンドゴルフ大会の参加賞として1人に100円券2枚を配付
・運転免許自主返納者希望者にコミュニティバス回数券を配付

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

「今後も利用者のニーズや意見等の把握に努め、利用ニーズに応じた運行内容の検討に取り組み、利用者数の増加、目標の達成、それによる持続可能な公共交通ネットワークが構築されることを期待する」との点については、地域住民及び利用者アンケートの意見を反映して、新たな停留所の設定を行い、利用者のニーズに応えた。

地域住民の意見の反映

・運行開始後の令和2年7月に米川地区全戸を対象としたアンケート調査及び車内アンケート結果を反映し、上地上バス停の新設要望があったことから、令和3年1月4日より停留所を新設した。

下松市地域公共交通活性化協議会　事業の評価

事業実施の適切性

【米川・花岡線】
　計画どおり実施されている。
　地域住民は路線バスの減便を経験していたことや事前説明会でことあるごとに利用することの重要性を説いていたことから、本件コミュニティバスについても、利用しないとなくなる可能性があるという意識を強く持っており、公民館行事や近所の方とのウォーキングの際に誘いあって利用するなど、利用に関して非常に協力的である。

目標・効果達成状況

【米川・花岡線】
（目標）新型コロナウイルス感染症による利用者数の減少の影響を排除した数値を推計して、1ヶ月当たり利用者数を138人以上としていたが、実績は93.9人であった。令和3年度においても引き続き新型コロナウイルス感染症により、利用者数に影響があったことから、確保維持計画に記載した定量的目標には達しなかった。
・当該補助路線の人数は、予約があった便のみの区域運行利用者及び定時定路線利用者の乗車数を計上することから、目標設定が難しい側面もあるが、補助対象外を含めた運行全利用者数は前年度から増えている。
・利用者からは、新型コロナウイルス感染症への感染を恐れて、不要不急の場合を除いての利用は控えているという話を聞いている。
・定期的な利用者が多くを占めているため、感染症対策を実施して安全運行に努めている旨の周知とともに、更なる利用者の開拓が必要である。
（【参考】実績値：国庫補助対象便は年間383便あり、1,127人が利用。（前年度実績は、年間379便運行して1257人利用。104人/月）
※米泉号の全運行数は2,051便、利用者総数は2,752人。（前年度実績は、年間2,037便/291日運行して2,690人が利用））
（効果）　自動車運転免許を持たない方や高齢者などが、商業施設などへの往復移動するための手段を確保することができた。

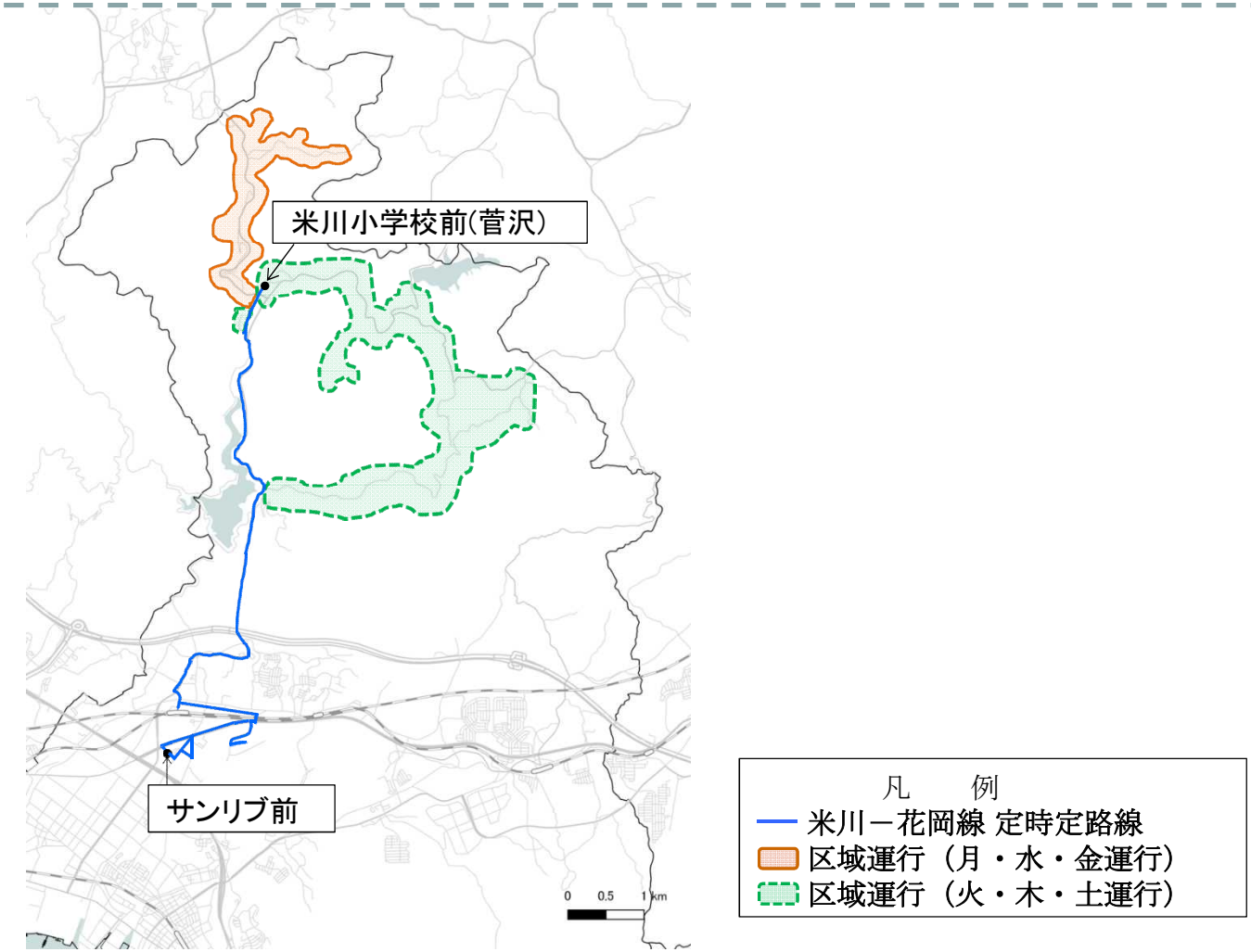
事業の今後の改善点

【米川・花岡線】
・住民のニーズや意見等を反映し、定時定路線と区域運行を併用した運行形態として実施していることから、どちらの運行形態の地区においても地域への認知度を向上させることにより、更なる利用者の掘り起こしを行う。
・利用のない地域における需要の掘り起こしに繋がる取組を検討し、実施する。
・地域の公民館行事などと連携し、利用促進に繋がる施策を連携して行う。
・予備の運行車両を活用した試乗会を実施するなどにより、新規利用者の開拓に向けた取組を行う。

交通体系図　別紙

- 徳山～岩国
- 徳山～櫛ヶ浜～下松・光・柳井
- 下松駅北口～バイパス～戸田駅
- 下松駅北口～商工～戸田駅
- 下松駅北口～中央線～戸田駅
- 下松駅北口～高尾団地～徳山駅
- 下松駅前～熊毛
- 徳山駅～熊毛
- 花岡～バイパス～徳山駅
- 下松駅前～下松高校～久保団地
- 下松駅前～周南記念病院～久保団地
- 周南記念病院～深浦
- 周南記念病院～旗岡
- 下松市コミュニティバス米泉号
- 徳山駅～兼清
- 下松駅前～徳山高専
- JRバス光線

※路線は令和元年10月1日時点

運行系統図　別紙

系統名	米川・花岡線
運行形態	市町村運営有償運送、区域デマンド型運行
運行日・便数	月～土曜日（日曜・祝日及び12/29～1/3は運休）、5便/日（ただし、予約があったときのみ区域運行も実施）
運賃	100円～300円